

大学番号：私246

注3

[平成22年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

届出

注1

明星大学 人文学部

心理学科／日本文化学科／福祉実践学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 明星学苑
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教務企画課

職名・氏名 ジムキョクジチョウ 事務局次長 ナトリ 名取 ジュン 淳

電話番号 042-591-5527

（夜間） 042-591-5111

F A X 042-591-5489

e-mail of-hum@gad.meisei-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

| | |
|---------------------------|-----|
| 1. 調査対象大学等の概要等 | 1 |
| (1) 設置者 | 1 |
| (2) 大学名 | 1 |
| (3) 大学の位置 | 1 |
| (4) 管理運営組織 | 1 |
| (5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等 | |
| 人文学部 心理学科 | 2 |
| 人文学部 日本文化学科 | 5 |
| 人文学部 福祉実践学科 | 8 |
| 2. 授業科目の概要 | |
| 人文学部 心理学科 | 1 1 |
| 人文学部 日本文化学科 | 1 8 |
| 人文学部 福祉実践学科 | 2 7 |
| 3. 施設・設備の整備状況、経費 | 3 5 |
| 4. 既設大学等の状況 | 3 7 |
| 5. 教員組織の状況 | |
| 人文学部 心理学科 | 4 0 |
| 人文学部 日本文化学科 | 4 7 |
| 人文学部 福祉実践学科 | 5 8 |
| 6. 留意事項に対する履行状況等 | 6 6 |
| 7. その他全般的事項 | |
| 人文学部 心理学科 | 6 8 |
| 人文学部 日本文化学科 | 7 2 |
| 人文学部 福祉実践学科 | 7 6 |

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人明星学苑

(2) 大学名

明星大学

(3) 大学の位置

〒191-8506
東京都日野市程久保2丁目1番地1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

| 職名 | 設置時 | 変更状況 | 備考 |
|------|-------------------------------------|--------------------------------------|---|
| 理事長 | (クラ トキゾウ) 蔵田 得三郎 (平成20年7月11日) | (ヨシダ モトキチ) 吉田 元一 (平成24年11月22日) | 前任者の退任による後任選考のため平成24年11月22日に変更 (25) |
| 学長 | (カワリ テツオ) 小川 哲生 (平成20年4月1日) | | |
| 学部長 | (ハツリ ヒロシ) 服部 裕 (平成22年4月1日) | (カウチ ケニツ) 垣内 國光 (平成24年4月1日) | 前任者の任期満了のため、平成24年4月1日に変更 (24) |
| 学科長等 | (フクダ ノリキ) 福田 憲明 (平成22年4月1日) | (オカバヤシ ヒデキ) 岡林 秀樹 (平成24年4月1日) | 心理学科 前任者の任期満了のため、平成24年4月1日に変更 (24) |
| 学科長等 | (マエダ マサユキ) 前田 雅之 (平成22年4月1日) | (シバタ マサオ) 柴田 雅生 (平成24年4月1日) | 日本文化学科 前任者の任期満了のため、平成24年4月1日に変更 (24) |
| 学科長等 | (ババ ヤスヒコ) 馬場 康彦 (平成22年4月1日) | (カノウ メグミ) 加藤 めぐみ (平成25年4月1日) | 福祉実践学科 前任者の任期満了のため、平成25年4月1日に変更 (25) |

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

| 調査対象学部等の名称(学位) | 設置時の計画 | | | | 備考 |
|-------------------------|--------|------|----------|------|----|
| | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | |
| 人文学部 心理学科 学士(心理学) | 4年 | 110人 | — 年次人 | 440人 | |

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

| 区分 | 平成22年度 | | 平成23年度 | | 平成24年度 | | 平成25年度 | | 平均入学定員 超過率 | 備考 |
|----------------|-------------------|-----------------|-------------------|-----------------|----------------------|-----------------|----------------------|-----------------|---------------|----------------------|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | | |
| A 入学定員 | 110 (—) [—] | — | 110 (—) [—] | — | 110 (—) [—] | — | 110 (—) [—] | — | 1.14倍 | 編入学 (2年次(3年次))を示す |
| 志願者数 | 706 (0) [0] | — (—) [—] | 825 (0) [0] | — (—) [—] | 927 (2(0)) [1] | — (—) [—] | 919 (1(0)) [0] | — (—) [—] | | |
| 受験者数 | 682 (0) [0] | — (—) [—] | 777 (0) [0] | — (—) [—] | 886 (1(0)) [1] | — (—) [—] | 891 (0(0)) [0] | — (—) [—] | | |
| 合格者数 | 291 (0) [0] | — (—) [—] | 300 (0) [0] | — (—) [—] | 338 (0(0)) [1] | — (—) [—] | 289 (0(0)) [0] | — (—) [—] | | |
| B 入学者数 | 133 (0) [0] | — (—) [—] | 122 (0) [0] | — (—) [—] | 127 (0(0)) [0] | — (—) [—] | 120 (0(0)) [0] | — (—) [—] | | |
| 入学定員超過率 B/A | 1.21 | | 1.11 | | 1.15 | | 1.09 | | | |

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, **計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

| 学 年 | 平成22年度 | | 平成23年度 | | 平成24年度 | | 平成25年度 | | 備 考 |
|-----|--------------|------------|--------------|--------------|--------------|------------|--------------|------------|-----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | |
| 1年次 | [-] 133 | [-] - | [-] 122 | [-] - | [-] 127 | [-] - | [] 120 | [] | |
| 2年次 | / | | [-] 130 | [-] - | [-] 121 | [-] - | [] 126 | [] | |
| 3年次 | | | / | | [-] 127 | [-] - | [] 116 | [] | |
| 4年次 | | | | | / | | [] 121 | [] | |
| 計 | | | [-] 133 | [-] 252 | | | [-] 375 | [] 483 | |

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分 対象年度 | 入学者数(b) | 退学者数(a) | 退学者数(内訳) | | | 主な退学理由 | 入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b) |
|---------------|---------|---------|----------|------|-----------------|--|----------------------------------|
| | | | 退学した年度 | 退学者数 | 退学者数の うち留学生数 | | |
| 平成22年度 入学者 | 133 人 | 12 人 | 平成22年度 | 3 人 | 0 人 | 他の教育機関への入学・転学(1人) 除籍(2人) | 0.0902256 % |
| | | | 平成23年度 | 3 人 | 0 人 | 他の教育機関への入学・転学(1人) その他(2人) | |
| | | | 平成24年度 | 6 人 | 人 | 就学意欲の低下(1人) 学力不足(1人) 他の教育機関への入学・転学(1人) 家庭の事情(1人) 除籍(1人) その他(1人) | |
| | | | 平成25年度 | 人 | 人 | | |
| 平成23年度 入学者 | 122 人 | 6 人 | 平成23年度 | 1 人 | 0 人 | 他の教育機関への入学・転学(1人) | 0.0491803 % |
| | | | 平成24年度 | 5 人 | 人 | 就学意欲の低下(2人) 就職(2人) 学生個人の心身に関する事情(1人) | |
| | | | 平成25年度 | 人 | 人 | | |
| 平成24年度 入学者 | 127 人 | 1 人 | 平成24年度 | 1 人 | 人 | 除籍(1人) | 0.007874 % |
| | | | 平成25年度 | 人 | 人 | | |
| 平成25年度 入学者 | 120 人 | 0 人 | 平成25年度 | 人 | 人 | | 0 % |
| 合 計 | 502 人 | 19 人 | | | | | 0.0378486 % |

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

| 調査対象学部等の名称(学位) | 設置時の計画 | | | | 備考 |
|------------------------------|--------|------|----------|------|----|
| | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | |
| 人文学部 日本文化学科 学士(文学) | 4年 | 100人 | — 年次人 | 400人 | |

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

| 区分 | 平成22年度 | | 平成23年度 | | 平成24年度 | | 平成25年度 | | 平均入学定員 超過率 | 備考 |
|----------------|-------------------|-----------------|-------------------|-----------------|-------------------|-----------------|-------------------|-----------------|---------------|----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | | |
| A 入学定員 | 100 (—) [—] | — | 100 (—) [—] | — | 100 (—) [—] | — | 100 (—) [—] | — | 1.09倍 | |
| 志願者数 | 485 (0) [0] | — (—) [—] | 534 (0) [0] | — (—) [—] | 464 (0) [0] | — (—) [—] | 470 (0) [0] | — (—) [—] | | |
| 受験者数 | 470 (0) [0] | — (—) [—] | 488 (0) [0] | — (—) [—] | 442 (0) [0] | — (—) [—] | 452 (0) [0] | — (—) [—] | | |
| 合格者数 | 215 (0) [0] | — (—) [—] | 229 (0) [0] | — (—) [—] | 235 (0) [0] | — (—) [—] | 276 (0) [0] | — (—) [—] | | |
| B 入学者数 | 110 (0) [0] | — (—) [—] | 119 (0) [0] | — (—) [—] | 99 (0) [0] | — (—) [—] | 111 (0) [0] | — (—) [—] | | |
| 入学定員超過率 B/A | 1.10 | | 1.19 | | 0.99 | | 1.11 | | | |

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, **計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

| 学 年 | 平成22年度 | | 平成23年度 | | 平成24年度 | | 平成25年度 | | 備 考 | |
|-----|--------------|------------|--------------|--------------|--------------|------------|--------------|------------|-----|--|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | | |
| 1年次 | [-] 110 | [-] - | [-] 119 | [-] - | [-] 99 | [-] - | [] 111 | [] | | |
| 2年次 | / | | [-] 107 | [-] - | [-] 118 | [-] - | [] 96 | [] | | |
| 3年次 | | | / | | [-] 102 | [-] - | [] 106 | [] | | |
| 4年次 | | | | | / | | [] 98 | [] | | |
| 計 | | | [-] 110 | [-] 226 | | | [-] 319 | [] 411 | | |

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分 対象年度 | 入学者数(b) | 退学者数(a) | 退学者数(内訳) | | | 主な退学理由 | 入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b) |
|---------------|---------|---------|----------|------|-----------------|---|----------------------------------|
| | | | 退学した年度 | 退学者数 | 退学者数の うち留学生数 | | |
| 平成22年度 入学者 | 110 人 | 12 人 | 平成22年度 | 3 人 | 0 人 | 除籍(3人) | 0.1090909 % |
| | | | 平成23年度 | 5 人 | 0 人 | 就学意欲の低下(1人) 他の教育機関への入学・転学(2人) 除籍(1人) その他(1人) | |
| | | | 平成24年度 | 4 人 | 人 | 学力不足(1人) 他の教育機関への入学・転学(1人) 除籍(2人) | |
| | | | 平成25年度 | 人 | 人 | | |
| 平成23年度 入学者 | 119 人 | 13 人 | 平成23年度 | 1 人 | 0 人 | 学生個人の心身に関する事情(1人) | 0.1092437 % |
| | | | 平成24年度 | 12 人 | 人 | 就学意欲の低下(2人) 学力不足(1人) 他の教育機関への入学・転学(1人) 就職(1人) 家庭の事情(1人) 除籍(6人) | |
| | | | 平成25年度 | 人 | 人 | | |
| 平成24年度 入学者 | 99 人 | 3 人 | 平成24年度 | 3 人 | 人 | 就学意欲の低下(1人) 除籍(1人) その他(1人) | 0.030303 % |
| | | | 平成25年度 | 人 | 人 | | |
| 平成25年度 入学者 | 111 人 | 0 人 | 平成25年度 | 人 | 人 | | 0 % |
| 合 計 | 439 人 | 28 人 | | | | | 0.0637813 % |

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

| 調査対象学部等の名称(学位) | 設置時の計画 | | | | 備考 |
|-----------------------------|--------|------|----------|------|----|
| | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | |
| 人文学部 福祉実践学科 学士(社会福祉学) | 4年 | 60人 | — 年次人 | 240人 | |

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

| 区分 | 平成22年度 | | 平成23年度 | | 平成24年度 | | 平成25年度 | | 平均入学定員 超過率 | 備考 |
|----------------|-------------------|-----------------|-------------------|-----------------|-------------------|-----------------|-------------------|-----------------|---------------|----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | | |
| A 入学定員 | 60 (—) [—] | — | 60 (—) [—] | — | 60 (—) [—] | — | 60 (—) [—] | — | 0.92倍 | |
| 志願者数 | 138 (0) [0] | — (—) [—] | 192 (0) [0] | — (—) [—] | 196 (0) [0] | — (—) [—] | 183 (0) [0] | — (—) [—] | | |
| 受験者数 | 134 (0) [0] | — (—) [—] | 182 (0) [0] | — (—) [—] | 189 (0) [0] | — (—) [—] | 174 (0) [0] | — (—) [—] | | |
| 合格者数 | 91 (0) [0] | — (—) [—] | 126 (0) [0] | — (—) [—] | 124 (0) [0] | — (—) [—] | 146 (0) [0] | — (—) [—] | | |
| B 入学者数 | 40 (0) [0] | — (—) [—] | 67 (0) [0] | — (—) [—] | 54 (0) [0] | — (—) [—] | 61 (0) [0] | — (—) [—] | | |
| 入学定員超過率 B/A | 0.67 | | 1.12 | | 0.90 | | 1.01 | | | |

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, **計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

| 学 年 | 平成22年度 | | 平成23年度 | | 平成24年度 | | 平成25年度 | | 備 考 |
|-----|-------------|------------|-------------|--------------|-------------|------------|--------------|------------|-----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | |
| 1年次 | [—] 40 | [—] — | [—] 67 | [—] — | [—] 54 | [—] — | [] 61 | [] | |
| 2年次 | / | | [—] 40 | [—] — | [—] 67 | [—] — | [] 54 | [] | |
| 3年次 | | | / | | [—] 37 | [—] — | [] 63 | [] | |
| 4年次 | | | | | / | | [] 35 | [] | |
| 計 | | | [—] 40 | [—] 107 | | | [—] 158 | [] 213 | |

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分 対象年度 | 入学者数(b) | 退学者数(a) | 退学者数(内訳) | | | 主な退学理由 | 入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b) |
|---------------|---------|---------|----------|------|-----------------|--|----------------------------------|
| | | | 退学した年度 | 退学者数 | 退学者数の うち留学生数 | | |
| 平成22年度 入学者 | 40 人 | 5 人 | 平成22年度 | 0 人 | 0 人 | 該当なし | 0.125 % |
| | | | 平成23年度 | 3 人 | 0 人 | 他の教育機関へ入学・転学(1人) 学生個人の心身に関する事情(1人) 家庭の事情(1人) | |
| | | | 平成24年度 | 2 人 | 人 | 家庭の事情(2人) | |
| | | | 平成25年度 | 人 | 人 | | |
| 平成23年度 入学者 | 67 人 | 5 人 | 平成23年度 | 1 人 | 0 人 | 除籍(1人) | 0.0746269 % |
| | | | 平成24年度 | 4 人 | 人 | 他の教育機関へ入学・転学(1人) 就学意欲の低下(1人) 除籍(2人) | |
| | | | 平成25年度 | 人 | 人 | | |
| 平成24年度 入学者 | 54 人 | 0 人 | 平成24年度 | 人 | 人 | | 0 % |
| | | | 平成25年度 | 人 | 人 | | |
| 平成25年度 入学者 | 61 人 | 0 人 | 平成25年度 | 人 | 人 | | 0 % |
| 合 計 | 222 人 | 10 人 | | | | | 0.045045 % |

(注)・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人文学部 心理学科>

(1) 授業科目表

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 |
|------|-------------|------------|-----|----|----|----------|-----|--------|----|----|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| | 自立と体験1 | 1前 | 2 | | | 0 + | 1 | 0 + | | | 「自立と体験1」は、担当者の変更。福田憲明教授より竹内康二講師に変更(23) 竹内講師 講師→准教授へ職位変更(24) |
| | 自立と体験3 | 2後 | | | 2 | | | | | | 「自立と体験1」は、担当者の変更。竹内康二准教授より茅野一穂常勤准教授に変更(25) |
| | 自立と体験4 | 3前 | | | 2 | | | | | | 平成22年度文科省令第3号により、大学設置基準に「社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うための体制」を必要とすることが定められ、これを満たした充実させるために、キャリア教育科目として新たに開設(24) 科目区分を社会的・職業的自立促進科目に変更(25) |
| | 哲学1 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | |
| | 哲学2 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | |
| | 倫理学1 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | |
| | 倫理学2 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | |
| | 論理学1 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | |
| | 論理学2 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | |
| | 宗教学1 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | |
| | 宗教学2 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | |
| | 美学1 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | |
| | 美学2 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | |
| | 心理学1 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | |
| | 心理学2 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | |
| | 教育学1 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | |
| | 教育学2 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | |
| | 倫理学3 | 2・3・4前 | | 2 | | | | | | | |
| | 倫理学4 | 2・3・4後 | | 2 | | | | | | | |
| | 美学3 | 2・3・4前 | | 2 | | | | | | | |
| | 美学4 | 2・3・4後 | | 2 | | | | | | | |
| | 哲学3 | 2・3・4前 | | 2 | | | | | | | |
| | 哲学4 | 2・3・4後 | | 2 | | | | | | | |
| | 思想への招待 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | |
| | 健康・スポーツ科学論 | 1・2・3・4前・後 | 2 | | | | | | | | |
| | 健康・スポーツ演習1 | 1前・後 | 1 | | | | | | | | |
| | 健康・スポーツ演習2 | 2前・後 | | 1 | | | | | | | |
| | 健康・スポーツ演習3 | 3前・後 | | 1 | | | | | | | |
| | 健康・スポーツ演習4 | 4前・後 | | 1 | | | | | | | |
| | 外国語(英語)1A | 1・2前 | | 1 | | | | | | | |
| | 外国語(英語)1B | 1・2前 | | 1 | | | | | | | |
| | 外国語(英語)2A | 1・2後 | | 1 | | | | | | | |
| | 外国語(英語)2B | 1・2後 | | 1 | | | | | | | |
| | 外国語(ドイツ語)1A | 1・2前 | | 1 | | | | | | | |
| | 外国語(ドイツ語)1B | 1・2前 | | 1 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|----------------------------|---------------|----------|---|--|--|--|--|--|--|
| | 外国語（ドイツ語）2 A | 1・2後 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（ドイツ語）2 B | 1・2後 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（フランス語）1 A | 1・2前 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（フランス語）1 B | 1・2前 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（フランス語）2 A | 1・2後 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（フランス語）2 B | 1・2後 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（中国語）1 A | 1・2前 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（中国語）1 B | 1・2前 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（中国語）2 A | 1・2後 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（中国語）2 B | 1・2後 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（韓国語）1 A | 1・2前 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（韓国語）1 B | 1・2前 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（韓国語）2 A | 1・2後 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（韓国語）2 B | 1・2後 | 1 | | | | | | |
| | 日本語 1 A | 1・2前 | 1 | | | | | | |
| | 日本語 1 B | 1・2前 | 1 | | | | | | |
| | 日本語 2 A | 1・2後 | 1 | | | | | | |
| | 日本語 2 B | 1・2後 | 1 | | | | | | |
| | 情報リテラシー a | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | |
| | 情報リテラシー b | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | |
| | 言語学 1 | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | |
| | 言語学 2 | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | |
| | 言葉の思想 | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | |
| | 科学コミュニケーション論 | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | |
| | 映画と音楽で学ぶ英語 | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | |
| | 異文化体験 | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | |
| | 異文化で学ぶ英語 | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | |
| | 外国語（英語）3 A | 2・3前 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（英語）3 B | 2・3前 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（英語）4 A | 2・3後 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（英語）4 B | 2・3後 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（ドイツ語）3 A | 2・3前 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（ドイツ語）3 B | 2・3前 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（ドイツ語）4 A | 2・3後 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（ドイツ語）4 B | 2・3後 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（フランス語）3 A | 2・3前 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（フランス語）3 B | 2・3前 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（フランス語）4 A | 2・3後 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（フランス語）4 B | 2・3後 | 1 | | | | | | |
| 全 学 共 通 科 目 | 外国語（中国語）3 A | 2・3前 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（中国語）3 B | 2・3前 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（中国語）4 A | 2・3後 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（中国語）4 B | 2・3後 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（韓国語）3 A | 2・3前 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（韓国語）3 B | 2・3前 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（韓国語）4 A | 2・3後 | 1 | | | | | | |
| | 外国語（韓国語）4 B | 2・3後 | 1 | | | | | | |
| | 日本語 3 A | 2・3前 | 1 | | | | | | |
| | 日本語 3 B | 2・3前 | 1 | | | | | | |
| | 日本語 4 A | 2・3後 | 1 | | | | | | |
| | 日本語 4 B | 2・3後 | 1 | | | | | | |
| | 上級英語 1 | 3・4前 | 1 | | | | | | |
| | 上級英語 2 | 3・4後 | 1 | | | | | | |
| | 上級ドイツ語 1 | 3・4前 | 1 | | | | | | |
| | 上級ドイツ語 2 | 3・4後 | 1 | | | | | | |
| | 上級フランス語 1 | 3・4前 | 1 | | | | | | |
| | 上級フランス語 2 | 3・4後 | 1 | | | | | | |
| | 上級中国語 1 | 3・4前 | 1 | | | | | | |
| | 上級中国語 2 | 3・4後 | 1 | | | | | | |
| | 上級韓国語 1 | 3・4前 | 1 | | | | | | |
| | 上級韓国語 2 | 3・4後 | 1 | | | | | | |
| | 上級英語 3 | 4前 | 1 | | | | | | |
| | 上級英語 4 | 4後 | 1 | | | | | | |
| 上級ドイツ語 3 | 4前 | 1 | | | | | | | |
| 上級ドイツ語 4 | 4後 | 1 | | | | | | | |
| 上級フランス語 3 | 4前 | 1 | | | | | | | |
| 上級フランス語 4 | 4後 | 1 | | | | | | | |
| 上級中国語 3 | 4前 | 1 | | | | | | | |
| 上級中国語 4 | 4後 | 1 | | | | | | | |
| 上級韓国語 3 | 4前 | 1 | | | | | | | |
| 上級韓国語 4 | 4後 | 1 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|----------------|------------|---|--|--|--|--|--|--|--|
| 日事情 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 日事情 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 外国事情 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 外国事情 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 日本の文学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 日本の文学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 外国の文学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 外国の文学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 文化人類学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 文化人類学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 人文科学論 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 人文科学論 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 日本史 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 日本史 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 西洋の歴史と文化 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 西洋の歴史と文化 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 中国の歴史と文化 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 中国の歴史と文化 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 考古学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 考古学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 日本の芸能 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 日本の芸能 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 日本民俗学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 日本民俗学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 自然科学史 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 図像学 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 人文科学論 3 | 2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 人文科学論 4 | 2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 日本史 3 | 2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 日本史 4 | 2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 社会の仕組みと人間の営み 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 社会の仕組みと人間の営み 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 法学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 法学 2 (日本国憲法) | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 現代政治を読み解く 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 現代政治を読み解く 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 社会科学論 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 社会科学論 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 国際関係論 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 国際関係論 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 21世紀経済への視点 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 21世紀経済への視点 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| グローバル時代の経営 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| グローバル時代の経営 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 情報社会文化論 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 情報社会文化論 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 生涯学習論 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 生涯学習論 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 図書館の基礎と展望 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 社会に生きる私たちの人権 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 女性の生き方 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 地図を読む | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| ボランティア論 | 1-2-3-4前・後 | 2 | | | | | | | |
| 情報法制論 | 2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 地球惑星学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 地球惑星学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 科学技術論 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 科学技術論 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 統計学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 統計学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 基礎数学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 基礎数学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 生物学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|--------------|----------|---|---|--|---|---|---|---|---|--|--|---|
| | 生物学2 | 1-2-3-4後 | | 2 | | | | | | | | | |
| | 物理学1 | 1-2-3-4前 | | 2 | | | | | | | | | |
| | 物理学2 | 1-2-3-4後 | | 2 | | | | | | | | | |
| | 化学1 | 1-2-3-4前 | | 2 | | | | | | | | | |
| | 化学2 | 1-2-3-4後 | | 2 | | | | | | | | | |
| | 自然科学入門1 | 1-2-3-4前 | | 2 | | | | | | | | | |
| | 自然科学入門2 | 1-2-3-4後 | | 2 | | | | | | | | | |
| | 生物学3 | 2-3-4前 | | 2 | | | | | | | | | |
| | 生物学4 | 2-3-4後 | | 2 | | | | | | | | | |
| | 人類と環境 | 2-3-4前 | | 2 | | | | | | | | | |
| | 特別講義1 | 1-2-3-4前 | | 2 | | | | | | | | | |
| | 特別講義2 | 1-2-3-4前 | | 1 | | | | | | | | | |
| | 特別講義3 | 1-2-3-4後 | | 2 | | | | | | | | | |
| | 特別講義4 | 1-2-3-4後 | | 1 | | | | | | | | | |
| 社会的・職業的自立促進科目 | 自立と体験3 | 2後 | | | | | | | | | | | 平成22年文科省令第3号により、大学設置基準に「社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うための体制」を必要とすることが定められ、既設の該当科目を明瞭にするために新たな科目区分を設けて整理した(25) |
| | 自立と体験4 | 3前 | | | | | | | | | | | 平成22年文科省令第3号により、大学設置基準に「社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うための体制」を必要とすることが定められ、既設の該当科目を明瞭にするために新たな科目区分を設けて整理した(25) |
| 学部 共通 科目 | 自己と社会Ⅰ | | | 2 | | | | | | | | | |
| | 自己と社会Ⅱ | | | 2 | | | | | | | | | |
| | 思想特講A | | | 2 | | | | | | | | | |
| | 思想特講B | | | 2 | | | | | | | | | |
| | 思想研究Ⅰ | | | 2 | | | | | | | | | |
| | 思想研究Ⅱ | | | 2 | | | | | | | | | |
| | 健康・スポーツ科学研究Ⅰ | | | 2 | | | | | | | | | |
| | 健康・スポーツ科学研究Ⅱ | | | 2 | | | | | | | | | |
| | ラテン語1 | | | 2 | | | | | | | | | |
| | ラテン語2 | | | 2 | | | | | | | | | |
| | 言語・文化特講A | | | 2 | | | | | | | | | |
| | 言語・文化特講B | | | 2 | | | | | | | | | |
| | 言語・文化特講C | | | 2 | | | | | | | | | |
| | 言語・文化特講D | | | 2 | | | | | | | | | |
| | 言語・文化研究Ⅰ | | | 2 | | | | | | | | | |
| | 言語・文化研究Ⅱ | | | 2 | | | | | | | | | |
| | 編集論 | | | 2 | | | | | | | | | |
| | 文化を比較する1 | | | 2 | | | | | | | | | |
| | 文化を比較する2 | | | 2 | | | | | | | | | |
| | 都市地理学1 | | | 2 | | | | | | | | | |
| | 都市地理学2 | | | 2 | | | | | | | | | |
| | 歴史・文化特講A | | | 2 | | | | | | | | | |
| | 歴史・文化特講B | | | 2 | | | | | | | | | |
| | 歴史・文化特講C | | | 2 | | | | | | | | | |
| 歴史・文化特講D | | | 2 | | | | | | | | | | |
| 歴史・文化研究Ⅰ | | | 2 | | | | | | | | | | |
| 歴史・文化研究Ⅱ | | | 2 | | | | | | | | | | |
| 社会・情報特講A | | | 2 | | | | | | | | | | |
| 社会・情報特講B | | | 2 | | | | | | | | | | |
| 社会・情報研究Ⅰ | | | 2 | | | | | | | | | | |
| 社会・情報研究Ⅱ | | | 2 | | | | | | | | | | |
| 学 科 | 自立と体験2 | 1後 | 2 | | | 5 | 7 | 3 | 4 | 5 | | | 0 |
| | 心理学序説Ⅰ | 1前・後 | 2 | | | 6 | | 4 | | 4 | | | 4 |
| | 心理学序説Ⅱ | 1前・後 | 2 | | | | | | | 1 | | | |
| | 心理統計法Ⅰ | 1前 | 2 | | | | | | | 1 | | | |
| | 心理統計法Ⅱ | 1後 | 2 | | | | | | | 1 | | | |
| | 心理学実験 | 2前・後 | 3 | | | 1 | | | | 2 | | | 4 |
| | | | | | | | | | | | | | 「自立と体験2」は、境敦史教授が特別研究員制度適用にて海外赴任のため、平成22年度のみ担当者の変更。変更塚田統一教授(22)担当者の変更。境敦史教授が海外研究より帰国したため23年度より担当(23) 石井准教授、森教授、教授、職位教育効果向上のため、担当教員増員による追加(25) |
| | | | | | | | | | | | | | 兼5 教育効果向上のため、担当教員増員による追加(25) |
| | | | | | | | | | | | | | 兼5 教育効果向上のため、担当教員増員による追加(25) |
| | | | | | | | | | | | | | 兼3 教育効果向上のため、担当教員増員による追加(25) |

| | | | | | | | | | | |
|--|------------------------|----------|---|---|---|---|---|--------|---------------------|------------------------|
| 科 目 (基 礎 科 目) | 心理学検査法講義 | 2前・後 | 2 | | 1 | | | | 兼6 | |
| | 心理学検査法演習 | 2前・後 | 2 | | 1 | | | | 兼6 | |
| | 児童心理学 | 2・3・4前・後 | | 2 | | | | | 兼1 | |
| | 学習心理学 | 2・3・4前・後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 教育心理学Ⅰ | 2・3・4前 | | 2 | | | | | 兼1 | |
| | 教育心理学Ⅱ | 2・3・4後 | | 2 | | | | | 兼1 | |
| | 生涯発達心理学 | 2・3・4前・後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 臨床心理学 | 2・3・4前・後 | | 2 | | 1 | 4 | | | 石井准教授 准教授→教授へ職位変更 (23) |
| | 性格心理学 | 2・3・4前・後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 知覚心理学 | 2・3・4前・後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 青年心理学 | 2・3・4前・後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 神経心理学 | 2・3・4前・後 | | 2 | | | 1 | | | |
| | 発達臨床心理学 | 2・3・4前・後 | | 2 | | | 1 | 0 4 | | 竹内講師 講師→准教授へ職位変更 (24) |
| | 福祉心理学 | 2・3・4前・後 | | 2 | | 1 | | | | |
| 学校臨床心理学 | 2・3・4前・後 | | 2 | | | 1 | | | | |
| 社会心理学 | 2・3・4前・後 | | 2 | | | 1 | | | | |
| 学 科 科 目 (上 級 科 目) | 心理学特殊講義 1 A (知覚心理学) | 3・4前 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 心理学特殊講義 1 B (知覚心理学) | 3・4後 | | 2 | | | | | 兼1 | |
| | 心理学特殊講義 2 A (学習心理学) | 3・4前 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 心理学特殊講義 2 B (学習心理学) | 3・4後 | | 2 | | | | | 兼1 | |
| | 心理学特殊講義 3 (児童心理学) | 3・4後 | | 2 | | | | | 兼1 | |
| | 心理学特殊講義 4 A (カウンセリング) | 3・4前 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 心理学特殊講義 4 B (カウンセリング) | 3・4後 | | 2 | | | | | 兼1 | |
| | 心理学特殊講義 5 A (生涯発達心理学) | 3・4前 | | 2 | | | | | 兼1 | |
| | 心理学特殊講義 5 B (生涯発達心理学) | 3・4後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 心理学特殊講義 6 A (神経心理学) | 3・4前 | | 2 | | | 1 | | | |
| | 心理学特殊講義 6 B (神経心理学) | 3・4後 | | 2 | | | | | 兼1 | |
| | 心理学特殊講義 7 A (発達臨床心理学) | 3・4前 | | 2 | | | 1 | 0 4 | | 竹内講師 講師→准教授へ職位変更 (24) |
| | 心理学特殊講義 7 B (発達臨床心理学) | 3・4後 | | 2 | | | | | 兼1 | |
| | 心理学特殊講義 8 A (福祉心理学) | 3・4前 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 心理学特殊講義 8 B (福祉心理学) | 3・4後 | | 2 | | | | | 兼1 | |
| | 心理学特殊講義 9 A (臨床心理学) | 3・4前 | | 2 | | 1 | | 0 4 | | 石井准教授 准教授→教授へ職位変更 (23) |
| | 心理学特殊講義 9 B (臨床心理学) | 3・4後 | | 2 | | | | | 兼1 | |
| | 心理学特殊講義 10 A (性格心理学) | 3・4前 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 心理学特殊講義 10 B (性格心理学) | 3・4後 | | 2 | | | | | 兼1 | |
| | 心理学特殊講義 11 A (学校臨床心理学) | 3・4前 | | 2 | | | 1 | | | |
| | 心理学特殊講義 11 B (学校臨床心理学) | 3・4後 | | 2 | | | | | 兼1 | |
| | 心理学特殊講義 12 (犯罪心理学) | 3・4前 | | 2 | | | | | 兼1 | |
| | 心理学特殊講義 13 A (社会心理学) | 3・4前 | | 2 | | | 1 | | | |
| | 心理学特殊講義 13 B (社会心理学) | 3・4後 | | 2 | | | | | 兼1 | |
| 心理学特殊講義 14 (産業心理学) | 3・4後 | | 2 | | | | | 兼1 | | |
| 精神保健Ⅰ | 3・4前 | | 2 | | | | | 兼1 | | |
| 精神保健Ⅱ | 3・4後 | | 2 | | | | | 兼1 | | |
| 心理学調査法 | 3・4前 | | 2 | | 1 | | | 兼3 | 教育効果向上のため担当者変更 (25) | |

| | | | | | | | | | | |
|----------------|--------|------|---|--|--|--------|-------------|--------|--|---|
| 学科科目 (卒業研究) | 専門ゼミⅠA | 3・4前 | 1 | | | 7 6 | 5 3 4 | 0 1 | | 石井准教授 准教授→教授へ職位変更(23) 竹内講師 講師→准教授へ職位変更(24) 教育効果向上のため担当者追加(25) |
| | 専門ゼミⅠB | 3・4後 | 1 | | | 7 6 | 5 3 4 | 0 1 | | 石井准教授 准教授→教授へ職位変更(23) 竹内講師 講師→准教授へ職位変更(24) 教育効果向上のため担当者追加(25) |
| | 専門ゼミⅡA | 4前 | 1 | | | 7 6 | 5 3 4 | 0 1 | | 石井准教授 准教授→教授へ職位変更(23) 竹内講師 講師→准教授へ職位変更(24) 教育効果向上のため担当者追加(25) |
| | 専門ゼミⅡB | 4後 | 1 | | | 7 6 | 5 3 4 | 0 1 | | 石井准教授 准教授→教授へ職位変更(23) 竹内講師 講師→准教授へ職位変更(24) 教育効果向上のため担当者追加(25) |
| | 卒業研究 | 4通 | 8 | | | 7 6 | 4 3 4 | 0 1 | | 石井准教授 准教授→教授へ職位変更(23) 竹内講師 講師→准教授へ職位変更(24) |

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|--------|-----|----|-----|-------|-------|--------|------------|----|
| 必修 | 選択 | 自由 | 計 | 必修 | 選択 | 自由 | 計 | |
| 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | |
| 18 | 249 | 0 | 267 | 18 | 249 | 2 0 | 269 267 | |
| | | | | [0] | [0] | 2 0 | 2 0 | |

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由, 代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|-----------------|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由, 代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|----------------|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<人文学部 日本文化学科>

(1) 授業科目表

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 |
|------|------------|------------|-----|----|---|----|-------------|-----|--------|----|----|--|
| | | | 必修 | 選択 | 択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| | 自立と体験1 | 1前 | 2 | | | | 1 0 1 | 1 | 0 1 | | | <p>「自立と体験1」は、担当者の変更。服部裕教授より上原麻有子准教授に変更(22)</p> <p>「自立と体験1」は、教育効果向上のため担当教員を増加。神田敦子講師(22)</p> <p>「自立と体験1」は、担当者の変更。上原麻有子准教授より三橋正准教授、神田敦子講師より勝又基準教授に変更(23)</p> <p>三橋准教授 准教授→教授へ職位変更(23)</p> <p>担当者の変更。三橋正教授より古田島洋介教授、勝又基準教授より柴田教授に変更(24)</p> <p>担当者の変更。勝又基準教授より田村良平教授に変更(25)</p> <p>平成22年度文科省令第3号により、大学設置基準に「社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うための体制」を必要とすることが定められ、これを満たした充実させるために、キャリア教育科目として新たに開設(24)</p> <p>科目区分を社会的・職業的自立促進科目に変更(25)</p> <p>平成22年度文科省令第3号により、大学設置基準に「社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うための体制」を必要とすることが定められ、これを満たした充実させるために、キャリア教育科目として新たに開設(24)</p> <p>科目区分を社会的・職業的自立促進科目に変更(25)</p> |
| | 自立と体験3 | 2後 | | | 2 | | | | | | | |
| | 自立と体験4 | 3前 | | | 2 | | | | | | | |
| | 哲学1 | 1-2-3-4前 | | 2 | | | | | | | | |
| | 哲学2 | 1-2-3-4後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 倫理学1 | 1-2-3-4前 | | 2 | | | | | | | | |
| | 倫理学2 | 1-2-3-4後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 論理学1 | 1-2-3-4前 | | 2 | | | | | | | | |
| | 論理学2 | 1-2-3-4後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 宗教学1 | 1-2-3-4前 | | 2 | | | | | | | | |
| | 宗教学2 | 1-2-3-4後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 美学1 | 1-2-3-4前 | | 2 | | | | | | | | |
| | 美学2 | 1-2-3-4後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 心理学1 | 1-2-3-4前 | | 2 | | | | | | | | |
| | 心理学2 | 1-2-3-4後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 教育学1 | 1-2-3-4前 | | 2 | | | | | | | | |
| | 教育学2 | 1-2-3-4後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 倫理学3 | 2-3-4前 | | 2 | | | | | | | | |
| | 倫理学4 | 2-3-4後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 美学3 | 2-3-4前 | | 2 | | | | | | | | |
| | 美学4 | 2-3-4後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 哲学3 | 2-3-4前 | | 2 | | | | | | | | |
| | 哲学4 | 2-3-4後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 思想への招待 | 1-2-3-4前 | | 2 | | | | | | | | |
| | 健康・スポーツ科学論 | 1-2-3-4前・後 | 2 | | | | | | | | | |
| | 健康・スポーツ演習1 | 1前・後 | 1 | | | | | | | | | |
| | 健康・スポーツ演習2 | 2前・後 | | 1 | | | | | | | | |
| | 健康・スポーツ演習3 | 3前・後 | | 1 | | | | | | | | |
| | 健康・スポーツ演習4 | 4前・後 | | 1 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|---|----------------|----------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | 外国語（英語） 1 A | 1・2前 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（英語） 1 B | 1・2前 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（英語） 2 A | 1・2後 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（英語） 2 B | 1・2後 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（ドイツ語） 1 A | 1・2前 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（ドイツ語） 1 B | 1・2前 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（ドイツ語） 2 A | 1・2後 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（ドイツ語） 2 B | 1・2後 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（フランス語） 1 A | 1・2前 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（フランス語） 1 B | 1・2前 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（フランス語） 2 A | 1・2後 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（フランス語） 2 B | 1・2後 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（中国語） 1 A | 1・2前 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（中国語） 1 B | 1・2前 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（中国語） 2 A | 1・2後 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（中国語） 2 B | 1・2後 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（韓国語） 1 A | 1・2前 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（韓国語） 1 B | 1・2前 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（韓国語） 2 A | 1・2後 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（韓国語） 2 B | 1・2後 | 1 | | | | | | | | |
| | 日本語 1 A | 1・2前 | 1 | | | | | | | | |
| | 日本語 1 B | 1・2前 | 1 | | | | | | | | |
| | 日本語 2 A | 1・2後 | 1 | | | | | | | | |
| | 日本語 2 B | 1・2後 | 1 | | | | | | | | |
| | 情報リテラシー a | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | | |
| | 情報リテラシー b | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | | | |
| | 言語学 1 | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | | |
| | 言語学 2 | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | | | |
| | 言葉の思想 | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | | |
| | 科学コミュニケーション論 | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | | |
| | 映画と音楽で学ぶ英語 | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | | |
| | 異文化体験 | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | | |
| | 異文化で学ぶ英語 | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | | | |
| | 外国語（英語） 3 A | 2・3前 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（英語） 3 B | 2・3前 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（英語） 4 A | 2・3後 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（英語） 4 B | 2・3後 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（ドイツ語） 3 A | 2・3前 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（ドイツ語） 3 B | 2・3前 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（ドイツ語） 4 A | 2・3後 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（ドイツ語） 4 B | 2・3後 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（フランス語） 3 A | 2・3前 | 1 | | | | | | | | |
| 全 | 外国語（フランス語） 3 B | 2・3前 | 1 | | | | | | | | |
| 学 | 外国語（フランス語） 4 A | 2・3後 | 1 | | | | | | | | |
| 共 | 外国語（フランス語） 4 B | 2・3後 | 1 | | | | | | | | |
| 通 | 外国語（中国語） 3 A | 2・3前 | 1 | | | | | | | | |
| 科 | 外国語（中国語） 3 B | 2・3前 | 1 | | | | | | | | |
| 目 | 外国語（中国語） 4 A | 2・3後 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（中国語） 4 B | 2・3後 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（韓国語） 3 A | 2・3前 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（韓国語） 3 B | 2・3前 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（韓国語） 4 A | 2・3後 | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語（韓国語） 4 B | 2・3後 | 1 | | | | | | | | |
| | 日本語 3 A | 2・3前 | 1 | | | | | | | | |
| | 日本語 3 B | 2・3前 | 1 | | | | | | | | |
| | 日本語 4 A | 2・3後 | 1 | | | | | | | | |
| | 日本語 4 B | 2・3後 | 1 | | | | | | | | |
| | 上級英語 1 | 3・4前 | 1 | | | | | | | | |
| | 上級英語 2 | 3・4後 | 1 | | | | | | | | |
| | 上級ドイツ語 1 | 3・4前 | 1 | | | | | | | | |
| | 上級ドイツ語 2 | 3・4後 | 1 | | | | | | | | |
| | 上級フランス語 1 | 3・4前 | 1 | | | | | | | | |
| | 上級フランス語 2 | 3・4後 | 1 | | | | | | | | |
| | 上級中国語 1 | 3・4前 | 1 | | | | | | | | |
| | 上級中国語 2 | 3・4後 | 1 | | | | | | | | |
| | 上級韓国語 1 | 3・4前 | 1 | | | | | | | | |
| | 上級韓国語 2 | 3・4後 | 1 | | | | | | | | |
| | 上級英語 3 | 4前 | 1 | | | | | | | | |
| | 上級英語 4 | 4後 | 1 | | | | | | | | |
| | 上級ドイツ語 3 | 4前 | 1 | | | | | | | | |
| | 上級ドイツ語 4 | 4後 | 1 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|----------------|------------|---|--|--|--|--|--|--|--|
| 上級フランス語 3 | 4前 | 1 | | | | | | | |
| 上級フランス語 4 | 4後 | 1 | | | | | | | |
| 上級中国語 3 | 4前 | 1 | | | | | | | |
| 上級中国語 4 | 4後 | 1 | | | | | | | |
| 上級韓国語 3 | 4前 | 1 | | | | | | | |
| 上級韓国語 4 | 4後 | 1 | | | | | | | |
| 日本事情 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 日本事情 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 外国事情 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 外国事情 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 日本の文学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 日本の文学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 外国の文学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 外国の文学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 文化人類学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 文化人類学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 人文科学論 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 人文科学論 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 日本史 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 日本史 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 西洋の歴史と文化 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 西洋の歴史と文化 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 中国の歴史と文化 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 中国の歴史と文化 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 考古学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 考古学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 日本の芸能 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 日本の芸能 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 日本民俗学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 日本民俗学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 自然科学史 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 図像学 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 人文科学論 3 | 2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 人文科学論 4 | 2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 日本史 3 | 2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 日本史 4 | 2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 社会の仕組みと人間の営み 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 社会の仕組みと人間の営み 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 法学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 法学 2 (日本国憲法) | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 現代政治を読み解く 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 現代政治を読み解く 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 社会科学論 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 社会科学論 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 国際関係論 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 国際関係論 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 21世紀経済への視点 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 21世紀経済への視点 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| グローバル時代の経営 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| グローバル時代の経営 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 情報社会文化論 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 情報社会文化論 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 生涯学習論 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 生涯学習論 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 図書館の基礎と展望 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 社会に生きる私たちの人権 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 女性の生き方 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 地図を読む | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| ボランティア論 | 1-2-3-4前・後 | 2 | | | | | | | |
| 情報法制論 | 2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 地球惑星学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 地球惑星学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 科学技術論 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 科学技術論 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 統計学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 統計学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 基礎数学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 基礎数学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 生物学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 生物学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 物理学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|---------------|----------------|----------|---|---|--|--|-------------|-------------|--------|--|--|
| | 物理学 2 | 1-2-3-4後 | | 2 | | | | | | | |
| | 化学 1 | 1-2-3-4前 | | 2 | | | | | | | |
| | 化学 2 | 1-2-3-4後 | | 2 | | | | | | | |
| | 自然科学入門 1 | 1-2-3-4前 | | 2 | | | | | | | |
| | 自然科学入門 2 | 1-2-3-4後 | | 2 | | | | | | | |
| | 生物学 3 | 2-3-4前 | | 2 | | | | | | | |
| | 生物学 4 | 2-3-4後 | | 2 | | | | | | | |
| | 人類と環境 | 2-3-4前 | | 2 | | | | | | | |
| | 特別講義 1 | 1-2-3-4前 | | 2 | | | | | | | |
| | 特別講義 2 | 1-2-3-4前 | | 1 | | | | | | | |
| | 特別講義 3 | 1-2-3-4後 | | 2 | | | | | | | |
| | 特別講義 4 | 1-2-3-4後 | | 1 | | | | | | | |
| 社会的・職業的自立促進科目 | 自立と体験 3 | 2後 | | | | | | | | | 平成22年文科省令第3号により、大学設置基準に「社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うための体制」を必要とすることが定められ、既設の該当科目を明瞭にするために新たな科目区分を設けて整理した (25) |
| | 自立と体験 4 | 3前 | | | | | | | | | 平成22年文科省令第3号により、大学設置基準に「社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うための体制」を必要とすることが定められ、既設の該当科目を明瞭にするために新たな科目区分を設けて整理した (25) |
| 学部共通科目 | 自己と社会 I | | | 2 | | | | | | | |
| | 自己と社会 II | | | 2 | | | | | | | |
| | 思想特講 A | | | 2 | | | | | | | |
| | 思想特講 B | | | 2 | | | | | | | |
| | 思想研究 I | | | 2 | | | | | | | |
| | 思想研究 II | | | 2 | | | | | | | |
| | 健康・スポーツ科学研究 I | | | 2 | | | | | | | |
| | 健康・スポーツ科学研究 II | | | 2 | | | | | | | |
| | ラテン語 1 | | | 2 | | | | | | | |
| | ラテン語 2 | | | 2 | | | | | | | |
| | 言語・文化特講 A | | | 2 | | | | | | | |
| | 言語・文化特講 B | | | 2 | | | | | | | |
| | 言語・文化特講 C | | | 2 | | | | | | | |
| | 言語・文化特講 D | | | 2 | | | | | | | |
| | 言語・文化研究 I | | | 2 | | | | | | | |
| | 言語・文化研究 II | | | 2 | | | | | | | |
| | 編集論 | | | 2 | | | | | | | |
| | 文化を比較する 1 | | | 2 | | | | | | | |
| | 文化を比較する 2 | | | 2 | | | | | | | |
| | 都市地理学 1 | | | 2 | | | | | | | |
| | 都市地理学 2 | | | 2 | | | | | | | |
| | 歴史・文化特講 A | | | 2 | | | | | | | |
| | 歴史・文化特講 B | | | 2 | | | | | | | |
| | 歴史・文化特講 C | | | 2 | | | | | | | |
| | 歴史・文化特講 D | | | 2 | | | | | | | |
| | 歴史・文化研究 I | | | 2 | | | | | | | |
| | 歴史・文化研究 II | | | 2 | | | | | | | |
| | 社会・情報特講 A | | | 2 | | | | | | | |
| | 社会・情報特講 B | | | 2 | | | | | | | |
| | 社会・情報研究 I | | | 2 | | | | | | | |
| | 社会・情報研究 II | | | 2 | | | | | | | |
| | 自立と体験 2 | 1後 | 2 | | | | 1 2 | 0 2 | | | 青山講師 講師→准教授へ職位変更 (23) 内海講師 講師→准教授へ職位変更 (23) 平成25年4月 クラスサイズ適正化により担当者削除 (25) |
| | 日本語レベルアップ 1 | 1前 | 1 | | | | 3 6 5 | 0 4 3 | 0 2 | | 青山講師 講師→准教授へ職位変更 (23) 内海講師 講師→准教授へ職位変更 (23) 三橋准教授 准教授→教授へ職位変更 (23) 平成25年4月 クラスサイズ適正化により、担当者削除 (25) |

| | | | | | | | | | |
|----------------|------------|----|---|--------|-------------|-------------|-------------|--|--|
| | 日本語レベルアップ2 | 1後 | 1 | | | 3 6 5 | 0 4 3 | 0 2 | 青山講師 講師→准教授へ職位変更 (23) 内海講師 講師→准教授へ職位変更 (23) 三橋准教授 准教授→教授へ職位変更 (23) 平成25年4月 クラスサイズ適正化により、担当者削除 (25) |
| 学科科目 (基本科目群) | 基礎英語 1 A | 1前 | 1 | | | | | | 兼3 |
| | 基礎英語 1 B | 1前 | 1 | | | | | | 兼2 |
| | 基礎英語 2 A | 1後 | 1 | | | | | | 兼3 |
| | 基礎英語 2 B | 1後 | 1 | | | | | | 兼2 |
| | 基礎英語 3 A | 2前 | | 1 | | | 0 + | 0 + | 兼1 |
| | 基礎英語 3 B | 2前 | | 1 | | | | | 兼1 |
| | 基礎英語 4 A | 2後 | | 1 | | | 0 + | 0 + | 兼1 |
| | 基礎英語 4 B | 2後 | | 1 | | | | | 兼1 |
| | 身体表現文化 1 | 2前 | 2 | | | | | | 兼1 |
| | 身体表現文化 2 | 3後 | | 2 | | | | | 兼1 |
| | 伝統文化論 1 | 1前 | 2 | | 1 | | 0 + | | クラスサイズ適正化による担当者の削減 (25) |
| | 伝統文化論 2 | 1後 | 2 | | 0 + | | 1 | 0 + | 青山講師 講師→准教授へ職位変更 (23) クラスサイズ適正化による担当者の削減 (25) |
| | 比較文化論 1 | 1前 | 2 | | 1 | | | | 担当者の変更。服部裕教授より古田島教授に変更 (24) |
| | 比較文化論 2 | 1後 | 2 | | | | | | 兼1 |
| | 日本文化基礎演習 1 | 2前 | 1 | | 2 4 3 | | 2 | 0 + | 三橋准教授 准教授→教授へ職位変更 (23) 青山講師 講師→准教授へ職位変更 (23) クラスサイズ適正化による担当者の削減 (25) |
| | 日本文化基礎演習 2 | 2後 | 1 | | 2 4 3 | | 2 | 0 + | 三橋准教授 准教授→教授へ職位変更 (23) 青山講師 講師→准教授へ職位変更 (23) クラスサイズ適正化による担当者の削減 (25) |
| | 日本文化演習 1 | 3前 | 1 | | 4 3 | | 2 | 0 + | 三橋准教授 准教授→教授へ職位変更 (23) 青山講師 講師→准教授へ職位変更 (23) |
| | 日本文化演習 2 | 3後 | 1 | | 4 3 | | 2 | 0 + | 三橋准教授 准教授→教授へ職位変更 (23) 青山講師 講師→准教授へ職位変更 (23) |
| | 比較文化基礎演習 1 | 2前 | 1 | | 2 | | 1 2 + | 0 + | 兼1 内海講師 講師→准教授へ職位変更 (23) 上原麻有子准教授退職に伴い、担当者削減 (25) |
| | 比較文化基礎演習 2 | 2後 | 1 | | 2 | | 1 2 + | 0 + | 兼1 内海講師 講師→准教授へ職位変更 (23) 上原麻有子准教授退職に伴い、担当者削減 (25) |
| 比較文化演習 1 | 3前 | 1 | | 2 | | 1 2 + | 0 + | 兼1 内海講師 講師→准教授へ職位変更 (23) 上原麻有子准教授退職に伴い、担当者削減 (25) | |
| 比較文化演習 2 | 3後 | 1 | | 2 | | 1 2 + | 0 + | 兼1 内海講師 講師→准教授へ職位変更 (23) 上原麻有子准教授退職に伴い、担当者削減 (25) | |
| 歴史入門 A (日本の歩み) | 1前 | | 2 | 0 + | | + | | 兼1 「歴史入門 A (日本の歩み)」は、三橋正准教授が特別研究員制度の適用にて海外赴任のため、担当者変更 落合美明講師 (22) | |

| | | | | | | | | | | |
|--------------|----|---|--|-------------|-------------|--|-------------|--|--|--|
| | | | | | | | | | | 三橋准教授が海外研究より帰国したため23年度より担当(23) 三橋准教授 准教授→教授へ職位変更(23) 教育効果向上のため担当者変更(25) |
| 歴史入門B(西洋と日本) | 1後 | 2 | | 0 + | 0 + | | | | | 兼1 「歴史入門B(西洋と日本)」は、担当者の変更。服部裕教授より上原麻有子准教授に変更(22)教育効果向上の為、担当者の変更。上原麻有子准教授より齋藤瞳兼任講師に変更(24) |
| 古文入門 | 1後 | 2 | | 0 ± | 1 | | 0 + | | | 青山講師 講師→准教授へ職位変更(23) クラスサイズ適正化による担当者の削減(25) |
| 古典精読1A(古文) | 2前 | 2 | | 1 | | | | | | |
| 古典精読2A(古文) | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| 古典精読1B(漢文) | 2前 | 2 | | 0 + | | | | | | 兼1 教育効果向上の為、担当者の変更。古田島洋介教授より渡瀬淳子兼任講師に変更(24) |
| 古典精読2B(漢文) | 2後 | 2 | | 1 | | | | | | |
| 翻訳実習1 | 2前 | 1 | | | | | 0 + | | | 兼1 上原麻有子准教授退職に伴い、担当者変更(25) |
| 翻訳実習2 | 2後 | 1 | | | | | 0 + | | | 兼1 上原麻有子准教授退職に伴い、担当者変更(25) |
| 日本文化研究 | 2前 | 2 | | 1 ± + | | | 0 ± ± | | | 三橋准教授 准教授→教授へ職位変更(23) クラスサイズ適正化による担当者の削減(25) |
| 比較文化研究 | 2前 | 2 | | 0 + | 1 ± + | | 0 + | | | 内海講師 講師→准教授へ職位変更(23) 上原麻有子准教授退職及びクラスサイズ適正化により担当者削減(25) |
| 日本文学入門 | 1前 | 2 | | 0 + | 1 ± + | | 0 + | | | 青山講師 講師→准教授へ職位変更(23) クラスサイズ適正化による担当者変更(25) |
| 日本文学の歴史1 | 2前 | 2 | | 1 | | | | | | |
| 日本文学の歴史2 | 2後 | 2 | | | 1 | | 0 + | | | 青山講師 講師→准教授へ職位変更(23) |
| 近代文学 | 2前 | 2 | | | 1 | | 0 + | | | 青山講師 講師→准教授へ職位変更(23) |
| 和歌文学 | 3前 | 2 | | 1 | | | | | | |
| 平安文化論 | 2後 | 2 | | 1 | | | | | | |
| 江戸文化論 | 3後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| 伝統芸能の歴史 | 3後 | 2 | | 1 | | | | | | |
| 日本語学 | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | |
| 日本語文法1 | 2前 | 2 | | 1 | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|------------|----|---|---|---|---|---|---|----|----|---|--|--|
| 学科科目（伝統・歴史文化科目郡） | 日本語文法 2 | 2後 | 2 | 1 | | | | | | | | | |
| | 日本語表現法 | 2後 | 2 | 1 | | | | | | | | | |
| | 日本語の歴史 | 3前 | 2 | 1 | | | | | | | | | |
| | 漢文学 1 | 1前 | 2 | 1 | | | | | | | | | |
| | 漢文学 2 | 1後 | 2 | 1 | | | | | | | | | |
| | 書誌学 | 3前 | 2 | | | | | | | 兼1 | | | |
| | 書道 1 | 2前 | 2 | | | | | | | 兼1 | | | |
| | 書道 2 | 2後 | 2 | | | | | | | 兼1 | | | |
| | 歴史文化論 | 1前 | 2 | | 0 | + | 0 | + | | 兼1 | 「歴史文化論」は、三橋正准教授が特別研究員制度の適用にて海外赴任のため、担当者の変更。落合義明講師 (22) 担当者の変更。三橋准教授が海外研究より帰国したため23年度より担当 (23) 三橋准教授 准教授→教授へ職位変更 (23) 教育効果向上のため担当者変更 (25) | | |
| | 日本人の信仰 | 2後 | 2 | | 0 | + | 0 | + | | 兼1 | 三橋准教授 准教授→教授へ職位変更 (23) 教育効果向上のため担当者変更 (25) | | |
| | 日記・記録の中の日本 | 3前 | 2 | | 1 | | 0 | + | | 兼1 | 三橋准教授 准教授→教授へ職位変更 (23) | | |
| | 古文書学 | 3後 | 2 | | | | | | | 兼1 | | | |
| | 日本・東洋美術史 1 | 2前 | 2 | | | | | | | 兼1 | | | |
| 日本・東洋美術史 2 | 2後 | 2 | | | | | | | 兼1 | | | | |
| 学科科目（比較文化・メディア文化科目郡） | 文化交流論 | 1前 | 2 | | 0 | + | 2 | | | 兼1 | 平成23年4月クラスサイズ適正化による担当者削除 平成24年4月 教育効果向上の為、担当者の変更。服部裕教授より沖田瑞穂兼任講師に変更 (24) | | |
| | 観光文化論 | 3後 | 2 | | | 0 | + | | | 兼1 | 上原麻有子准教授退職に伴い、担当者変更 (25) | | |
| | 翻訳基礎 1 | 1前 | 2 | | | | | | | 兼1 | | | |
| | 翻訳基礎 2 | 1後 | 2 | | | | | | | 兼1 | | | |
| | 翻訳論 | 2前 | 2 | | | 0 | + | | | 兼1 | 上原麻有子准教授退職に伴い、担当者変更 (25) | | |
| | 対照言語論 | 3前 | 2 | | | | | | | 兼1 | | | |
| | 日本語教育 | 2前 | 2 | | | 1 | | 0 | + | | 内海講師 講師→准教授職位変更 (23) | | |
| | 西洋美術史 1 | 2前 | 2 | | | | | | | 兼1 | | | |
| | 西洋美術史 2 | 2後 | 2 | | | | | | | 兼1 | | | |

| | | | | | | | | | |
|----------------|---------|----|---|---|--|--------|-------------|--------|---|
| | シナリオ研究 | 3後 | | 2 | | | | | 兼1 |
| | メディア文化論 | 1後 | | 2 | | 1 | | | |
| | 編集工学 | 2後 | | 2 | | | | | 兼1 |
| | デジタル編集論 | 3後 | | 2 | | | | | 兼1 |
| | DTP編集 | 3前 | | 2 | | | | | 兼1 |
| 学科科目 (卒業研究) | 卒研演習1 | 4前 | 1 | | | 6 5 | 3 4 3 | 0 2 | 三橋准教授 准教授→教授へ 職位変更 (23) 青山講師 講師→准教授へ職 位変更 (23) 内海講師 講師→准教授へ職 位変更 (23) 上原麻有子准教授退職に伴い 担当者削減 (25) |
| | 卒研演習2 | 4後 | 1 | | | 6 5 | 3 4 3 | 0 2 | 三橋准教授 准教授→教授へ 職位変更 (23) 青山講師 講師→准教授へ職 位変更 (23) 内海講師 講師→准教授へ職 位変更 (23) 上原麻有子准教授退職に伴い 担当者削減 (25) |
| | 卒業研究 | 4通 | 8 | | | 6 5 | 3 4 3 | 0 2 | 三橋准教授 准教授→教授へ 職位変更 (23) 青山講師 講師→准教授へ職 位変更 (23) 内海講師 講師→准教授へ職 位変更 (23) 上原麻有子准教授退職に伴い 担当者削減 (25) |

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|--------|-----|----|-----|-------|-------|------------------|----------------------|----|
| 必修 | 選択 | 自由 | 計 | 必修 | 選択 | 自由 | 計 | |
| 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | |
| 28 | 261 | 0 | 289 | 28 | 261 | 2 0 2 0 | 291 289 2 0 | |
| | | | | [0] | [0] | [0] | [0] | |

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由, 代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|-----------------|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由, 代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|----------------|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

| |
|--|
| |
|--|

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<人文学部 福祉実践学科>

(1) 授業科目表

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 |
|------|--------------|------------|-----|----|----|-------------|-------------|----|----|----|--|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| | 自立と体験 1 | 1前 | 2 | | | 1 0 1 | 0 1 2 | | | | | 「自立と体験 1」は、担当者の変更 垣内国光教授より浅井正行准教授に変更 (22) 「自立と体験 1」は、教育効果向上のため担当教員を増加妹尾和美准教授 (22) 担当者の変更。浅井正行准教授より加藤めぐみ教授に変更 (24) クラスサイズ適正化による担当者削除にて妹尾和美准教授を削除 (25) |
| | 自立と体験 3 | 2後 | | | 2 | | | | | | | 平成22年度文科省令第3号により、大学設置基準に「社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うための体制」を必要とすることが定められ、これを満たした充実させるために、キャリア教育科目として新たに開設 (24) 科目区分を社会的・職業的自立促進科目に変更 (25) |
| | 自立と体験 4 | 3前 | | | 2 | | | | | | | 平成22年度文科省令第3号により、大学設置基準に「社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うための体制」を必要とすることが定められ、これを満たした充実させるために、キャリア教育科目として新たに開設 (24) 科目区分を社会的・職業的自立促進科目に変更 (25) |
| | 哲学 1 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | | |
| | 哲学 2 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 倫理学 1 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | | |
| | 倫理学 2 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 論理学 1 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | | |
| | 論理学 2 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 宗教学 1 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | | |
| | 宗教学 2 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 美学 1 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | | |
| | 美学 2 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 心理学 1 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | | |
| | 心理学 2 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 教育学 1 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | | |
| | 教育学 2 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 倫理学 3 | 2・3・4前 | | 2 | | | | | | | | |
| | 倫理学 4 | 2・3・4後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 美学 3 | 2・3・4前 | | 2 | | | | | | | | |
| | 美学 4 | 2・3・4後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 哲学 3 | 2・3・4前 | | 2 | | | | | | | | |
| | 哲学 4 | 2・3・4後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 思想への招待 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | | |
| | 健康・スポーツ科学論 | 1・2・3・4前・後 | 2 | | | | | | | | | |
| | 健康・スポーツ演習 1 | 1前・後 | 1 | | | | | | | | | |
| | 健康・スポーツ演習 2 | 2前・後 | | 1 | | | | | | | | |
| | 健康・スポーツ演習 3 | 3前・後 | | 1 | | | | | | | | |
| | 健康・スポーツ演習 4 | 4前・後 | | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語 (英語) 1 A | 1・2前 | | 1 | | | | | | | | |
| | 外国語 (英語) 1 B | 1・2前 | | 1 | | | | | | | | 担当者の変更 加藤めぐみ教授より内田富 |

| | | | | | | | | | | |
|----------------------------|----------------|----------|---|--|--|--|--|--|--|------------|
| | 外国語（英語） 2 A | 1・2後 | 1 | | | | | | | 男講師に変更（22） |
| | 外国語（英語） 2 B | 1・2後 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（ドイツ語） 1 A | 1・2前 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（ドイツ語） 1 B | 1・2前 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（ドイツ語） 2 A | 1・2後 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（ドイツ語） 2 B | 1・2後 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（フランス語） 1 A | 1・2前 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（フランス語） 1 B | 1・2前 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（フランス語） 2 A | 1・2後 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（フランス語） 2 B | 1・2後 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（中国語） 1 A | 1・2前 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（中国語） 1 B | 1・2前 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（中国語） 2 A | 1・2後 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（中国語） 2 B | 1・2後 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（韓国語） 1 A | 1・2前 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（韓国語） 1 B | 1・2前 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（韓国語） 2 A | 1・2後 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（韓国語） 2 B | 1・2後 | 1 | | | | | | | |
| | 日本語 1 A | 1・2前 | 1 | | | | | | | |
| | 日本語 1 B | 1・2前 | 1 | | | | | | | |
| | 日本語 2 A | 1・2後 | 1 | | | | | | | |
| | 日本語 2 B | 1・2後 | 1 | | | | | | | |
| | 情報リテラシー a | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | |
| | 情報リテラシー b | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | | |
| | 言語学 1 | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | |
| | 言語学 2 | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | | |
| | 言葉の思想 | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | |
| | 科学コミュニケーション論 | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | |
| | 映画と音楽で学ぶ英語 | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | |
| | 異文化体験 | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | |
| | 異文化で学ぶ英語 | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | | |
| | 外国語（英語） 3 A | 2・3前 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（英語） 3 B | 2・3前 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（英語） 4 A | 2・3後 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（英語） 4 B | 2・3後 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（ドイツ語） 3 A | 2・3前 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（ドイツ語） 3 B | 2・3前 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（ドイツ語） 4 A | 2・3後 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（ドイツ語） 4 B | 2・3後 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（フランス語） 3 A | 2・3前 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（フランス語） 3 B | 2・3前 | 1 | | | | | | | |
| 全 学 共 通 科 目 | 外国語（フランス語） 4 A | 2・3後 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（フランス語） 4 B | 2・3後 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（中国語） 3 A | 2・3前 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（中国語） 3 B | 2・3前 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（中国語） 4 A | 2・3後 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（中国語） 4 B | 2・3後 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（韓国語） 3 A | 2・3前 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（韓国語） 3 B | 2・3前 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（韓国語） 4 A | 2・3後 | 1 | | | | | | | |
| | 外国語（韓国語） 4 B | 2・3後 | 1 | | | | | | | |
| | 日本語 3 A | 2・3前 | 1 | | | | | | | |
| | 日本語 3 B | 2・3前 | 1 | | | | | | | |
| | 日本語 4 A | 2・3後 | 1 | | | | | | | |
| | 日本語 4 B | 2・3後 | 1 | | | | | | | |
| | 上級英語 1 | 3・4前 | 1 | | | | | | | |
| | 上級英語 2 | 3・4後 | 1 | | | | | | | |
| | 上級ドイツ語 1 | 3・4前 | 1 | | | | | | | |
| | 上級ドイツ語 2 | 3・4後 | 1 | | | | | | | |
| 上級フランス語 1 | 3・4前 | 1 | | | | | | | | |
| 上級フランス語 2 | 3・4後 | 1 | | | | | | | | |
| 上級中国語 1 | 3・4前 | 1 | | | | | | | | |
| 上級中国語 2 | 3・4後 | 1 | | | | | | | | |
| 上級韓国語 1 | 3・4前 | 1 | | | | | | | | |
| 上級韓国語 2 | 3・4後 | 1 | | | | | | | | |
| 上級英語 3 | 4前 | 1 | | | | | | | | |
| 上級英語 4 | 4後 | 1 | | | | | | | | |
| 上級ドイツ語 3 | 4前 | 1 | | | | | | | | |
| 上級ドイツ語 4 | 4後 | 1 | | | | | | | | |
| 上級フランス語 3 | 4前 | 1 | | | | | | | | |
| 上級フランス語 4 | 4後 | 1 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|----------------|------------|---|--|--|--|--|--|--|--|
| 上級中国語 3 | 4前 | 1 | | | | | | | |
| 上級中国語 4 | 4後 | 1 | | | | | | | |
| 上級韓国語 3 | 4前 | 1 | | | | | | | |
| 上級韓国語 4 | 4後 | 1 | | | | | | | |
| 日本事情 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 日本事情 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 外国事情 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 外国事情 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 日本の文学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 日本の文学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 外国の文学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 外国の文学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 文化人類学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 文化人類学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 人文科学論 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 人文科学論 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 日本史 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 日本史 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 西洋の歴史と文化 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 西洋の歴史と文化 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 中国の歴史と文化 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 中国の歴史と文化 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 考古学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 考古学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 日本の芸能 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 日本の芸能 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 日本民俗学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 日本民俗学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 自然科学史 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 図像学 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 人文科学論 3 | 2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 人文科学論 4 | 2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 日本史 3 | 2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 日本史 4 | 2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 社会の仕組みと人間の営み 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 社会の仕組みと人間の営み 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 法学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 法学 2 (日本国憲法) | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 現代政治を読み解く 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 現代政治を読み解く 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 社会科学論 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 社会科学論 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 国際関係論 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 国際関係論 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 21世紀経済への視点 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 21世紀経済への視点 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| グローバル時代の経営 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| グローバル時代の経営 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 情報社会文化論 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 情報社会文化論 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 生涯学習論 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 生涯学習論 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 図書館の基礎と展望 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 社会に生きる私たちの人権 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 女性の生き方 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 地図を読む | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| ボランティア論 | 1-2-3-4前・後 | 2 | | | | | | | |
| 情報法制論 | 2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 地球惑星学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 地球惑星学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 科学技術論 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 科学技術論 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 統計学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 統計学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 基礎数学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 基礎数学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 生物学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 生物学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 物理学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |
| 物理学 2 | 1-2-3-4後 | 2 | | | | | | | |
| 化学 1 | 1-2-3-4前 | 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|---------------|----------------|----------|---|---|--|--|--|--|--|--|--|
| | 化学 2 | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | | | |
| | 自然科学入門 1 | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | | |
| | 自然科学入門 2 | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | | | |
| | 生物学 3 | 2・3・4前 | 2 | | | | | | | | |
| | 生物学 4 | 2・3・4後 | 2 | | | | | | | | |
| | 人類と環境 | 2・3・4前 | 2 | | | | | | | | |
| | 特別講義 1 | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | | |
| | 特別講義 2 | 1・2・3・4前 | 1 | | | | | | | | |
| | 特別講義 3 | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | | | |
| | 特別講義 4 | 1・2・3・4後 | 1 | | | | | | | | |
| 社会的・職業的自立促進科目 | 自立と体験 3 | 2後 | | 2 | | | | | | | 平成22年文科省令第3号により、大学設置基準に「社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うための体制」を必要とすることが定められ、既設の該当科目を明瞭にするために新たな科目区分を設けて整理した (25) |
| | 自立と体験 4 | 3前 | | 2 | | | | | | | 平成22年文科省令第3号により、大学設置基準に「社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うための体制」を必要とすることが定められ、既設の該当科目を明瞭にするために新たな科目区分を設けて整理した (25) |
| 学部 共通科目 | 自己と社会 I | | | 2 | | | | | | | |
| | 自己と社会 II | | | 2 | | | | | | | |
| | 思想特講 A | | | 2 | | | | | | | |
| | 思想特講 B | | | 2 | | | | | | | |
| | 思想研究 I | | | 2 | | | | | | | |
| | 思想研究 II | | | 2 | | | | | | | |
| | 健康・スポーツ科学研究 I | | | 2 | | | | | | | |
| | 健康・スポーツ科学研究 II | | | 2 | | | | | | | |
| | ラテン語 1 | | | 2 | | | | | | | |
| | ラテン語 2 | | | 2 | | | | | | | |
| | 言語・文化特講 A | | | 2 | | | | | | | |
| | 言語・文化特講 B | | | 2 | | | | | | | |
| | 言語・文化特講 C | | | 2 | | | | | | | |
| | 言語・文化特講 D | | | 2 | | | | | | | |
| | 言語・文化研究 I | | | 2 | | | | | | | |
| | 言語・文化研究 II | | | 2 | | | | | | | |
| | 編集論 | | | 2 | | | | | | | |
| | 文化を比較する 1 | | | 2 | | | | | | | |
| | 文化を比較する 2 | | | 2 | | | | | | | |
| | 都市地理学 1 | | | 2 | | | | | | | |
| | 都市地理学 2 | | | 2 | | | | | | | |
| | 歴史・文化特講 A | | | 2 | | | | | | | |
| | 歴史・文化特講 B | | | 2 | | | | | | | |
| 歴史・文化特講 C | | | 2 | | | | | | | | |
| 歴史・文化特講 D | | | 2 | | | | | | | | |
| 歴史・文化研究 I | | | 2 | | | | | | | | |
| 歴史・文化研究 II | | | 2 | | | | | | | | |
| 社会・情報特講 A | | | 2 | | | | | | | | |
| 社会・情報特講 B | | | 2 | | | | | | | | |
| 社会・情報研究 I | | | 2 | | | | | | | | |
| 社会・情報研究 II | | | 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|--|----------------------|----|---|---|---|--------|--------|------------------------|--|---|
| 学 科 科 目 （ 基 本 科 目 ） | 自立と体験 2 | 1前 | 2 | | | 3 2 | 3 4 | | | 横倉三郎准教授 准教授→教授へ職位変更 (25) |
| | 地域ニーズ開発演習 | 1後 | 1 | | | 3 2 | 3 4 | | | 担当者の変更。垣内国光教授より馬場康彦教授、加藤めぐみ教授より吉川かおり教授に変更 (24) 「地域ニーズ開発演習」は吉川かおり教授が特別研究員制度適用にて、H25年度のみ担当者の変更。また横倉三郎准教授が准教授→教授へ職位変更。(25) |
| | 現代社会と福祉 I | 1前 | 2 | | | 1 | | | | 兼1 兼1 横倉三郎准教授 准教授→教授へ職位変更 (25) 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 吉川かおり教授が特別研究員制度適用にて、H25年度のみ担当者変更 (25) 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 横倉三郎准教授 准教授→教授へ職位変更 (25) 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 教育効果向上のため、担当者変更 (25) |
| | 現代社会と福祉 II | 1後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 心理学 | 1前 | | 2 | | | | | | |
| | 社会学原論 | 1後 | | 2 | | | | | | |
| | 多摩地域福祉論 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 福祉機器工学 | 1後 | | 2 | | 1 | | 0 + | | |
| | 地域福祉論 I | 2前 | | 2 | | | | | | |
| | 地域福祉論 II | 2後 | | 2 | | | | | | |
| | 保健医療サービス論 | 2前 | | 2 | | | | | | |
| | 就労支援と権利擁護 | 2後 | | 2 | | | | | | |
| | 貧困論 | 2前 | | 2 | | | | | | |
| | 人体機能と疾病 | 2後 | | 2 | | | | | | |
| | 障害学 I | 2前 | | 2 | | | 0 + | | | |
| | ケアと臨床の社会学 | 2後 | | 2 | | | | | | |
| | 子育て支援論 | 2後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 福祉情報工学 | 2前 | | 2 | | 1 | | 0 + | | |
| | 実践手話 | 2後 | | 2 | | | | | | |
| | 福祉英語 I | 2後 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 福祉英語 II | 3前 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 現代の社会保障 I | 3前 | | 2 | | | | | | |
| | 現代の社会保障 II | 3後 | | 2 | | | | | | |
| | 福祉行財政論 | 3前 | | 2 | | | | 0 + | | |
| | マイノリティ論 | 3前 | | 2 | | 1 | | | | |
| | 社会福祉発達史 | 3後 | | 2 | | | | 1 | | |
| | 医療ソーシャルワーク論 | 3前 | | 2 | | | | | | |
| | 社会福祉学特講 I (福祉住環境論) | 3前 | | 2 | | | | | | |
| | 社会福祉学特講 II (ガイドヘルプ) | 3前 | | 2 | | | | | | |
| | 社会福祉学特講 III (海外福祉事情) | 3後 | | 2 | | 2 | | | | |
| スクールソーシャルワーク論 | 4前 | | 2 | | | | | | | |
| ソーシャルワーク演習・実習指導 | 4前 | | 2 | | | | 1 | | | |
| ソーシャルワーク実習 | 4通 | | 4 | | | | 1 | | | |
| 福祉専門職論 I | 1前 | 2 | | | | | 1 | | | |
| 相談援助論 I A | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| 相談援助論 I B | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | |
| 子ども福祉論 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | |
| 高齢者福祉論 I | 1前 | 2 | | | | | | 兼1 | | |
| 相談援助演習 I | 2前 | 1 | | | 1 | 1 | | 兼1 | | |
| 相談援助演習 II | 2前 | 1 | | | 1 | 1 | | 兼1 | | |
| 相談援助演習 III | 2後 | 1 | | | 1 | 0 + | | 兼2 教育効果向上の為、担当者変更 (25) | | |
| 相談援助演習 IV | 2後 | 1 | | | 1 | 0 + | | 兼2 教育効果向上の為、担当者変更 (25) | | |
| 相談援助演習 V | 2後 | 1 | | | | 0 + | | 兼3 教育効果向上の為、担当者変更 (25) | | |

| | | | | | | | | | |
|---|---|----------|----|--------|--------|---|--|----|---|
| 学 科 目 (社 会 福 祉 専 門 科 目) | 高齢者福祉論Ⅱ | 2前 | 2 | 1 | | | | | クラスサイズ適正化により浅井正行准教授を担当から除外(24) |
| | 相談援助実習指導Ⅰ | 2後 | 2 | 2 3 | 1 2 | | | | 兼2 吉川かおり教授が特別研究員制度適用にて担当者変更(25) |
| | 障害者スポーツ論 | 2前 | 2 | | | | | | 兼1 |
| | 生活経済福祉論 | 3前 | 2 | 1 | | | | | 兼1 |
| | 相談援助論ⅡA | 3前 | 2 | | 0 + | | | | 兼1 教育効果向上のため担当者変更(25) |
| | 相談援助論ⅡB | 3後 | 2 | | 0 + | | | | 兼1 教育効果向上のため担当者変更(25) |
| | 社会調査 | 3後 | 2 | 1 | 0 + | | | | 横倉三郎准教授 准教授→教授職へ職位変更(25) |
| | 福祉経営論 | 3後 | 2 | 0 + | 0 + | | | | 兼1 教育効果向上の為、担当者変更。垣内国光教授より藤井常文准教授に変更(24) |
| | 障害学Ⅱ | 3後 | 2 | 0 + | | | | | 兼1 吉川かおり教授が特別研究員制度適用にて担当者変更(25) |
| | 相談援助実習指導Ⅱ | 3前 | 2 | 3 2 | 2 | | | | 兼1 履修者数増による担当者の追加(25) |
| | 相談援助実習指導Ⅲ | 3後 | 2 | 3 2 | 2 | | | | 兼1 履修者数増による担当者の追加(25) |
| | 相談援助実習 | 3通 | 4 | 3 4 | 2 + | | | | 兼4 吉川かおり教授が特別研究員制度適用にて担当者変更。吉川かおり教授→藤井常文准教授(25) |
| | 福祉専門職論Ⅱ | 4後 | 2 | | 1 | | | | |
| | 学 科 目 (精 神 保 健 福 祉 専 門 科 目) | 精神保健福祉論Ⅰ | 1後 | 2 | | 1 | | | |
| 精神医学Ⅰ | | 2前 | 2 | | | | | | 兼1 |
| 精神医学Ⅱ | | 2後 | 2 | | | | | | 兼1 |
| 精神科リハビリテーション論Ⅰ | | 2前 | 2 | | | | | | 兼2 |
| 精神科リハビリテーション論Ⅱ | | 2後 | 2 | | | | | | 兼2 |
| 精神保健福祉論Ⅱ | | 2前 | 2 | | 1 | | | | |
| 精神保健福祉論Ⅲ | | 2後 | 2 | | 1 | | | | |
| 福祉インターンシップⅠ | | 2前 | 2 | 1 2 | 0 + | | | | クラスサイズ適正化による担当者削除(24) |
| 福祉インターンシップⅡ | | 2後 | 2 | 1 2 | 0 + | | | | 横倉三郎准教授 准教授→教授職へ職位変更(25) |
| 精神保健Ⅰ | | 3前 | 2 | | | | | | クラスサイズ適正化による担当者削除(24) |
| 精神保健Ⅱ | | 3後 | 2 | | | | | | 横倉三郎准教授 准教授→教授職へ職位変更(25) |
| 多文化ソーシャルワーク論 | | 3後 | 2 | | 1 | | | | 兼1 |
| 精神保健福祉援助各論Ⅰ | | 3前 | 2 | | | | | | 兼1 |
| 精神保健福祉援助各論Ⅱ | | 3後 | 2 | | | | | | 兼1 |
| 精神保健福祉援助演習Ⅰ | 3後 | 1 | | | | | | 兼1 | |
| 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ | 3後 | 2 | | 1 | | | | | |
| 精神保健福祉援助演習Ⅱ | 4前 | 1 | | | | | | 兼1 | |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---------------|----|---|---|--|---|--------|--|----|--|--|
| | 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ | 4前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ | 4後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| | 精神保健福祉援助実習 | 4通 | | 4 | | 1 | | | | | |
| | 精神保健福祉援助演習Ⅲ | 4後 | | 1 | | | | | 兼1 | 教育効果向上の為、科目を追加。なお、厚労省の省令改正に伴い精神保健福祉士国家試験受験資格取得においては必修科目となる(24) | |
| 学 科 目 (卒 業 論 文) | 専門演習ⅠA | 3前 | 1 | | | 5 | 3 4 | | 兼1 | 横倉三郎准教授 准教授→教授職へ職位変更。 吉川かおり教授 特別研究員制度適用にてH25年は担当者変更(25) | |
| | 専門演習ⅠB | 3後 | 1 | | | 5 | 3 4 | | 兼1 | 横倉三郎准教授 准教授→教授職へ職位変更。 吉川かおり教授 特別研究員制度適用にてH25年は担当者変更(25) | |
| | 専門演習ⅡA | 3後 | 1 | | | 5 | 3 4 | | | 横倉三郎准教授 准教授→教授職へ職位変更。 吉川かおり教授 特別研究員制度適用にてH25年は担当者変更(25) | |
| | 専門演習ⅡB | 3後 | 1 | | | 5 | 3 4 | | | 横倉三郎准教授 准教授→教授職へ職位変更。 吉川かおり教授 特別研究員制度適用にてH25年は担当者変更(25) | |
| | 卒業研究 | 3後 | 8 | | | 5 | 3 4 | | | 横倉三郎准教授 准教授→教授職へ職位変更。 吉川かおり教授 特別研究員制度適用にてH25年は担当者変更(25) | |

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|--------|-----|----|-----|-------|------------|------------|------------|----|
| 必修 | 選択 | 自由 | 計 | 必修 | 選択 | 自由 | 計 | |
| 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | |
| 16 | 277 | 0 | 293 | 16 | 278 277 | 2 0 | 296 293 | |
| | | | | [0] | [1 0] | [2 0] | [3 0] | |

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由, 代替措置の有無 |
|----|-------------|-----|------|-------|-------|--------------------|
| 1 | 精神保健福祉援助実習Ⅲ | 1 | 4 | 専門 | 選択 | 厚労省の省令改正により2014年開講 |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由, 代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|----------------|
| 1 | | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

| 区 分 | | 内 容 | | | | 備考 |
|-------------|----------------------|-------------|----------------|-----------------------------------|---------------------------|--|
| (1) 校 地 等 | 区 分 | 専 用 | 共 用 | 共用する他の 学校等の専用 | 計 | |
| | 校 舎 敷 地 | 212,455㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 212,455㎡ | ・日野校 |
| | | 702,433㎡ | | | 702,433㎡ | ・青梅校 |
| | 運 動 場 用 地 | 721,474㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 721,474㎡ | 青梅校地の一部民間への 売却のため(25) |
| | | 74,314㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 74,314㎡ | ・日野校 |
| | 小 計 | 94,320㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 94,320㎡ | ・青梅校 |
| | | 286,769㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 286,769㎡ | ・日野校 |
| | そ の 他 | 796,753㎡ | | | 796,753㎡ | ・青梅校 |
| | | 815,794㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 815,794㎡ | |
| | 合 計 | 0㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 0㎡ | ・日野校 |
| 0㎡ | | 0㎡ | 0㎡ | 0㎡ | ・青梅校 | |
| | | 1,083,522㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 1,083,522㎡ | 大学全体 |
| | | 1,102,563㎡ | | | 1,102,563㎡ | |
| (2) 校 舎 | 舎 | 専 用 | 共 用 | 共用する他の 学校等の専用 | 計 | |
| | | 164,392㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 164,392㎡ | ・日野校 |
| | | 164,487㎡ | (0㎡) | (0㎡) | 164,487㎡ | 実験棟95㎡を解体のため(22) |
| | 32,714㎡ (32,714㎡) | 0㎡ (0㎡) | 0㎡ (0㎡) | 32,714㎡ (32,714㎡) | ・青梅校 | |
| 合 計 | 197,106㎡ 197,201㎡ | 0㎡ (0㎡) | 0㎡ (0㎡) | 197,106㎡ 197,201㎡ | 大学全体 | |
| (3) 教 室 等 | 講 義 室 | 演 習 室 | 実験実習室 | 情報処理学習施設 | 語学学習施設 | |
| | 88 室 | 163 室 | 194 室 193 室 | 19 室 7 (補助職員 8人) | 2 室 (補助職員 2人) | ・日野校 教育学科の実験室1室 を設備したため(23) 人員配置計画の調整に よる変更のため日野校 造形芸術学部情報処理 学習施設・語学学習施 設は、日野校を利用す るため(24) |
| | 23 室 | 8 室 | 36 室 | 1 4室 0 (補助職員 4人) | 0 1室 0 (補助職員 1人) | |
| | 合 計 | 111 室 | 171 室 | 230 室 229 室 7 (補助職員 12人) | 2 3室 2 (補助職員 3人) | 大学全体 |
| (4) 専任教員研究室 | 新設学部等の名称 | | | 室 数 | | |
| | 人文学部 心理学科 | | | 12 11 | 室 | 平成25年4月 1名昇格のため、1室増加 (25) |
| | 人文学部 日本文化学科 | | | 9 10 | 室 | 平成25年3月 1名退職のため、1室減少 (25) |
| | 人文学部 福祉実践学科 | | | 9 | 室 | |

| (5) | 新設学部等の名称 | 図書 | 学術雑誌 | | 視聴覚資料 | 機械・器具 | 標本 | | |
|---------------------|-----------------------|---|--|---|------------------------|--|----------------|---|--|
| | | [うち外国書] 冊 | [うち外国書] 種 | 電子ジャーナル [うち外国書] | | | | | 点 |
| 図書・設備 | 人文学部 日本文化学科 | 63,426[9,711] 62,017[9,528] (64,694[10,284]) (63,426[9,711]) (62,256[9,631]) (58,010[9,159]) (57,425[8,936]) | 280[91] 276[89] (280[91]) (276[89]) | 14[14] 6[6] (14[14]) (6[6]) | 332[2] (332[2]) | 274 225 201 (274) (225) (208) (201) (45) | 45 (45) | | |
| | 人文学部 福祉実践学科 | 8,349[1,246] 5,793[1,246] (8,549[1,637]) (6,241[1,143]) (6,138[1,120]) (6,039[1,126]) (5,173[1,114]) | 13[0] (13[0]) | 0[0] (0[0]) | 2[0] (2[0]) | 351 376 201 175 (381) (376) (208) (201) (175) | 1 (1) | 教育環境充実のため (22) 教育環境充実のため (23) 教育環境充実のため (24) | |
| | 人文学部 心理学科 | 20,755[5,283] 12,191[3,283] (20,821[5,797]) (19,152[4,547]) (18,811[4,517]) (18,355[4,292]) (11,291[3,043]) | 230[201] (230[201]) | 39[39] 35[35] (39[39]) (35[35]) | 10[0] (10[0]) | 515 494 393 393 (515) (494) (481) (448) (393) | 0 (0) | 教育環境充実のため (25) | |
| | 人文計 | 92,530[16,240] 91,121[16,057] 80,001[14,057] (94,064[17,718]) (88,819[15,401]) (87,205[15,277]) (82,404[14,577]) (73,889[13,093]) | 523[292] 519[290] (523[292]) (519[290]) | 53[53] 45[45] 41[41] (53[53]) (45[45]) (41[41]) | 344[2] (344[2]) | 1,170 1,095 850 613 (1,170) (1,095) (897) (850) (613) | 46 (46) | | |
| | (6) 図書館 | 面積 | | 閲覧座席数 | | 収納可能冊数 | | | |
| | 16,865 m ² | | 1,180 席 | | 1,526,000 冊 | | ・日野校 | | |
| | 4,343 m ² | | 292 席 | | 363,000 冊 | | ・青梅校 | | |
| 合計 | 21,208 m ² | | 1,472 席 | | 1,889,000 冊 | | 大学全体 | | |
| (7) 体育館 | 面積 | | 体育館以外のスポーツ施設の概要 | | | | | | |
| | 8,006m ² | | 野球場、テニスコート | | | | | ・日野校 | |
| | 4,928m ² | | 野球場、テニスコート | | | | | ・青梅校 | |
| 合計 | 12,934m ² | | | | | | | 大学全体 | |
| (8) 経費の見積り及び維持方法の概要 | 経費の見積り | 区分 | 開設年度 | 完成年度 | 区分 | 開設前年度 | 開設年度 | 完成年度 | 共同研究費等は 大学全体 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費 (運用コスト含む)を含む 設備購入費は 大学全体 |
| | | 教員1人当り研究費等 (実験系) | 600千円 | 600千円 | 図書購入費 | 45,000千円 | 45,000千円 | 45,000千円 | |
| | | 教員1人当り研究費等 (非実験系) | 400千円 | 400千円 | 図書購入費 | 45,000千円 | 45,000千円 | 45,000千円 | |
| | 共同研究費等 | 40,000千円 | 40,000千円 | 設備購入費 | 40,000千円 | 40,000千円 | 40,000千円 | | |
| | 学生1人当り 納付金(1年) | 第1年次 | 第2年次 | 第3年次 | 第4年次 | 第5年次 | 第6年次 | | |
| | 1,400千円 | 1,150千円 | 1,150千円 | 1,150千円 | —千円 | —千円 | | | |
| 学生納付金以外の維持方法の概要 | | | 手数料収入及び資産運用収入をもって充当する。 | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

| 【平成25年5月1日現在】 | | | | | | | | | |
|---------------|------|------|------|-------|--------------------|-------|--------|-----------------------|--|
| 大学の名称 | 明星大学 | | | | | | | | 備考 |
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 定員超過率 | 開校年度 | 所在地 | |
| (学部) | 年 | 人 | 年次人 | 人 | | 倍 | | | |
| 理工学部 | | | | | | | | 東京都日野市 程久保2丁目1番地1号 | |
| 総合理工学科 | 4 | 400 | — | 1,600 | 学士(理学) 学士(工学) | 1.06 | 平成22年度 | | |
| 物理学科 | 4 | — | — | — | 学士(理学) | — | 昭和39年度 | | 平成22年4月より 学生募集停止 |
| 化学科 | 4 | — | — | — | 学士(理学) | — | 昭和39年度 | | (物理学科・化学 科・機械システム工 学科・電気電子シス テム工学科・建築学 科・環境システム学 科) |
| 機械システム工学科 | 4 | — | — | — | 学士(工学) | — | 平成17年度 | | |
| 電気電子システム工学科 | 4 | — | — | — | 学士(工学) | — | 平成17年度 | | |
| 建築学科 | 4 | — | — | — | 学士(工学) | — | 平成17年度 | | |
| 環境システム学科 | 4 | — | — | — | 学士(工学) | — | 平成17年度 | | |
| 機械工学科 | 4 | — | — | — | 学士(工学) | — | 昭和39年度 | | 平成17年4月より 学生募集停止 |
| 電気工学科 | 4 | — | — | — | 学士(工学) | — | 昭和39年度 | | (機械工学科・電気 工学科) |
| 人文学部 | | | | | | | | | |
| 国際コミュニケーション学科 | 4 | 100 | — | 400 | 学士(国際コミュニケーション学) | 1.17 | 平成17年度 | | 平成22年4月より 入学定員変更 |
| 人間社会学科 | 4 | 80 | — | 320 | 学士(社会学) | 1.15 | 昭和40年度 | | (国際コミュニケーション 学科140→100 人間社会学科 140→80) |
| 心理学科 | 4 | 110 | — | 440 | 学士(心理学) | 1.13 | 平成22年度 | | |
| 日本文化学科 | 4 | 100 | — | 400 | 学士(文学) | 1.09 | 平成22年度 | | |
| 福祉実践学科 | 4 | 60 | — | 240 | 学士(社会福祉学) | 0.92 | 平成22年度 | | |
| 心理・教育学科 | 4 | — | — | — | 学士(心理学) 学士(教育学) | — | 昭和40年度 | | 平成22年4月より 学生募集停止 (心理・教育学科) |
| 経済学部 | | | | | | | | | |
| 経済学科 | 4 | 300 | — | 1,160 | 学士(経済学) | 1.09 | 平成13年度 | | 平成24年4月より 入学定員変更(経済 学科280→300) |
| 経営学科 | 4 | — | — | — | 学士(経営学) | — | 平成17年度 | | 平成24年4月より 学生募集停止 (経営学科) |
| 情報学部 | | | | | | | | | |
| 情報学科 | 4 | 170 | — | 680 | 学士(情報) | 1.03 | 平成17年度 | | |
| 日本文化学部 | | | | | | | | | |
| 言語文化学科 | 4 | — | — | — | 学士(文学) | — | 平成4年度 | | 平成22年4月より 学生募集停止 (日本文化学部言語 文化学科) |
| 造形芸術学部 | | | | | | | | 東京都青梅市長淵 2丁目590 | |
| 造形芸術学科 | 4 | 90 | — | 480 | 学士(芸術) | 0.64 | 平成17年度 | | 平成24年4月より 入学定員変更(造形 芸術学科150→90) |

| | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|---|-------|---|-------|-----------|------|--------|---------------------------|--|
| 教育学部 教育学科 | 4 | 320 | — | 1,280 | 学士(教育学) | 1.24 | 平成22年度 | 東京都日野市 程久保2丁目1番 地1号 | |
| 経営学部 経営学科 | 4 | 200 | — | 400 | 学士(経営学) | 1.05 | 平成24年度 | | |
| (通信教育部) 教育学部 教育学科 (通信課程) | 4 | 2,000 | — | 8,000 | 学士(教育学) | 0.04 | 平成22年度 | | |
| 人文学部 心理・教育学科 (通信課程) | 4 | — | — | — | 学士(教育学) | — | 昭和42年度 | | |
| (大学院) 理工学研究科 (博士前期課程) | | | | | | | | 東京都日野市 程久保2丁目1番 地1号 | |
| 物理学専攻 | 2 | 10 | — | 20 | 修士(理学) | 0.25 | 昭和54年度 | | |
| 化学専攻 | 2 | 10 | — | 20 | 修士(理学) | 0.55 | 昭和48年度 | | |
| 機械工学専攻 | 2 | 10 | — | 20 | 修士(工学) | 0.45 | 昭和55年度 | | |
| 電気工学専攻 | 2 | 10 | — | 20 | 修士(工学) | 0.05 | 昭和54年度 | | |
| 建築・建設工学専攻 | 2 | 5 | — | 10 | 修士(工学) | 0.30 | 平成20年度 | | |
| 環境システム学専攻 | 2 | 5 | — | 10 | 修士(工学) | 1.40 | 平成20年度 | | |
| (博士後期課程) | | | | | | | | | |
| 物理学専攻 | 3 | 5 | — | 15 | 博士(理学) | 0.06 | 昭和56年度 | | |
| 化学専攻 | 3 | 5 | — | 15 | 博士(理学) | 0.13 | 昭和51年度 | | |
| 機械工学専攻 | 3 | 5 | — | 15 | 博士(工学) | 0.00 | 昭和57年度 | | |
| 電気工学専攻 | 3 | 5 | — | 15 | 博士(工学) | 0.06 | 昭和56年度 | | |
| 建築・建設工学専攻 | 3 | 3 | — | 9 | 博士(工学) | 0.00 | 平成20年度 | | |
| 環境システム学専攻 | 3 | 2 | — | 6 | 博士(工学) | 0.00 | 平成20年度 | | |
| 人文学研究科 (博士前期課程) | | | | | | | | | |
| 英米文学専攻 | 2 | 10 | — | 20 | 修士(英米文学) | 0.15 | 昭和58年度 | | |
| 社会学専攻 | 2 | 10 | — | 20 | 修士(社会学) | 0.05 | 昭和46年度 | | |
| 心理学専攻 | 2 | 10 | — | 20 | 修士(心理学) | 1.05 | 昭和49年度 | | |
| 教育学専攻 | 2 | 10 | — | 20 | 修士(教育学) | 0.15 | 昭和47年度 | | |
| 教育学専攻(通信課程) | 2 | 30 | — | 60 | 修士(教育学) | 0.70 | 平成11年度 | | |
| (博士後期課程) | | | | | | | | | |
| 英米文学専攻 | 3 | 3 | — | 9 | 博士(英米文学) | 0.00 | 昭和63年度 | | |
| 社会学専攻 | 3 | 3 | — | 9 | 博士(社会学) | 0.00 | 昭和51年度 | | |
| 心理学専攻 | 3 | 3 | — | 9 | 博士(心理学) | 0.88 | 昭和53年度 | | |
| 教育学専攻 | 3 | 3 | — | 9 | 博士(教育学) | 0.11 | 昭和49年度 | | |
| 教育学専攻(通信課程) | 3 | 3 | — | 9 | 博士(教育学) | 1.78 | 平成18年度 | | |
| 経済学研究科 (修士課程) | | | | | | | | | |
| 応用経済学専攻 | 2 | 10 | — | 20 | 修士(応用経済学) | 0.50 | 平成18年度 | | |
| 情報学研究科 (博士前期課程) | | | | | | | | | |
| 情報学専攻 | 2 | 7 | — | 14 | 修士(情報学) | 0.28 | 平成10年度 | | |
| (博士後期課程) | | | | | | | | | |
| 情報学専攻 | 3 | 3 | — | 9 | 博士(情報学) | 0.11 | 平成12年度 | | |

| 大学の名称 | | いわき明星大学 | | | | | | | 備考 |
|-------------|------|---------|--------|------|-----------|-------|--------|--|--|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学員定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 定員超過率 | 開設年度 | 所在地 | |
| (学部) | 年 | 人 | 年次人 | 人 | | 倍 | | | |
| 科学技術学部 | | | | | | | | | |
| 科学技術学科 | 4 | 130 | — | 520 | 学士(理工学) | 0.65 | 平成22年度 | 福島県いわき市中央台飯野5丁目5番地1 | 平成22年4月より学生募集停止 (電子情報学科・システムデザイン工学科・生命環境学科) |
| 電子情報学科 | 4 | — | — | — | 学士(工学) | — | 平成17年度 | | |
| システムデザイン工学科 | 4 | — | — | — | 学士(工学) | — | 平成17年度 | | |
| 生命環境学科 | 4 | — | — | — | 学士(理工学) | — | 平成17年度 | | |
| 人文学部 | | | | | | | | | |
| 表現文化学科 | 4 | 90 | — | 360 | 学士(文学) | 0.59 | 平成17年度 | 平成19年4月より入学定員変更 (表現文化学科100→90) | |
| 現代社会学科 | 4 | 95 | — | 380 | 学士(社会学) | 0.54 | 昭和62年度 | | |
| 心理学科 | 4 | 90 | — | 360 | 学士(心理学) | 0.90 | 平成13年度 | | |
| 薬学部 | | | | | | | | | |
| 薬学科 | 6 | 90 | — | 720 | 学士(薬学) | 0.58 | 平成19年度 | 平成23年4月より入学定員変更 (薬学科150→90) | |
| (大学院) | | | | | | | | | |
| 理工学研究科 | | | | | | | | | |
| (修士課程) | | | | | | | | | |
| 物質理学専攻 | 2 | 7 | — | 14 | 修士(物質理学) | 0.43 | 平成4年度 | 平成23年4月より入学定員変更 (物質理学専攻15→7、物理工学専攻15→7) | |
| 物理工学専攻 | 2 | 7 | — | 14 | 修士(物理工学) | 0.57 | 平成4年度 | | |
| (博士課程) | | | | | | | | | |
| 物質理工学専攻 | 3 | 2 | — | 9 | 博士(理工学) | 0.00 | 平成6年度 | 平成23年4月より入学定員変更 (物質理工学専攻5→2) | |
| 人文学研究科 | | | | | | | | | |
| (修士課程) | | | | | | | | | |
| 日本文学専攻 | 2 | 5 | — | 10 | 修士(日本文学) | 0.00 | 平成4年度 | | |
| 英米文学専攻 | 2 | 5 | — | 10 | 修士(英米文学) | 0.10 | 平成7年度 | | |
| 社会学専攻 | 2 | 5 | — | 10 | 修士(社会学) | 0.20 | 平成4年度 | | |
| 臨床心理学専攻 | 2 | 10 | — | 20 | 修士(臨床心理学) | 0.35 | 平成17年度 | | |
| (博士課程) | | | | | | | | | |
| 日本文学専攻 | 3 | 2 | — | 6 | 博士(日本文学) | 0.00 | 平成6年度 | | |

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人文学部 心理学科>

(1) 担当教員表

| 認可時の計画 | | | | | 変更状況 | | | | | 備考 |
|------------|----|---------------|---------|-----------------------------------|------------|----|---------------|---------|---------|--|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | |
| 専任 | 教授 | 岡林 秀樹 (46) | 平成22年4月 | 自立と体験1 | 専任 | 教授 | 福田 憲明 (50) | 平成22年4月 | 自立と体験1 | 担当科目の変更(22) 平成23年4月 担当科目の変更による削除(23) |
| | | | | 自立と体験2 | | | | | | |
| | | | | 生涯発達心理学 | | | | | | |
| | | | | <small>心理学特殊講義5B(生涯発達心理学)</small> | | | | | | |
| | | | | 心理学調査法 | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIA | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIB | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIIA | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIIB | | | | | | |
| | | | | 卒業研究 | | | | | | |
| 専任 | 教授 | 小美野 喬 (66) | 平成22年4月 | 自立と体験2 | | | | | | |
| | | | | 心理学序説I | | | | | | |
| | | | | 学習心理学 | | | | | | |
| | | | | <small>心理学特殊講義2A(学習心理学)</small> | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIA | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIB | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIIA | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIIB | | | | | | |
| | | | | 卒業研究 | | | | | | |
| 専任 | 教授 | 黒岩 誠 (63) | 平成22年4月 | 自立と体験2 | | | | | | |
| | | | | 心理学検査法講義 | | | | | | |
| | | | | 心理学検査法演習 | | | | | | |
| | | | | 性格心理学 | | | | | | |
| | | | | <small>心理学特殊講義10A(性格心理学)</small> | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIA | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIB | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIIA | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIIB | | | | | | |
| | | | | 卒業研究 | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|------|-----|---------------|---------|--------------------|----|--------|---|---------|--------|--|--|
| 専任 | 教授 | 境 敦史 (49) | 平成22年4月 | 自立と体験2 | 兼担 | 教授 | 塚田 紘一 (69) | 平成22年4月 | 自立と体験2 | 境敦史教授は特別研究員制度の適用にて、1年間海外研究赴任のため平成22年度のみ担当の変更(22)担当の変更。境敦史教授は海外研究より帰国したため23年度より担当(23) | |
| | | | | 心理学実験 | | | | | | | |
| | | | | 知覚心理学 | | | | | | | |
| | | | | 心理学特殊講義1A(知覚心理学) | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIA | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIB | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIIA | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIIB | | | | | | | |
| 卒業研究 | | | | | | | | | | | |
| 専任 | 教授 | 高塚 雄介 (65) | 平成22年4月 | 自立と体験2 | | | | | | | |
| | | | | 福祉心理学 | | | | | | | |
| | | | | 心理学特殊講義8A(福祉心理学) | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIA | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIB | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIIA | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIIB | | | | | | | |
| | | | | 卒業研究 | | | | | | | |
| 専 | 教授 | 福田 憲明 (51) | 平成22年4月 | 自立と体験2 | | | | | | | |
| | | | | 青年心理学 | | | | | | | |
| | | | | 心理学特殊講義4A(カウンセリング) | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIA | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIB | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIIA | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIIB | | | | | | | |
| | | | | 卒業研究 | | | | | | | |
| | | | | | | 自立と体験1 | 担当科目の変更による追加(22)平成23年4月担当科目の変更による削除(23) | | | | |
| 専任 | 准教授 | 石井 雄吉 (56) | 平成22年4月 | 自立と体験2 | | | | | | 平成23年4月准教授→教授へ職位変更(23) | |
| | | | | 臨床心理学 | | | | | | | |
| | | | | 心理学特殊講義9A(臨床心理学) | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIA | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIB | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIIA | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミIIB | | | | | | | |
| | | | | 卒業研究 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|-----------|-----|---------------|---------|-------------------------------------|--------|--|--|--|--|----------------------------|--|
| 専任 | 准教授 | 小貫 悟 (43) | 平成22年4月 | 自立と体験2 | | | | | | | |
| | | | | 学校臨床心理学 | | | | | | | |
| | | | | <small>心理学特殊講義11A (学校臨床心理学)</small> | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミ I A | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミ I B | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミ II A | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミ II B | | | | | | | |
| 卒業研究 | | | | | | | | | | | |
| 専任 | 准教授 | 柴崎 光世 (40) | 平成22年4月 | 自立と体験2 | | | | | | | |
| | | | | 心理学序説II | | | | | | | |
| | | | | 神経心理学 | | | | | | | |
| | | | | <small>心理学特殊講義6A (神経心理学)</small> | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミ I A | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミ I B | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミ II A | | | | | | | |
| 専門ゼミ II B | | | | | | | | | | | |
| 卒業研究 | | | | | | | | | | | |
| 専任 | 准教授 | 林 幹也 (35) | 平成22年4月 | 自立と体験2 | | | | | | | |
| | | | | 心理学実験 | | | | | | | |
| | | | | 社会心理学 | | | | | | | |
| | | | | <small>心理学特殊講義13A (社会心理学)</small> | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミ I A | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミ I B | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミ II A | | | | | | | |
| 専門ゼミ II B | | | | | | | | | | | |
| 卒業研究 | | | | | | | | | | | |
| 専任 | 講師 | 竹内 康二 (33) | 平成22年4月 | | | | | | | 平成24年4月 講師→准教授へ職位変更(24) | |
| | | | | 自立と体験2 | | | | | | | |
| | | | | 発達臨床心理学 | | | | | | | |
| | | | | <small>心理学特殊講義7A (発達臨床心理学)</small> | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミ I A | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミ I B | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミ II A | | | | | | | |
| | | | | 専門ゼミ II B | | | | | | | |
| | | | | 卒業研究 | | | | | | | |
| | | | | | 自立と体験1 | 平成23年4月 担当科目の変更による追加 (23) 平成25年4月 担当者変更による削除(25) | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----|----|----------------|---------|----------------------|----|----|-------------------------------|---------|----------------------------|--|
| 兼任 | 講師 | 青池 あずさ (30) | 平成23年4月 | 心理学検査法 講義 | 兼任 | 講師 | 榎本 拓哉 (31) | 平成24年4月 | 心理学検査法講義 | 平成24年4月 青池あずさ講師辞任のため平成 24年度より担当者を変更 (24) |
| | | | | 心理学検査法演習 | 兼任 | 講師 | 榎本 拓哉 (31) | 平成24年4月 | 心理学検査法演習 | 平成24年4月 青池あずさ講師辞任のため平成24年 度より担当者を変更 (24) |
| | | | | | | | | | 心理学検査法講義 | 平成25年4月 担当者変更による科目の追加 (25) |
| | | | | | | | | | 心理学検査法演習 | 平成25年4月 担当者変更による科目の追加 (25) |
| 兼任 | 講師 | 石塚 智子 (32) | 平成23年4月 | 心理学検査法講義 | 兼任 | 講師 | 中村 有 (37) | 平成25年4月 | 心理学検査法講義 | 平成25年4月 石塚智子講師辞任のため平成25年度 より担当者を変更 (25) |
| | | | | 心理学検査法演習 | 兼任 | 講師 | 中村 有 (37) | 平成25年4月 | 心理学検査法演習 | 平成25年4月 石塚智子講師辞任のため平成25年度 より担当者を変更 (25) |
| 兼任 | 講師 | 伊勢田 堯 (70) | 平成24年4月 | 精神保健Ⅰ | 兼任 | 講師 | 尾久裕紀 (55) | 平成24年4月 | 精神保健Ⅰ | 平成24年4月 伊勢田堯講師辞任のため平成24年度 より担当者を変更 (24) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | 鉦鹿 健吉 (66) | 平成25年4月 | 精神保健Ⅰ | 平成25年4月 尾久裕紀講師辞任のため平成25 年度より担当者を変更 (25) |
| | | | | 精神保健Ⅱ | 兼任 | 講師 | 尾久裕紀 (55) | 平成24年4月 | 精神保健Ⅱ | 平成24年4月 伊勢田堯講師辞任のため平成24年度 より担当者を変更 (24) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | 鉦鹿 健吉 (66) | 平成25年4月 | 精神保健Ⅱ | 平成25年4月 尾久裕紀講師辞任のため平成25 年度より担当者を変更 (25) |
| 兼任 | 講師 | 井出野 尚 (50) | 平成24年4月 | 心理学特殊講義13B (社会心理学) | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 伊藤 教子 (39) | 平成22年4月 | 心理統計法Ⅰ | | | | | | |
| | | | | 心理統計法Ⅱ | | | | | | |
| | | | | 心理学調査法 | | | | | | |
| | | | | | | | | 心理学1 | 平成24年4月 担当者変更による追加 (24) | |
| | | | | | | | | 心理学2 | 平成24年4月 担当者変更による追加 (24) | |
| 兼任 | 講師 | 伊藤 満 (32) | 平成23年4月 | 心理学検査法講義 | 兼任 | 講師 | 油谷 元規 (30) | 平成25年4月 | 心理学検査法講義 | 平成25年4月 伊藤満講師辞任により担当者 を変更 (25) |
| | | | | 心理学検査法演習 | 兼任 | 講師 | 油谷 元規 (30) | 平成25年4月 | 心理学検査法演習 | 平成25年4月 伊藤満講師辞任により担当者 を変更 (25) |
| 兼任 | 講師 | 伊藤 隆一 (58) | 平成23年4月 | 性格心理学 | 兼任 | 講師 | 中村 有 (36) | 平成23年4月 | 性格心理学 | 伊藤隆一講師辞任のため平成23年度 より担当者を変更 (23) |
| 兼任 | 講師 | 大塚 斉 (35) | 平成24年4月 | 心理学特殊講義8B (福祉心理学) | 兼任 | 講師 | 入江 多津子 (61) | 平成23年4月 | 心理学特殊講義8B (福祉心理学) | 大塚斉講師辞任のため平成23年度 より担当者を変更 (23) |
| 兼任 | 講師 | 川島 亜紀子 (34) | 平成22年4月 | 心理統計法Ⅰ | 兼任 | 講師 | 吉武 尚美 (44) | 平成22年4月 | 心理統計法Ⅰ | 川島亜紀子講師辞任のため平成 22年度より担当者を変更 (22) |
| | | | | 心理統計法Ⅱ | 兼任 | 講師 | 吉武 尚美 (44) | 平成22年4月 | 心理統計法Ⅱ | |
| | | | | 心理学調査法 | 兼任 | 講師 | 吉武 尚美 (44) 後任未定 (22) | 平成23年4月 | 心理学調査法 | 平成23年度の教員人事にて採 用予定 (22) 平成23年4月 担当者の変更 (23) |
| 兼任 | 講師 | 菅野 恵 (36) | 平成24年4月 | 心理学特殊講義11B (学校臨床心理学) | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 古野 公紀 (32) | 平成23年4月 | 心理学実験 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 小原 健一郎 (31) | 平成24年4月 | 心理学特殊講義2B (学習心理学) | | | | | | |
| | | | | | | | | | 心理学統計法Ⅰ | 平成23年4月 担当科目の変更による追加 (23) |
| | | | | | | | | | 心理学統計法Ⅱ | 平成23年4月 担当科目の変更による追加 (23) |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----------------|---------|---------------------|----|-----|---------------|---------|-------------------|-------------------|---|-----------------------------------|--------------------------------|
| 兼任 | 講師 | 小松 英海 (43) | 平成23年4月 | 心理学実験 | | | | | | 心理学特殊講義1B (知覚心理学) | 平成25年4月 担当者変更による追加 (25) | | |
| 兼任 | 講師 | 近藤 武夫 (37) | 平成24年4月 | 心理学特殊講義6B (神経心理学) | 兼任 | 講師 | 安崎 文子 (54) | 平成24年4月 | 心理学特殊講義6B (神経心理学) | | 平成24年4月 近藤武夫講師辞任のため平成24年度より担当者を変更 (24) | | |
| 兼任 | 講師 | 佐野 予理子 (31) | 平成23年4月 | 社会心理学 | 兼任 | 講師 | 池田 満 (32) | 平成23年4月 | 社会心理学 | | 伊藤予理子講師辞任のため平成23年度より担当者を変更 (23) | | |
| 兼任 | 講師 | 佐柳 信男 (41) | 平成23年4月 | 児童心理学 | 兼任 | 講師 | 矢代佐枝子 (39) | 平成24年4月 | 児童心理学 | | 平成24年4月 佐柳信男講師辞任のため平成24年度より担当者を変更 (24) | | |
| | | | | 教育心理学 I | 兼任 | 講師 | 槻館 尚武 (33) | 平成24年4月 | 教育心理学 I | | 平成24年4月 佐柳信男講師辞任のため平成24年度より担当者を変更 (24) | | |
| | | | | 教育心理学 II | 兼任 | 講師 | 槻館 尚武 (33) | 平成24年4月 | 教育心理学 II | | 平成24年4月 佐柳信男講師辞任のため平成24年度より担当者を変更 (24) | | |
| | | | | 心理学特殊講義3 (児童心理学) | 兼任 | 講師 | 池田 満 (33) | 平成24年4月 | 心理学特殊講義3 (児童心理学) | | 平成24年4月 佐柳信男講師辞任のため平成24年度より担当者を変更 (24) | | |
| 兼任 | 講師 | 菅佐原 洋 (38) | 平成24年4月 | 心理学特殊講義7B (発達臨床心理学) | | | | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 須藤 邦彦 (31) | 平成23年4月 | 心理学検査法講義 | 兼任 | 講師 | 桑原 正修 (34) | 平成23年4月 | 心理学検査法講義 | | 須藤邦彦講師辞任のため平成23年度より担当者を変更 (23) | | |
| | | | | 心理学検査法演習 | 兼任 | 講師 | 桑原 正修 (34) | 平成23年4月 | 心理学検査法演習 | | 須藤邦彦講師辞任のため平成23年度より担当者を変更 (23) | | |
| 兼任 | 講師 | 高下 梓 (34) | 平成23年4月 | 心理学検査法講義 | | | | | | | | | |
| | | | | 心理学検査法演習 | | | | | | | 心理学特殊講義4B (カウンセリング) | 平成25年4月 担当者変更による追加 (25) | |
| 兼任 | 講師 | 玉井 航太 (29) | 平成22年4月 | 心理統計法 I | 兼任 | 講師 | 槻館 尚武 (34) | 平成25年4月 | 心理統計法 I | | 平成25年4月 担当者変更による追加 (25) | | |
| | | | | 心理統計法 II | 兼任 | 講師 | 槻館 尚武 (34) | 平成25年4月 | 心理統計法 II | | 平成25年4月 担当者変更による追加 (25) | | |
| 兼任 | 講師 | 茅野 一穂 (49) | 平成23年4月 | | | | | | | | 平成25年4月 兼任講師→准教授へ職位変更 (25) | | |
| | | | | 心理学実験 | | | | | | | 心理統計法 I | 平成25年4月 前担当者死去に伴う、担当科目の追加 (25) | |
| | | | | | | | | | | | 心理統計法 II | 平成25年4月 前担当者死去に伴う、担当科目の追加 (25) | |
| | | | | | | | | | | | 専門ゼミ I A | 平成25年4月 教育効果向上のため担当者追加 (25) | |
| | | | | | | | | | | | 専門ゼミ I B | 平成25年4月 教育効果向上のため担当者追加 (25) | |
| | | | | | | | | | | | 専門ゼミ II A | 平成25年4月 教育効果向上のため担当者追加 (25) | |
| | | | | | | | 平成25年4月 | 自立と体験1 | | | | | 平成25年4月 担当者変更による追加 (25) |
| | | | | | | | | | | | | 専門ゼミ II B | 平成25年4月 教育効果向上のため担当者追加 (25) |
| 兼任 | 講師 | 土田 昌司 (40) | 平成22年4月 | 心理学 1 | 兼任 | 講師 | 大井 直子 (63) | 平成25年4月 | 心理学 1 | | 平成25年4月 土田昌司講師死去に伴い、担当者変更 (25) | | |
| | | | | 心理学 2 | 兼任 | 講師 | 大井 直子 (63) | 平成25年4月 | 心理学 2 | | 平成25年4月 土田昌司講師死去に伴い、担当者変更 (25) | | |
| | | | | 心理統計法 I | 専任 | 准教授 | 茅野 一穂 (50) | 平成25年4月 | 心理統計法 I | | 平成25年4月 土田昌司講師死去に伴い、担当者変更 (25) | | |
| | | | | 心理統計法 II | 専任 | 准教授 | 茅野 一穂 (50) | 平成25年4月 | 心理統計法 II | | 平成25年4月 土田昌司講師死去に伴い、担当者変更 (25) | | |
| | | | | 心理学特殊講義1B (知覚心理学) | 兼任 | 講師 | 小松 英海 (45) | 平成25年4月 | 心理学特殊講義1B (知覚心理学) | | 平成25年4月 土田昌司講師死去に伴い、担当者変更 (25) | | |

| | | | | | | | | | |
|----|----|----------------|---------|---------------------|-------|----------------|---------|---------------------|---|
| | | | | 心理学調査法 | 兼任 講師 | 槻館 尚武 (34) | 平成25年4月 | 心理学調査法 | 平成25年4月 土田昌司講師死去に伴い、担当者変更 (25) |
| 兼任 | 講師 | 中村 有 (37) | 平成24年4月 | 心理学特殊講義10B (性格心理学) | | | | | |
| | | | | | | | | 心理学特殊講義4B (カウンセリング) | 平成24年4月 担当科目の追加 (24) 平成25年4月 担当者変更による削除 (25) |
| | | | | | | | | 心理学検査法講義 | 平成25年4月 担当科目の追加 (25) |
| | | | | | | | | 心理学検査法演習 | 平成25年4月 担当科目の追加 (25) |
| 兼任 | 講師 | 西澤 寿樹 (48) | 平成24年4月 | 心理学特殊講義14 (産業心理学) | 兼任 講師 | 瀬戸山 聡子 (47) | 平成24年4月 | 心理学特殊講義14 (産業心理学) | 平成24年4月 西澤寿樹講師辞退のため平成24年度より担当者を変更 (24) |
| 兼任 | 講師 | 野口 和也 (34) | 平成23年4月 | 心理学検査法講義 | 兼任 講師 | 青池 あずさ (31) | 平成25年4月 | 心理学検査法講義 | 平成25年4月 担当科目の追加 (25) |
| | | | | 心理学検査法演習 | 兼任 講師 | 青池 あずさ (31) | 平成25年4月 | 心理学検査法演習 | 平成25年4月 担当科目の追加 (25) |
| 兼任 | 講師 | 野口 節子 (68) | 平成24年4月 | 心理学特殊講義9B (臨床心理学) | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 増田 知尋 (36) | 平成23年4月 | 心理学実験 | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 松浦 素子 (36) | 平成22年4月 | 心理統計法Ⅰ | 兼任 講師 | 小原 健一郎 (30) | 平成23年4月 | 心理統計法Ⅰ | 松浦素子講師辞任のため平成23年度より担当者を変更 (23) |
| | | | | 心理統計法Ⅱ | 兼任 講師 | 小原 健一郎 (30) | 平成23年4月 | 心理統計法Ⅱ | 松浦素子講師辞任のため平成23年度より担当者を変更 (23) |
| | | | | | 兼任 講師 | 中村 有 (37) | 平成24年4月 | 心理学特殊講義4B (カウンセリング) | 平成24年4月 松浦素子講師辞任のため平成24年度より担当者を変更 (24) 平成25年4月 担当者変更の為、削除 (25) |
| | | | | | 兼任 講師 | 高下 梓 (35) | 平成25年4月 | 心理学特殊講義4B (カウンセリング) | 平成25年4月 教育効果向上のため担当者変更 (25) |
| 兼任 | 講師 | 矢代 佐枝子 (37) | 平成22年4月 | 心理統計法Ⅰ | | | | | |
| | | | | 心理統計法Ⅱ | | | | | |
| | | | | 心理学特殊講義5A (生涯発達心理学) | | | | | |
| | | | | | | | | 児童心理学 | 平成24年4月 担当科目の追加 (24) |
| 兼任 | 講師 | 吉永 千恵子 (48) | 平成24年4月 | 心理学特殊講義12 (犯罪心理学) | | | | | |

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

| 設置時の計画 | | | | | 変更状況 | | | | | 年齢構成 | |
|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|---------|--------------|
| 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 | 教員の定年年齢 | 定年を延長している教員数 |
| 6 | 4 | 1 | 0 | 11 | 7 | 4 | 0 | 0 | 11 | 70 | 0 |
| (6) | (4) | (1) | (0) | (11) | [1] | [0] | [Δ1] | [0] | [0] | 歳 | 名 |

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成 25 年 5 月 1 日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1 名減の場合：Δ1）
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成 25 年 5 月 1 日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

5 教員組織の状況

<人文学部 日本文化学科>

(1) 担当教員表

| 許可時の計画 | | | | | 変更状況 | | | | | 備考 |
|------------|----|----------------|---------|--------------|------------|---------------------------------|--------------------------------|--------------------|--------------|--|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | |
| 専任 | 教授 | 服部 裕 (58) | 平成22年4月 | 日本語レベルアップ1 | | | | | | 平成25年4月 クラスサイズ適正化による担当者の 削除(25) |
| | | | | 日本語レベルアップ2 | | | | | | 平成25年4月 クラスサイズ適正化による担当者の 削除(25) |
| | | | | 比較文化論1 | 専任 | 教授 | 古田島 洋介 (55) | 平成24年4月 | 比較文化論1 | 平成24年4月 教育効果向上のため担当者変更 (24) |
| | | | | 比較文化基礎演習1 | | | | | | |
| | | | | 比較文化基礎演習2 | | | | | | |
| | | | | 比較文化演習1 | | | | | | |
| | | | | 比較文化演習2 | | | | | | |
| | | | | 歴史入門B(西洋と日本) | 兼任 専任 | 講師 准教授 | 齋藤 瞳 (35) 上原 麻有子 (46) | 平成24年4月 平成22年4月 | 歴史入門B(西洋と日本) | 担当科目の変更(22) 平成24年4月 教育効果向上のため担当教員の 変更(24) |
| | | | | 比較文化研究 | | | | | | 平成25年4月 クラスサイズ適正化による担当者の 削除(25) |
| | | | | 文化交流論 | 兼任 | 講師 | 沖田 瑞穂 (35) | 平成24年4月 | 文化交流論 | 平成24年4月 教育効果向上のため担当教員の 変更(24) |
| | | | | メディア文化論 | | | | | | |
| | | | | 卒研演習1 | | | | | | |
| | | | | 卒研演習2 | | | | | | |
| 卒業研究 | | | | | | | | | | |
| 専任 | 教授 | 古田島 洋介 (53) | 平成22年4月 | 日本語レベルアップ1 | | | | | | 平成25年4月 クラスサイズ適正化による担当者の 削除(25) |
| | | | | 日本語レベルアップ2 | | | | | | 平成25年4月 クラスサイズ適正化による担当者の 削除(25) |
| | | | | 比較文化基礎演習1 | | | | | | |
| | | | | 比較文化基礎演習2 | | | | | | |
| | | | | 比較文化演習1 | | | | | | |
| | | | | 比較文化演習2 | | | | | | |
| | | | | 古文入門 | | | | | | 平成25年4月 クラスサイズ適正化による担当 者削除(25) |
| | | | | 古典精読1B(漢文) | 兼任 | 講師 | 渡瀬 淳子 (35) | 平成24年4月 | 古典精読1B(漢文) | 平成24年4月 教育効果向上のため担当教員の 変更(24) 平成25年4月 担当者変更による削除(25) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | 荒木 達雄 (33) | 平成25年4月 | 古典精読1B(漢文) | 平成25年4月 教育効果向上のため担当教員の 変更(25) |
| | | | | 漢文学1 | | | | | | |
| | | | | 漢文学2 | | | | | | |
| | | | | 卒研演習1 | | | | | | |
| | | | | 卒研演習2 | | | | | | |
| 卒業研究 | | | | | | | | | | |
| | | | | | 比較文化論1 | 平成24年4月 担当科目の変更による追加 (24) | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|------|-----|----------------|---------|------------|----|-----|----------------|---------|------------|---|--|
| 専任 | 教授 | 前田 雅之 (56) | 平成22年4月 | 自立と体験1 | 専任 | 准教授 | 上原 麻有子 (46) | 平成22年4月 | 自立と体験1 | 担当科目の変更(22) 平成23年4月 担当科目の変更による削除 (23) | |
| | | | | 日本語レベルアップ1 | | | | | | | |
| | | | | 日本語レベルアップ2 | | | | | | | |
| | | | | 伝統文化論1 | | | | | | | |
| | | | | 日本文化基礎演習1 | | | | | | | |
| | | | | 日本文化基礎演習2 | | | | | | | |
| | | | | 日本文化演習1 | | | | | | | |
| | | | | 日本文化演習2 | | | | | | | |
| | | | | 古文入門 | 専任 | 准教授 | 勝又 基 (42) | 平成25年4月 | 古文入門 | 平成25年4月 教育効果向上のため担当教員の変 更(25) | |
| | | | | 日本文学の歴史1 | | | | | | | |
| | | | | 和歌文学 | | | | | | | |
| | | | | 平安文化論 | | | | | | | |
| | | | | 文化交流論 | | | | | | 平成24年4月 クラスサイズ適正化による担当 者削除(24) | |
| | | | | 卒研演習1 | | | | | | | |
| | | | | 卒研演習2 | | | | | | | |
| 卒業研究 | | | | | | | | | | | |
| 専任 | 准教授 | 上原 麻有子 (46) | 平成22年4月 | 日本語レベルアップ1 | 専任 | | 現在公募中 | 平成26年4月 | 日本語レベルアップ1 | 平成25年4月 上原麻有子准教授退職後は他の 学科教員にて対応(25) | |
| | | | | 日本語レベルアップ2 | 専任 | | 現在公募中 | 平成26年4月 | 日本語レベルアップ2 | 平成25年4月 上原麻有子准教授退職後は他の 学科教員にて対応(25) | |
| | | | | 比較文化基礎演習1 | 専任 | | 現在公募中 | 平成26年4月 | 比較文化基礎演習1 | 平成25年4月 上原麻有子准教授退職後は他の 学科教員にて対応(25) | |
| | | | | 比較文化基礎演習2 | 専任 | | 現在公募中 | 平成26年4月 | 比較文化基礎演習2 | 平成25年4月 上原麻有子准教授退職後は他の 学科教員にて対応(25) | |
| | | | | 比較文化演習1 | 専任 | | 現在公募中 | 平成26年4月 | 比較文化演習1 | 平成25年4月 上原麻有子准教授退職後は他の 学科教員にて対応(25) | |
| | | | | 比較文化演習2 | 専任 | | 現在公募中 | 平成26年4月 | 比較文化演習2 | 平成25年4月 上原麻有子准教授退職後は他の 学科教員にて対応(25) | |
| | | | | 翻訳実習1 | 兼任 | 講師 | 馬場 智一 (36) | 平成25年4月 | 翻訳実習1 | 平成25年4月 上原麻有子准教授退職のため、 担当者変更(25) | |
| | | | | 翻訳実習2 | 兼任 | 講師 | 馬場 智一 (36) | 平成25年4月 | 翻訳実習2 | 平成25年4月 上原麻有子准教授退職のため、 担当者変更(25) | |
| | | | | 比較文化研究 | 専任 | 准教授 | 現在公募中 | 平成25年4月 | 比較文化研究 | 平成25年4月 上原麻有子准教授退職後は他の 学科教員にて対応(25) | |
| | | | | 観光文化論 | 兼任 | 講師 | 大森 信治郎 (58) | 平成25年4月 | 観光文化論 | 平成25年4月 上原麻有子准教授退職のため、 担当者変更(25) | |
| | | | | 翻訳論 | 兼任 | 講師 | 馬場 智一 (36) | 平成25年4月 | 翻訳論 | 平成25年4月 上原麻有子准教授退職のため、 担当者変更(25) | |
| | | | | 卒研演習1 | 専任 | | 現在公募中 | 平成26年4月 | 卒研演習1 | 平成25年4月 上原麻有子准教授退職後は他の 学科教員にて対応(25) | |
| | | | | 卒研演習2 | 専任 | | 現在公募中 | 平成26年4月 | 卒研演習2 | 平成25年4月 上原麻有子准教授退職後は他の 学科教員にて対応(25) | |
| | | | | 卒業研究 | 専任 | | 現在公募中 | 平成26年4月 | 卒業研究 | 平成25年4月 上原麻有子准教授退職後は他の 学科教員にて対応(25) | |
| | | | | | | | | | 自立と体験1 | 担当科目の変更による追加 (22) 平成23年4月 担当科目の変更による削除 (23) | |

| | | | | | | | | | |
|----|-----|--------------|---------|------------|--|------|--|--------------|---|
| | | | | | | | | 歴史入門B(西洋と日本) | 担当科目の変更による追加(22) 平成24年4月 担当科目の変更による削除(24) |
| 専任 | 准教授 | 勝又 基 (40) | 平成22年4月 | 日本語レベルアップ1 | | | | | 平成25年4月 クラスサイズ適正化による担当者の削除(25) |
| | | | | 日本語レベルアップ2 | | | | | 平成25年4月 クラスサイズ適正化による担当者の削除(25) |
| | | | | 伝統文化論1 | | | | | 平成25年4月 クラスサイズ適正化による担当者の削除(25) |
| | | | | 日本文化基礎演習1 | | | | | |
| | | | | 日本文化基礎演習2 | | | | | |
| | | | | 日本文化演習1 | | | | | |
| | | | | 日本文化演習2 | | | | | |
| | | | | 古典精読2A(古文) | | | | | |
| | | | | 日本文化研究 | | | | | 平成25年4月 クラスサイズ適正化による担当者削除(25) |
| | | | | 日本文学入門 | | | | | 平成25年4月 クラスサイズ適正化による担当者削除(25) |
| | | | | 江戸文化論 | | | | | |
| | | | | 卒研演習1 | | | | | |
| | | | | 卒研演習2 | | | | | |
| | | | | 卒業研究 | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | 古文入門 | 平成25年4月 担当科目の変更による追加(25) | | |
| | | | | | | | 平成23年4月 准教授→教授へ職位変更(23) | | |
| | | | | 日本語レベルアップ1 | | | 三橋正准教授は特別研究員制度の適用にて、1年間海外研究赴任のため平成22年のみ担当しない。(22) 三橋正准教授は海外研究より帰国したため23年度より担当(23) 平成25年4月 クラスサイズ適正化による担当者削除(25) | | |
| | | | | 日本語レベルアップ2 | | | 三橋正准教授は特別研究員制度の適用にて、1年間海外研究赴任のため平成22年のみ担当しない。(22) 三橋正准教授は海外研究より帰国したため23年度より担当(23) 平成25年4月 クラスサイズ適正化による担当者削除(25) | | |
| | | | | 日本文化基礎演習1 | | | | | |
| | | | | 日本文化基礎演習2 | | | | | |
| | | | | 日本文化演習1 | | | | | |
| | | | | 日本文化演習2 | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|------|-----|---------------|---------|---------------|----|------------|--|---------|---------------|--|--|
| 専任 | 准教授 | 三橋 正 (51) | 平成22年4月 | 歴史入門A (日本の歩み) | 兼任 | 講師 | 落合 義明 (43) | 平成22年4月 | 歴史入門A (日本の歩み) | 三橋正准教授は特別研究員制度の適用にて、1年間海外研究赴任のため平成22年のみ担当者の変更。(22) 三橋正教授は海外研究より帰国したため23年度より担当(23) | |
| | | | | | 兼任 | 講師 | 関口 崇史 (42) | 平成25年4月 | 歴史入門A (日本の歩み) | 平成25年4月 落合義明講師辞任のため担当者変更(25) | |
| | | | | 古典精読2B (漢文) | | | | | | | |
| | | | | 日本文化研究 | | | | | | 平成25年4月 クラスサイズ適正化による担当者削除(25) | |
| | | | | 歴史文化論 | 兼任 | 講師 | 落合 義明 (43) | 平成22年4月 | 歴史文化論 | 三橋正准教授は特別研究員制度の適用にて、1年間海外研究赴任のため平成22年のみ担当者の変更。(22) 三橋正教授は海外研究より帰国したため23年度より担当(23) | |
| | | | | | 兼任 | 講師 | 関口 崇史 (42) | 平成25年4月 | 歴史文化論 | 平成25年4月 落合義明講師辞任のため担当者変更(25) | |
| | | | | 日本人の信仰 | 兼任 | 講師 | 鈴木 一馨 (46) | 平成25年4月 | 日本人の信仰 | 平成25年4月 教育効果向上のため担当者変更(25) | |
| | | | | 日記・記録の中の日本 | | | | | | | |
| | | | | 卒研演習1 | | | | | | | |
| | | | | 卒研演習2 | | | | | | | |
| 卒業研究 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 自立と体験1 | 平成23年4月 担当科目の変更による追加(23) 平成24年4月 担当科目の変更による削除(24) | | | | |
| | | | | | | | 平成23年4月 講師→准教授へ職位変更(23) | | | | |
| | | | | | | 自立と体験2 | 平成25年4月 クラスサイズ適正化により、担当者削除(25) | | | | |
| | | | | | | 日本語レベルアップ1 | 平成25年4月 クラスサイズ適正化により、担当者削除(25) | | | | |
| | | | | | | 日本語レベルアップ2 | 平成25年4月 クラスサイズ適正化により、担当者削除(25) | | | | |
| | | | | | | 伝統文化論2 | | | | | |
| | | | | | | 日本文化基礎演習1 | | | | | |
| | | | | | | 日本文化基礎演習2 | | | | | |
| | | | | | | 日本文化演習1 | | | | | |
| | | | | | | 日本文化演習2 | | | | | |
| | | | | | | 古文入門 | 平成25年4月 クラスサイズ適正化による担当者削除(25) | | | | |
| | | | | | | 日本文学入門 | | | | | |
| | | | | | | 日本文学の歴史2 | | | | | |
| | | | | | | 近代文学 | | | | | |
| | | | | | | 卒研演習1 | | | | | |
| | | | | | | 卒研演習2 | | | | | |
| | | | | | | 卒業研究 | | | | | |
| 専任 | 講師 | 青山 英正 (38) | 平成22年4月 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|----------|----|---------------|---------|---------------|--------|---------------------------|---------------------------------|---------------|------------------------------------|
| | | | | 基礎英語 1 A | 兼任 講師 | 若狭 基道 (42) | 平成25年4月 | 基礎英語 1 A | 平成25年4月 教育効果向上のため担当者変更 (25) |
| | | | | 基礎英語 2 A | 兼任 講師 | 若狭 基道 (42) | 平成25年4月 | 基礎英語 2 A | 平成25年4月 教育効果向上のため担当者変更 (25) |
| 兼任 | 教授 | 宝木 範義 (68) | 平成23年4月 | 西洋美術史 1 | 兼任 講師 | 手塚 恵美子 (48) | 平成23年4月 | 西洋美術史 1 | 宝木範義講師辞任のため平成23 年度より担当者を変更 (23) |
| | | | | 西洋美術史 2 | 兼任 講師 | 手塚 恵美子 (48) | 平成23年4月 | 西洋美術史 2 | 宝木範義講師辞任のため平成23 年度より担当者を変更 (23) |
| 兼任 | 教授 | 秀村 研二 (55) | 平成22年4月 | 外国語 (韓国語) 4 A | 兼任 講師 | 柳 慧政 (38) | 平成22年4月 | 外国語 (韓国語) 4 A | 教育効果向上のため担当者変更 (22) |
| | | | | 外国語 (韓国語) 4 B | 兼任 講師 | 吉川 友文 (43) | 平成22年4月 | 外国語 (韓国語) 4 B | 教育効果向上のため担当者変更 (22) |
| | | | | 上級韓国語 3 | 兼任 准教授 | 金 庚芬 (42) | 平成25年4月 | 上級韓国語 3 | 教育効果向上のため担当者変更 (25) |
| | | | | 上級韓国語 4 | 兼任 准教授 | 金 庚芬 (42) | 平成25年4月 | 上級韓国語 4 | 教育効果向上のため担当者変更 (25) |
| | | | | 文化人類学 1 | 兼任 教授 | 菊地 滋夫 (44) | 平成22年4月 | 文化人類学 1 | 担当科目の変更 (22) |
| | | | | 文化人類学 2 | 兼任 教授 | 菊地 滋夫 (44) | 平成22年4月 | 文化人類学 2 | 担当科目の変更 (22) |
| | | | | 人文科学論 2 | | | | | |
| | | | | 人類と環境 | | | | | |
| | | | | 歴史・文化特講 C | | | | | |
| | | | | 歴史・文化特講 D | | | | | |
| | | | | 比較文化基礎演習 1 | | | | | |
| | | | | 比較文化基礎演習 2 | | | | | |
| | | | | 比較文化演習 1 | | | | | |
| | | | | 比較文化演習 2 | | | | | |
| | | | | | | 外国語 (韓国語) 1 B | 平成23年4月 担当科目の変更による追加 (23) | | |
| | | | | | | 外国語 (韓国語) 2 B | 平成23年4月 担当科目の変更による追加 (23) | | |
| 兼任 | 教授 | 深澤 清 (49) | 平成22年4月 | 外国語 (英語) 1 A | | | | | |
| | | | | 外国語 (英語) 1 B | 兼任 講師 | ジェニファー モーガン (50) | 平成22年4月 | 外国語 (英語) 1 B | 担当科目の変更 (22) |
| | | | | 外国語 (英語) 3 A | | | | | |
| | | | | 外国語 (英語) 3 B | 兼任 講師 | Gregory Winder (60) | 平成24年4月 | 外国語 (英語) 3 B | 平成24年4月 担当科目の変更 (24) |
| | | | | 地図を読む | | | | | |
| | | | | 基礎英語 1 A | | | | | |
| | | | | 基礎英語 2 A | | | | | |
| | | | | 基礎英語 3 A | | | | | |
| 基礎英語 4 A | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|-----------|----|------------------------|---------|-----------|----|----|---------------------------------|---------|-----------|--|--|
| 兼担 | 教授 | Paul Robertson (62) | 平成22年4月 | 外国語(英語)2A | 兼担 | 講師 | 内田 富男 (50) | 平成22年4月 | 外国語(英語)2A | 担当科目の変更(22) | |
| | | | | 外国語(英語)2B | | | | | | | |
| | | | | 異文化体験 | | | | | | | |
| | | | | 外国語(英語)4A | 兼任 | 講師 | 小林 健 (60) | 平成24年4月 | 外国語(英語)4A | 平成24年4月 担当科目の変更(24) | |
| | | | | 外国語(英語)4B | | | | | | | |
| | | | | 上級英語1 | 兼担 | 教授 | Eric Mooney (69) | 平成24年4月 | 上級英語1 | 平成24年4月 担当科目の変更(24) | |
| | | | | | | | | | 上級英語1 | 平成25年4月 Eric Mooney教授退職の為、担 当者変更(25) | |
| | | | | 上級英語2 | 兼担 | 教授 | Eric Mooney (69) | 平成24年4月 | 上級英語2 | 平成24年4月 担当科目の変更(24) | |
| | | | | | | | | | 上級英語2 | 平成25年4月 Eric Mooney教授退職の為、担 当者変更(25) | |
| | | | | 上級英語3 | | | | | | | |
| | | | | 上級英語4 | | | | | | | |
| | | | | 言語・文化特講A | | | | | | | |
| | | | | 基礎英語1B | | | | | | | |
| | | | | | | | | | 外国語(英語)1B | 平成24年4月 担当科目の追加(24) | |
| 兼担 | 教授 | 丸山 正義 (62) | 平成22年4月 | 人文科学論3 | | | | | | | |
| | | | | 言語・文化特講B | 兼担 | 教授 | Eric Mooney (69) | 平成24年4月 | 言語・文化特講B | 平成24年4月 担当科目の変更(24) | |
| | | | | | 専任 | 助教 | 藤原 愛 (37) | 平成25年4月 | 言語・文化特講B | 平成25年4月 Eric Mooney教授退職のため、 科目削除(25) | |
| | | | | 言語・文化特講C | | | | | | | |
| | | | | 比較文化論2 | | | | | | | |
| 兼担 | 教授 | 山本 陽子 (56) | 平成22年4月 | 人文科学論1 | | | | | | | |
| | | | | 図像学 | | | | | | | |
| | | | | 言語・文化特講D | | | | | | | |
| | | | | 言語・文化研究I | 兼担 | 教授 | 山田 留里子 (55) | 平成24年4月 | 言語・文化研究I | 平成24年4月 担当科目の変更(24) | |
| | | | | | 専任 | 教授 | 吉川 榮一 (56) | 平成25年4月 | 言語・文化研究I | 平成25年4月 山田留里子教授退職のため、 担当 者の変更(25) | |
| | | | | 言語・文化研究II | 兼担 | 教授 | 山田 留里子 (55) | 平成24年4月 | 言語・文化研究II | 平成24年4月 担当科目の変更(24) | |
| | | | | | 専任 | 教授 | 吉川 榮一 (56) | 平成25年4月 | 言語・文化研究I | 平成25年4月 山田留里子教授退職のため、 担 当 者 の 変 更 (25) | |
| | | | | 日本・東洋美術史1 | | | | | | | |
| 日本・東洋美術史2 | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----|----|----------------|---------|---------|----|----|-------------------------|---------------|-------------------------|--|
| 兼任 | 講師 | 石川 圭一 (41) | 平成23年4月 | 書道1 | 兼任 | 講師 | 雨宮 太虚 (49) | 平成25年4月 | 書道1 | 平成25年4月 石川圭一講師退職の為、担当 者の変更 (25) |
| | | | | 書道2 | 兼任 | 講師 | 雨宮 太虚 (49) | 平成25年4月 | 書道2 | 平成25年4月 石川圭一講師退職の為、担当 者の変更 (25) |
| 兼任 | 講師 | 磯部 敦 (39) | 平成24年4月 | 書誌学 | 兼任 | 講師 | 神林 尚子 (29) | 平成23年4月 | 書誌学 | 宝木範義講師辞任のため平成23 年度より担当者を変更 (23) |
| 兼任 | 講師 | 稲田 奈緒美 (50) | 平成24年4月 | 身体表現文化2 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 木元 麻里 (38) | 平成22年4月 | 翻訳基礎1 | 兼任 | 講師 | 齋藤 瞳 (36) | 平成25年4月 | 翻訳基礎1 | 平成25年4月 木元麻里講師退職の為、担当 者の変更 (25) |
| | | | | 翻訳基礎2 | 兼任 | 講師 | 齋藤 瞳 (36) | 平成25年4月 | 翻訳基礎2 | 平成25年4月 木元麻里講師退職の為、担当 者の変更 (25) |
| 兼任 | 講師 | 関口 崇史 (42) | 平成24年4月 | 古文書学 | | | | | | |
| | | | | | | | | 歴史入門A (日本の歩み) | 平成25年4月 担当科目の追加 (25) | |
| | | | | | | | | 歴史文化論 | 平成25年4月 担当科目の追加 (25) | |
| 兼任 | 講師 | 竹中 龍太 (43) | 平成23年4月 | 編集論 | | | | | | |
| | | | | 編集工学 | | | | | | |
| | | | | デジタル編集論 | 兼任 | 講師 | 長沖 竜二 (43) | 平成24年4月 | デジタル編集論 | 平成24年4月 担当科目の変更 (24) |
| | | | | DTP編集 | 兼任 | 講師 | 末廣 伸行 (62) | 平成24年4月 | DTP編集 | 平成24年4月 担当科目の変更 (24) |
| 兼任 | 講師 | 谷本 健吾 (36) | 平成23年4月 | 身体表現文化1 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 永井 久美子 (35) | 平成22年4月 | 基礎英語1A | 兼任 | 講師 | 鍛冶 広真 (28) | 平成24年4月 | 基礎英語1A | 平成24年4月 永井久美子講師辞任のため平成24 年度より担当者を変更 (24) |
| | | | | 基礎英語2A | 兼任 | 講師 | 鍛冶 広真 (28) | 平成24年4月 | 基礎英語2A | 平成24年4月 永井久美子講師辞任のため平成24 年度より担当者を変更 (24) |
| 兼任 | 講師 | 松本 尚久 (41) | 平成24年4月 | シナリオ研究 | | | | | | |
| | | | | | | | | 日本の芸能1 | 平成24年4月 担当科目の追加 (24) | |
| | | | | | | | | 日本の芸能2 | 平成24年4月 担当科目の追加 (24) | |
| 兼任 | 講師 | 若狭 基道 (40) | 平成22年4月 | 言語学1 | 兼任 | 教授 | ジャン イン グルスルド (57) | 平成22年4月 | 言語学1 | 担当科目の変更 (22) |
| | | | | 言語学2 | 兼任 | 教授 | ジャン イン グルスルド (57) | 平成22年4月 | 言語学2 | 担当科目の変更 (22) |
| | | | | 対照言語論 | | | | | | |
| | | | | | | | | | 基礎英語1A | 平成25年4月 担当科目の追加 (25) |
| | | | | | | | | | 基礎英語2A | 平成25年4月 担当科目の追加 (25) |

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

| 設置時の計画 | | | | | 変更状況 | | | | | 年齢構成 | |
|--------|-------|-------|-------|------|-------|--------|--------|-------|---------|---------|--------------|
| 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 | 教員の定年年齢 | 定年を延長している教員数 |
| 5 | 3 | 2 | 0 | 10 | 6 | 3 4 | 0 | 0 | 10 9 | 70 | 0 |
| (5) | (3) | (2) | (0) | (10) | [1] | [Δ1] | [Δ2] | [0] | [Δ1] | 歳 | 名 |

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

| 番号 | 職位 | 専任教員氏名 | 辞任（就任辞退を含む）等の理由 |
|----|-----|--------|-----------------|
| 1 | 准教授 | 上原 麻有子 | 京都大学大学院への移籍の為 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

日本文化学科としては、学生の面倒見もよく、また学生からも慕われている教員の割愛は大変な痛手であることはいうまでもない。また、上原先生の研究分野である翻訳学、近代日本哲学を研究テーマとする学生は多いのも事実である。しかし京都大学大学院教授として割愛されるに至ったことは、同先生の研究業績が高い評価を得たことに変わりなく、本学科としても喜ばしいことであった。
なお、学生への周知にあつては割愛が平成24年度早々に判明したことから、平成25年度のゼミ指導に支障を来たさぬ様、ゼミ指導内や平成25年度のゼミ区割り指導の中で周知を図った。よって、混乱等は生じることがなかった。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5 教員組織の状況

<人文学部 福祉実践学科>

(1) 担当教員表

| 認可時の計画 | | | | | 変更状況 | | | | | 備考 |
|------------|----|---------------|---------|--------------|------------|-----------|--|--------------------|-----------|---|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名(年齢) | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | |
| 専任 | 教授 | 池田 理恵 (46) | 平成22年4月 | 多摩地域福祉論 | | | | | | |
| | | | | 相談援助論 I A | | | | | | |
| | | | | 相談援助論 I B | | | | | | |
| | | | | 相談援助演習 I | | | | | | |
| | | | | 相談援助演習 II | | | | | | |
| | | | | 相談援助演習 III | | | | | | |
| | | | | 相談援助演習 IV | | | | | | |
| | | | | 高齢者福祉論 II | | | | | | |
| | | | | 相談援助実習指導 II | | | | | | |
| | | | | 相談援助実習指導 III | | | | | | |
| | | | | 相談援助実習 | | | | | | |
| | | | | 専門演習 I A | | | | | | |
| | | | | 専門演習 I B | | | | | | |
| | | | | 専門演習 II A | | | | | | |
| | | | | 専門演習 II B | | | | | | |
| | | | | 卒業研究 | | | | | | |
| 専任 | 教授 | 垣内 国光 (62) | 平成22年4月 | 自立と体験 1 | 専任 | 教授 准教授 | 加藤 めぐみ (52) 浅井 正行 (41) | 平成24年4月 平成22年4月 | 自立と体験 1 | 担当科目の変更 (22) 平成24年4月 担当科目の変更 (24) |
| | | | | 自立と体験 2 | | | | | | |
| | | | | 地域ニーズ開発演習 | 専任 | 教授 | 馬場 康彦 (58) | 平成22年4月 | 地域ニーズ開発演習 | 担当科目の変更 (22) |
| | | | | 子育て支援論 | | | | | | |
| | | | | 子ども福祉論 | | | | | | |
| | | | | 相談援助実習指導 I | | | | | | |
| | | | | 福祉経営論 | 専任 | 准教授 | 藤井 常文 (64) | 平成24年4月 | 福祉経営論 | 平成24年4月 担当科目の変更 (24) |
| | | | | 福祉経営論 | 兼任 | 講師 | 廣瀬 豊邦 (60) | 平成25年4月 | 福祉経営論 | 平成25年4月 教育効果向上の為、担当者の変更 (25) |
| | | | | 相談援助実習指導 II | | | | | | |
| | | | | 相談援助実習指導 III | | | | | | |
| | | | | 相談援助実習 | | | | | | |
| | | | | 専門演習 I A | | | | | | |
| | | | | 専門演習 I B | | | | | | |
| | | | | 専門演習 II A | | | | | | |
| | | | | 専門演習 II B | | | | | | |
| | | | | 卒業研究 | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|---------|----|----------------|---------|------------------|-------------|---------------------------------|-------------------|---------|--------------|----------------------------------|
| 専任 | 教授 | 加藤 めぐみ (50) | 平成22年4月 | | | | | | 自立と体験1 | 平成24年4月 担当科目の変更による追加 (24) |
| | | | | 外国語(英語)1A | 兼任 | 講師 | 内田 富男 (49) | 平成22年4月 | 外国語(英語)1A | 担当科目の変更(22) |
| | | | | 外国語(英語)1B | 兼任 | 教授 | Paul Robertson | 平成24年4月 | 外国語(英語)1B | 平成24年4月 担当科目の変更(24) |
| | | | | 外国語(英語)3A | 兼任 | 講師 | 小林 健 (60) | 平成24年4月 | 外国語(英語)3A | 平成24年4月 担当科目の変更(24) |
| | | | | 外国語(英語)3B | 兼任 | 講師 | Gregory Winder | 平成24年4月 | 外国語(英語)3B | 平成24年4月 担当科目の変更(24) |
| | | | | 自立と体験2 | | | | | | |
| | | | | 地域ニーズ開発演習 | 専任 | 教授 | 吉川 かつり (45) | 平成22年4月 | 地域ニーズ開発演習 | 担当科目の変更(22) |
| | | | | 福祉英語I | | | | | | |
| | | | | 福祉英語II | | | | | | |
| | | | | マイノリティ論 | | | | | | |
| | | | | | | | | | 外国語(英語)4A | 平成23年4月 担当科目の変更による追加 (23) |
| | | | | 社会福祉学特講Ⅲ(海外福祉事情) | | | | | | |
| | | | | 専門演習IA | | | | | | |
| | | | | 専門演習IB | | | | | | |
| | | | | 専門演習IIA | | | | | | |
| 専門演習IIB | | | | | | | | | | |
| 卒業研究 | | | | | | | | | | |
| 専任 | 教授 | 馬場 康彦 (59) | 平成22年4月 | 現代社会と福祉I | | | | | | |
| | | | | 現代社会と福祉II | | | | | | |
| | | | | 社会福祉学特講Ⅲ(海外福祉事情) | | | | | | |
| | | | | 相談援助実習指導I | | | | | | |
| | | | | 生活経済福祉論 隔年 | | | | | | |
| | | | | 相談援助実習 | | | | | | |
| | | | | 福祉インターンシップI | | | | | 福祉インターンシップI | 平成25年4月 履修者数減少の為、科目削除 (25) |
| | | | | 福祉インターンシップII | | | | | 福祉インターンシップII | 平成25年4月 履修者数減少の為、科目削除 (25) |
| | | | | 専門演習IA | | | | | | |
| | | | | 専門演習IB | | | | | | |
| | | | | 専門演習IIA | | | | | | |
| | | | | 専門演習IIB | | | | | | |
| | | | | 卒業研究 | | | | | | |
| | | | | | | | | | 地域ニーズ開発演習 | 担当科目の変更による追加 (22) |
| | | | | | | | | | 相談援助実習指導II | 平成25年4月 担当科目の変更による追加 (25) |
| | | | | | 相談援助実習指導III | 平成25年4月 担当科目の変更による追加 (25) | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----|----|----------------|---------|-------------|----|----|----------------|---------|-------------|---|
| 専任 | 教授 | 吉川 かおり (45) | 平成22年4月 | 障害学Ⅰ | 兼任 | 講師 | 山本 良典 (65) | 平成25年4月 | 障害学Ⅰ | 平成25年4月 吉川かおり教授は特別研究員制度適用にて、平成25年度のみ担当 者の変更(25) |
| | | | | 相談援助実習指導Ⅰ | 兼任 | 講師 | 山本 良典 (65) | 平成25年4月 | 相談援助実習指導Ⅰ | 平成25年4月 吉川かおり教授は特別研究員制度適用にて、平成25年度のみ担 当者の変更(25) |
| | | | | 障害学Ⅱ | 兼任 | 講師 | 山本 良典 (65) | 平成25年4月 | 障害学Ⅱ | 平成25年4月 吉川かおり教授は特別研究員制度適用にて、平成25年度のみ担 当者の変更(25) |
| | | | | 相談援助実習 | 兼任 | 講師 | 山本 良典 (65) | 平成25年4月 | 相談援助実習 | 平成25年4月 吉川かおり教授は特別研究員制度適用にて、平成25年度のみ担 当者の変更(25) |
| | | | | 福祉インターンシップⅠ | | | | | 福祉インターンシップⅠ | 平成25年度、吉川かおり教授が特別研究員制度適用及び履修者数減少の 為、科目削除(25) |
| | | | | 福祉インターンシップⅡ | | | | | 福祉インターンシップⅡ | 平成25年度、吉川かおり教授が特別研究員制度適用及び履修者数減少の 為、科目削除(25) |
| | | | | 専門演習ⅠA | 兼任 | 講師 | 山本 良典 (65) | 平成25年4月 | 専門演習ⅠA | 平成25年4月 吉川かおり教授は特別研究員制度適用にて、平成25年度のみ担当 者の変更(25) |
| | | | | 専門演習ⅠB | 兼任 | 講師 | 山本 良典 (65) | 平成25年4月 | 専門演習ⅠB | 平成25年4月 吉川かおり教授は特別研究員制度適用にて、平成25年度のみ担当 者の変更(25) |
| | | | | 専門演習ⅡA | | | | | | 平成25年度は吉川かおり教授が特別研究員制度適用また履修者がいな かったため、平成25年度のみ担当せず。(25) |
| | | | | 専門演習ⅡB | | | | | | 平成25年度は吉川かおり教授が特別研究員制度適用また履修者がいな かったため、平成25年度のみ担当せず。(25) |
| | | | | 卒業研究 | | | | | | 平成25年度は吉川かおり教授が特別研究員制度適用また履修者がいな かったため、平成25年度のみ担当せず。(25) |
| | | | | | 専任 | 教授 | 加藤 めぐみ (52) | 平成25年4月 | 地域ニーズ開発演習 | 担当科目の変更による追加 (22) 平成25年度、吉川かおり教授が特別研究員制度適用のため、担 当者変更(25) |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|---------------|---------|-----------------|----|--------|---|---------|-----------|--|---|--|--|
| 専任 | 准教授 | 浅井 正行 (42) | 平成22年4月 | 自立と体験2 | | | | | | | | | |
| | | | | 地域ニーズ開発演習 | | | | | | | | | |
| | | | | 相談援助演習Ⅰ | | | | | | | | | |
| | | | | 相談援助演習Ⅱ | | | | | | | | | |
| | | | | 相談援助演習Ⅲ | 兼任 | 講師 | 菅 順英 (61) | 平成25年4月 | 相談援助演習Ⅲ | 平成25年4月 教育効果向上のため担当者変更 (25) | | | |
| | | | | 相談援助演習Ⅳ | 兼任 | 講師 | 菅 順英 (61) | 平成25年4月 | 相談援助演習Ⅳ | 平成25年4月 教育効果向上のため担当者変更 (25) | | | |
| | | | | 相談援助実習指導Ⅰ | | | | | 相談援助実習指導Ⅰ | 平成24年4月 クラスサイズ適正化により担当 から除外 (24) | | | |
| | | | | 相談援助論ⅡA | 兼任 | 講師 | 高橋 明美 (45) | 平成25年4月 | 相談援助論ⅡA | 平成25年4月 教育効果向上のため担当者変更 (25) | | | |
| | | | | 相談援助論ⅡB | 兼任 | 講師 | 高橋 明美 (45) | 平成25年4月 | 相談援助論ⅡB | 平成25年4月 教育効果向上のため担当者変更 (25) | | | |
| | | | | 相談援助実習指導Ⅱ | | | | | | | | | |
| | | | | 相談援助実習指導Ⅲ | | | | | | | | | |
| | | | | 相談援助実習 | | | | | | | | | |
| | | | | 多文化ソーシャルワーク論 隔年 | | | | | | | | | |
| | | | | 専門演習ⅠA | | | | | | | | | |
| | | | | 専門演習ⅠB | | | | | | | | | |
| | | | | 専門演習ⅡA | | | | | | | | | |
| | | | | 専門演習ⅡB | | | | | | | | | |
| 卒業研究 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 自立と体験1 | 担当科目の変更による追加 (22) 平成24年4月 担当科目の変更による削除 (24) | | | | | | |
| 専任 | 准教授 | 妹尾 和美 (43) | 平成22年4月 | 自立と体験2 | | | | | | | | | |
| | | | | 地域ニーズ開発演習 | | | | | | | | | |
| | | | | 精神保健福祉論Ⅰ | | | | | | | | | |
| | | | | 精神保健福祉論Ⅱ | | | | | | | | | |
| | | | | 精神保健福祉論Ⅲ | | | | | | | | | |
| | | | | 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ | | | | | | | | | |
| | | | | 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ | | | | | | | | | |
| | | | | 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ | | | | | | | | | |
| | | | | 精神保健福祉援助実習 | | | | | | | | | |
| | | | | 専門演習ⅠA | | | | | | | | | |
| | | | | 専門演習ⅠB | | | | | | | | | |
| | | | | 専門演習ⅡA | | | | | | | | | |
| | | | | 専門演習ⅡB | | | | | | | | | |
| | | | | 卒業研究 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 自立と体験1 | 教育効果向上のため担当教員の 増加による追加 (22) 平成25年4月 担当科目変更による削除 (25) | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|----|-----|---------------|---------|-----------------|--------|--|---------------|---------|-------------|--|--|--|
| 専任 | 准教授 | 藤井 常文 (62) | 平成22年4月 | 自立と体験2 | | | | | | | | |
| | | | | 地域ニーズ開発演習 | | | | | | | | |
| | | | | 福祉行財政論 | 兼任 | 講師 | 川村 岳人 (34) | 平成25年4月 | 福祉行財政論 | 平成25年4月 教育効果向上のため担当者変更 (25) | | |
| | | | | 社会福祉発達史 隔年 | | | | | | | | |
| | | | | ソーシャルワーク演習・実習指導 | | | | | | | | |
| | | | | ソーシャルワーク実習 | | | | | | | | |
| | | | | 福祉専門職論 I | | | | | | | | |
| | | | | 相談援助演習 V 集中 | 兼任 | 講師 | 二方 龍紀 (35) | 平成24年4月 | 相談援助実習 V 集中 | 平成24年4月 教育効果向上のため担当者追加 (24) | | |
| | | | | | 兼任 | 講師 | 板倉 香子 (37) | 平成24年4月 | 相談援助実習 V 集中 | 平成24年4月 教育効果向上のため担当者追加 (24) | | |
| | | | | | 兼任 | 講師 | 浜野 智之 (34) | 平成25年4月 | 相談援助実習 V 集中 | 平成25年4月 教育効果向上のため藤井常文准 教授より浜野智之兼任講師に担 当者変更 (25) | | |
| | | | | 相談援助実習指導 I | | | | | | | | |
| | | | | 相談援助実習指導 II | | | | | | | | |
| | | | | 相談援助実習指導 III | | | | | | | | |
| | | | | 福祉専門職論 II | | | | | | | | |
| | | | | 専門演習 I A | | | | | | | | |
| | | | | 専門演習 I B | | | | | | | | |
| | | | | 専門演習 II A | | | | | | | | |
| | | | | 専門演習 II B | | | | | | | | |
| | | | | 卒業研究 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | 福祉経営論 | 平成24年4月 担当科目の変更による増加 (24) 平成25年4月 担当者変更による科目削除 (25) | | |
| | | | | | 相談援助実習 | 平成25年4月 教育効果向上のため担当教員増 加による追加 (25) | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|------|-----|----------------|---------|---------------|--------|--|----------------|---------|-----------------------------|--|
| 専任 | 准教授 | 横倉 三郎 (58) | 平成22年4月 | | | | | | 平成25年4月 准教授→教授職へ職位変更(25) | |
| | | | | 情報リテラシー a | 兼任 | 講師 | 石村 友二郎 (27) | 平成25年4月 | 情報リテラシー a | 平成25年4月 教育効果向上の為、担当者変更 (25) |
| | | | | 情報リテラシー b | 兼任 | 講師 | 石村 友二郎 (27) | 平成25年4月 | 情報リテラシー b | 平成25年4月 教育効果向上の為、担当者変更 (25) |
| | | | | 自立と体験 2 | | | | | | |
| | | | | 地域ニーズ開発演習 | | | | | | |
| | | | | 福祉機器工学 | | | | | | |
| | | | | 福祉情報工学 | | | | | | |
| | | | | 社会調査 | | | | | | |
| | | | | 福祉インターンシップ I | | | | | | |
| | | | | 福祉インターンシップ II | | | | | | |
| | | | | 専門演習 I A | | | | | | |
| | | | | 専門演習 I B | | | | | | |
| | | | | 専門演習 II A | | | | | | |
| | | | | 専門演習 II B | | | | | | |
| 卒業研究 | | | | | | | | | | |
| 兼任 | 教授 | 下平 好博 (55) | 平成22年4月 | 社会学原論 | 兼任 | 講師 | 久世 律子 (34) | 平成23年4月 | 社会学原論 | 平成23年4月 下平教授は特別研究員制度の適用にて、1年間研究赴任のため 担当者の変更 (23) 平成24年4月 担当者の変更。下平好博教授は 海外研究より帰国したため24年 度より担当 (24) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | 中條 共子 (58) | 平成25年4月 | 社会学原論 | 平成25年4月 教育効果向上の為、担当者 の変更 (25) |
| | | | | 現代の社会保障 I | | | | | | |
| | | | | 現代の社会保障 II | | | | | | |
| 兼任 | 助教 | 石田 健太郎 (34) | 平成23年4月 | 貧困論 | | | | | | |
| | | | | ケアと臨床の社会学 | | | | | | |
| | | | | 相談援助実習指導 I | 兼任 | 講師 | 二方 龍紀 (34) | 平成23年4月 | 相談援助実習指導 I | 平成23年4月 担当科目の変更 (23) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | 中條 共子 (58) | 平成25年4月 | 相談援助実習指導 I | 平成25年4月 二方龍紀講師辞職のため、担当 者の変更 (25) |
| | | | | 相談援助実習指導 II | 兼任 | 講師 | 二方 龍紀 (35) | 平成24年4月 | 相談援助実習指導 II | 平成24年4月 担当科目の変更 (24) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | 中條 共子 (58) | 平成25年4月 | 相談援助実習指導 II | 平成25年4月 二方龍紀講師辞職のため、担当 者の変更 (25) |
| | | | | 相談援助実習指導 III | 兼任 | 講師 | 二方 龍紀 (35) | 平成24年4月 | 相談援助実習指導 III | 平成24年4月 担当科目の変更 (24) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | 中條 共子 (58) | 平成25年4月 | 相談援助実習指導 III | 平成25年4月 二方龍紀講師辞職のため、担当 者の変更 (25) |
| | | | | 相談援助実習 | 兼任 | 講師 | 二方 龍紀 (35) | 平成24年4月 | 相談援助実習 | 平成24年4月 担当科目の変更 (24) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | 中條 共子 (58) | 平成25年4月 | 相談援助実習 | 平成25年4月 二方龍紀講師辞職のため、担当 者の変更 (25) |
| 兼任 | 講師 | 高橋 明美 (45) | 平成25年4月 | | 相談援助実習 | 平成25年4月 履修者数増加に伴うクラス増に より担当者を追加 (25) | | | | |
| 兼任 | 講師 | 末永 睦子 (48) | 平成25年4月 | | 相談援助実習 | 平成25年4月 履修者数増加に伴うクラス増に より担当者を追加 (25) | | | | |
| 兼任 | 講師 | 網野 寛子 (64) | 平成23年4月 | 人体機能と疾病 | 兼任 | 講師 | 田野 将尊 (29) | 平成23年4月 | 人体機能と疾病 | 平成23年4月 担当科目の変更 (23) |
| 兼任 | 講師 | 池上 千恵美 (52) | 平成22年4月 | 高齢者福祉論 I | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----|----|----------------|---------|---------------------|----|----|----------------|---------|---------------------|---|
| 兼任 | 講師 | 伊勢田 堯 (70) | 平成24年4月 | 精神保健Ⅰ | 兼任 | 講師 | 鉦鹿 健吉 (66) | 平成25年4月 | 精神保健Ⅰ | 平成25年4月 担当講師辞退のため、担当者を 変更(25) |
| | | | | 精神保健Ⅱ | 兼任 | 講師 | 鉦鹿 健吉 (66) | 平成25年4月 | 精神保健Ⅰ | 平成25年4月 担当講師辞退のため、担当者を 変更(25) |
| 兼任 | 講師 | 大石 幸二 (47) | 平成25年4月 | スクールソーシャルワーク論 | 兼任 | 講師 | 岩田 美香 (50) | 平成25年4月 | スクールソーシャルワーク論 | 平成25年4月 担当講師辞退のため、担当者を 変更(25) |
| 兼任 | 講師 | 尾上 孝文 (63) | 平成23年4月 | 保健医療サービス論 | 兼任 | 講師 | 末永 睦子 (46) | 平成23年4月 | 保健医療サービス論 | 平成23年4月 担当科目の変更(23) |
| | | | | 精神医学Ⅱ | 兼任 | 講師 | 石黒 雅浩 (43) | 平成23年4月 | 精神医学Ⅱ | 平成23年4月 担当科目の変更(23) |
| | | | | 精神科リハビリテーション論Ⅰ | 兼任 | 講師 | 小田 潤 (61) | 平成23年4月 | 精神科リハビリテーション論Ⅰ | 平成23年4月 担当科目の変更(23) |
| | | | | 精神科リハビリテーション論Ⅱ | 兼任 | 講師 | 小田 潤 (61) | 平成23年4月 | 精神科リハビリテーション論Ⅱ | 平成23年4月 担当科目の変更(23) |
| | | | | 精神保健福祉援助演習Ⅰ | 兼任 | 講師 | 圓林 今日子 (49) | 平成24年4月 | 精神保健福祉援助演習Ⅰ | 平成24年4月 担当科目の変更(24) |
| | | | | 精神保健福祉援助演習Ⅱ | 兼任 | 講師 | 圓林 今日子 (50) | 平成25年4月 | 精神保健福祉援助演習Ⅱ | 平成25年4月 担当科目の変更(25) |
| 兼任 | 講師 | 小俣 智子 (44) | 平成24年4月 | 医療ソーシャルワーク論 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 菅野 道生 (34) | 平成22年4月 | ボランティア論 | 兼任 | 講師 | 安藤 雄太 (63) | 平成24年4月 | ボランティア論 | 平成24年4月 担当科目の変更(24) |
| | | | | 地域福祉論Ⅰ | 兼任 | 講師 | 板倉 香子 (37) | 平成24年4月 | 地域福祉論Ⅰ | 平成24年4月 担当科目の変更(24) |
| | | | | 地域福祉論Ⅱ | 兼任 | 講師 | 板倉 香子 (37) | 平成24年4月 | 地域福祉論Ⅱ | 平成24年4月 担当科目の変更(24) |
| 兼任 | 講師 | 小向 利佳子 (37) | 平成24年4月 | 精神保健福祉援助各論Ⅰ | | | | | | |
| | | | | 精神保健福祉援助各論Ⅱ | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 関口 仁朗 (41) | 平成24年4月 | 社会福祉学特講Ⅱ(ガイドヘルプ) 集中 | 兼任 | 講師 | 藤内 昌信 (60) | 平成24年4月 | 社会福祉学特講Ⅱ(ガイドヘルプ) 集中 | 平成24年4月 担当講師辞退のため担当者を 変更(24) |
| 兼任 | 講師 | 玉置 佑介 (30) | 平成23年4月 | 障害者スポーツ論 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 早川 東作 (60) | 平成23年4月 | 精神医学Ⅰ 集中 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 林 義巳 (46) | 平成24年4月 | 社会福祉学特講Ⅰ(福祉住環境論) | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 穂積 美沙子 (49) | 平成23年4月 | 実践手話 | 兼任 | 講師 | 小屋松 一子 (61) | 平成23年4月 | 実践手話 | 平成23年4月 担当講師辞退のため担当者を 変更(23) |
| 兼任 | 講師 | 森本 哲介 (28) | 平成22年4月 | 心理学 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 山本 良典 (64) | 平成23年4月 | 就労支援と権利擁護 | | | | | | |
| | | | | | 兼任 | 講師 | 末永 睦子 (61) | 平成24年4月 | 相談援助演習Ⅰ | 平成24年4月厚生労働省の省令 改正に伴い、担当者の増加 (24) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | 末永 睦子 (61) | 平成24年4月 | 相談援助演習Ⅱ | 平成24年4月厚生労働省の省令 改正に伴い、担当者の増加 (24) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | 小田 潤 (64) | 平成25年4月 | 精神保健福祉援助演習Ⅲ | 平成24年4月 科目追加。厚労省の省令改正に 伴い精神保健福祉士国家試験受 験資格取得においては必修科目 となる。科目の新規設置に伴 い、担当科目の追加(24) |

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

| 設置時の計画 | | | | | 変更状況 | | | | | 年齢構成 | |
|--------|-------|-------|-------|-----|--------|--------|-------|-------|-------|---------|--------------|
| 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 | 教員の定年年齢 | 定年を延長している教員数 |
| 5 | 4 | 0 | 0 | 9 | 6 5 | 3 4 | 0 | 0 | 9 | 70 | 0 |
| (5) | (4) | (0) | (0) | (9) | [1] | [Δ1] | [0] | [0] | [0] | 歳 | 名 |

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

| 区 分 | 留 意 事 項 | 履 行 状 況 | 未履行事項について の実施計画 |
|------------------------------|---|---|---|
| 設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月) | 該当なし | / | / |
| 設置計画履行状況 調 査 時 (25年2月) | <p>既設学科（造形芸術学部造形芸術学科、いわき明星大学人文学部表現文化学科、現代社会学科、薬学部薬学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> | <p>明星大学造形芸術学部造形芸術学科は、東京都青梅市において芸術分野における教育研究活動を行ってきましたが、平成19年度以降入学定員の未充足が続いたことから、教育環境を充実させることを目的とした、教育課程の再編や学習環境の充実、地域と連携した事業の推進などの他、同学部に特化した学生募集活動を展開してきました。</p> <p>また、入学定員の適正化を図るため、平成24年度には入学定員を150人から90人に減らすなどの施策を講じてきましたが、平成24年度も6割程度しか入学定員を充足できませんでした。</p> <p>この状況を改善するため、平成25年度入学生から、4年間の学習の場を、通学の利便性が高く、他学部と連携した教育活動を行う上で有効な、日野校に移すこととした結果、平成25年度は入学定員90人の0.88倍程度を確保できました。</p> <p>いわき明星大学は、東日本大震災及び原発事故の影響により、福島県外からの志願者数が著しく減少するとともに、福島県内からの志願者の流出も増加することとなりました。</p> <p>この原発事故による被害を改善するため、特に県外の高等学校に対しては福島県並びにいわき市の実情を丁寧に説明し理解が得られるよう努めています。</p> <p>また、被災により現在も経済的に困難な状況にある志願者に対し、特別スカラシップ入試や修学支援緊急奨学金等を実施するなどの対策にも取り組んでいます。</p> <p>さらに、被災した地域の高校、中学校、小学校、幼稚園に対して校舎や校地を貸与するなど、地域の復興に向けた連携を進めてきました。</p> <p>これにより平成25年度入試は、昨年度と同程度の志願者数となり、さらなる大幅な減少は食い止めています。原発事故被害は依然として強いものがあり、学生確保は厳しい状況にあります。</p> | <p>学習の場を日野校に移すことにより、一定程度の入学者の確保は見込まれるものの、社会の要請に応えより一層安定的に入学者を確保するためには、教育体制の抜本的な改善が必要であると判断し、造形芸術学部造形芸術学科を基礎とした改組再編を行い、平成26年度に新学部を日野校に設置するための手続きを開始することを理事会において決定しました。</p> <p>新学部では、美術・デザイン分野で従来行われていた「モノづくり」を中心とした教育から、社会や企業が求める「企画力」や「表現力」の養成を中心とした教育を展開することを予定しています。</p> <p>原発事故による被害には長期にわたって正確な情報発信が必要であることから、あらゆる機会を通じて継続的に、そして丁寧に情報発信するよう努めていきます。また、スカラシップ入試や修学支援緊急奨学金の実施など、被災者支援も継続します。</p> <p>さらに学生確保に向けては、平成27年度を目標に、入学定員の見直し及び学部・学科の抜本的な改組改編を行うとともに、一層地域に必要とされる大学として存立するための教育の改革を検討します。</p> |

| | | | |
|--|--|--|--|
| | | | |
| | | | |

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<人文学部 心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

| 設置時の計画 | 変更内容・状況, 今後の見通しなど |
|--------|-------------------|
| / | 該当なし |

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

| |
|--|
| <p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>平成19年度より学長の諮問委員会として「全学FD委員会」を設け、全学的FD活動の実施や部局別FD活動の指針となる全学的基本方針を策定するなど、全学をあげて組織的な取り組みを行ってきた。</p> <p>平成21年度より「明星大学ファカルティ・ディベロップメントに関する規程」(別紙1)を制定し、「全学FD委員会」及び「部局別FD委員会」の役割を明確にした。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>平成23年度の開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回全学FD委員会 平成23年5月31日(火) 教員参加人数10名 ・ 第2回全学FD委員会 平成23年6月28日(火) 教員参加人数8名 ・ 第3回全学FD委員会 平成23年7月26日(火) 教員参加人数9名 ・ 第4回全学FD委員会 平成23年9月13日(火) 教員参加人数10名 ・ 第5回全学FD委員会 平成23年10月5日(水) 教員参加人数9名 ・ 第6回全学FD委員会 平成23年11月2日(水) 教員参加人数8名 ・ 第7回全学FD委員会 平成23年12月2日(金) 教員参加人数8名 ・ 第8回全学FD委員会 平成23年12月22日(木) 教員参加人数9名 ・ 第9回全学FD委員会 平成23年2月1日(水) 教員参加人数8名 ・ 第10回全学FD委員会 平成23年3月1日(木) 教員参加人数8名 <p>平成24年度の開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回全学FD委員会 平成24年 5月22日(火) 教員参加人数 9名 ・ 第2回全学FD委員会 平成24年 6月 7日(木) 教員参加人数10名 ・ 第3回全学FD委員会 平成24年 7月 5日(木) 教員参加人数 9名 ・ 第4回全学FD委員会 平成24年 9月 6日(木) 教員参加人数 8名 ・ 第5回全学FD委員会 平成24年10月 4日(木) 教員参加人数 9名 ・ 第6回全学FD委員会 平成24年11月 1日(木) 教員参加人数10名 ・ 第7回全学FD委員会 平成24年12月 6日(木) 教員参加人数10名 ・ 第8回全学FD委員会 平成24年12月19日(木) 教員参加人数10名 ・ 第9回全学FD委員会 平成25年 2月 6日(木) 教員参加人数 9名 ・ 第10回全学FD委員会 平成25年 3月 7日(木) 教員参加人数 7名 |
|--|

c 委員会の審議事項等

全学FD委員会

- (1) 全学的なFD活動のための基本方針の策定
- (2) 授業アンケートの組織的活用方法について
- (3) 私立大学FD連携フォーラムへの加盟について
- (4) 授業公開について
- (5) 日本学術会議における分野別参照基準について
- (6) 人材養成の目的、及びその他教育・研究上の目的の見直しについて

部局別FD委員会

- (1) 部局のFD研修の企画、実施、評価、改善及び報告
- (2) 授業アンケートにおける活用方法の検討
- (3) その他部局のFDに関連する事項

② 実施状況

a 実施内容

全学的FDの取り組み

- ① 新任教員のための研修会
- ② 人材養成の目的、及び3ポリシーの見直し、策定
- ③ 授業アンケートの実施方法の改善
- ④ 他大学とのFD情報の共有
- ⑤ 教員相互の授業参観

平成24年度 全学FD研修会の実施状況

- ⑥ 8月4日(土) DP、CPIにもとづく教育の質保証の取り組み
- ⑦ 12月21日(金) 学士家庭教育における質保証について

b 実施方法

全学的FDの取り組み

① 新任教員のための研修会

新任教員研修については、本学の建学の精神の伝達から、本学で教育研究を行うためのルールなどについて解説を行っている。また、コンソーシアム八王子主催の新任教員研修に全員が参加し、模擬授業、各種WS、高等教育の最新事情などの理解を深めた。

② 人材養成の目的、及び3ポリシーの見直し、策定

教育の質保証サイクルをしっかりと回すために、現行の人材養成の目的を敢えて見直し、それに紐づく3ポリシーを現行の教育課程の状況をアセスメントして策定し直している。2ヵ年計画で実施しており、DPまでが見直された。自分の担当科目が、他の科目とどう関連づいているのか。教育課程の中で自分の担当科目の位置づけがどのようなものなのか、理解が進んだ。また、その為の全学FD研修会を外部講師を招聘し、実施した。

③ 授業アンケートの実施方法の改善

現行の授業アンケートだと、学生への授業改善フィードバックが遅れることから、WGを設置し、抜本的に次年度に向けて見直した。次年度の実施は、情報端末を用いて、教員が授業単位で設問項目を設定し、リアルタイムでその集計ができる仕様。アンケートは授業回次毎に実施でき、その翌週から授業改善をフィードバックできるようにした。本年度は従来通りに実施。

④ 他大学とのFD情報の共有

FDの実践について、他大学での情報を多く探る機会が増大したことによって、よりスムーズな情報共有が必須となってきた。そこで学内で議論し、私立大学FD連携フォーラム(代表幹事校立命館大学)へ加盟申請することとし、全学FD委員会提案で、学内承諾をとりつけた。

⑤ 教員相互の授業参観

部局別に公募制を採り、授業公開対象科目は、学内グループウェアによって全体に公開され、相互の参観期間が設けられる。部局によっては全教員が全担当科目を公開する場合もあり、その対象も徐々に広がりつつあるものの、参観者自体が少ないという状況が報告され、次年度以降も継続してその在り方を検討することとなった。

平成24年度 全学FD研修会の実施状況

- ⑥ 8月4日(土) DP、CPIにもとづく教育の質保証の取り組み
講演 講師 立命館大学教育開発推進機構 沖 裕貴 教授
- ⑦ 12月21日(金) 学士家庭教育における質保証について
学部長によるパネルディスカッション
コーディネータ 全学FD委員長 服部 裕 教授

c 開催状況（教員の参加状況含む）

全学的FDの取り組み

①新任教員のための研修会
新任教員全員が参加した。

②人材養成の目的、及び3ポリシーの見直し、策定
一人のrighterが作文するのではなく、WSなどを実施し、全教員が教育目標の策定に携われるよう工夫している。華美な表現ではないが、ほとんどの全教員が参画し、教員の意識改善に大いに貢献した。

③授業アンケートの実施方法の改善
全学FD委員会の下にWGが設置され、全学FD委員会とキャッチボールしながら次年度の授業アンケートの在り方について仕様書の作成までを行った。次年度に向けてシステム課へ引き継いだ。

④他大学とのFD情報の共有
FDフォーラムなど、逐次情報共有すると共に、e-learningなどのコンテンツを学内に紹介することを始めた。各種フォーラムには、参加したい教員が参加を始めた。

⑤教員相互の授業参観における授業公開状況（参観者の実態は把握できていません）

【前期】

全学共通教育 …全教員、全科目公開
理工学部 …全教員、卒業研究をのぞく全科目公開
人文学部 …2名、8科目公開
経営学部 …5名、8科目公開

【後期】

全学共通教育 …全教員、全科目公開
理工学部 …全教員、卒業研究をのぞく全科目公開
人文学部 …2名、6科目公開
経営学部 …5名、18科目公開

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

現状ではこれらのFD活動については十分とはいえず、更なる全学的な取り組み、及び意識の高揚が必要。更にFD活動を通じて意識改革を図るとともに、授業アンケートの結果の開示と授業改善への接続を図る方策を講じるようにしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・実施の有無 全学共通実施
- ・実施時期 前期及び後期の試験実施期間前に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・学生への情報公開 前年度実施概要を本学ウェブサイトにて公開
- ・教員への情報提供 実施の2～3か月後に個別に本学ウェブサイトにて提供
- ・組織的取り組み 学部ごとに実施

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科では、人間を多面的に理解し、科学的に思考できる『実践的教養としての心理学』を習得した人材を育成することを目的としている。

教育方法としては、本学の教育の基本方針である体験教育を基盤に、1年次より実習・演習を重視した少人数教育を実施している。具体的には、心理学統計法、心理学実験法、心理学検査法、心理学調査法という授業において、学部上級生および大学院生によるTA・SAを活用し、一人ひとりに目をかける丁寧な教育を行っている。

カリキュラムに関しては、多面的かつバランスのとれた人間観を涵養するために、心理学の基礎から応用までの広範囲にわたる領域を学べるようにカリキュラムを編成し、卒業時には認定心理士の資格取得が可能である。また、本学科のカリキュラムは、4年間で『実践的教養としての心理学』を体系的に修得できるように、1年次に、心理学の全体像と統計法を把握し、2年次に、実験法や検査用によって研究の方法論を学びつつ、専門の基礎科目を学び、3年次以降、専門の上級科目、ゼミ、さらには卒業研究というように積み上げ方式に編成されている。

学生生活の指導に関しては、すべての学年において担任制を敷いており、授業欠席者へ生活指導などの支援体制を整備している。これは本学科の離籍率の低減につながっている。

本年度は、新学科設置から4年目であり、設置の趣旨・目的の達成に向けた努力を計画に沿って実行しているところである。今後も、48年にわたる本学の心理学教育の伝統を踏まえつつ、新しい時代に適合する教育・研究活動および社会貢献を進めて行く予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成23年3月30日 公表

b 公表方法

・大学ウェブサイト上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成22年度に財団法人大学基準協会による認証評価を受け、大学基準に適合していると再認定される。
- ・次期計画としては、平成29年度に財団法人大学基準協会による認証評価を申請する。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成25年7月31日)

7 その他全般的事項

<人文学部 日本文化学科>

(1) 設置計画変更事項等

| 設置時の計画 | 変更内容・状況, 今後の見通しなど |
|--------|-------------------|
| / | 該当なし |

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

| |
|--|
| <p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>平成19年度より学長の諮問委員会として「全学FD委員会」を設け、全学的FD活動の実施や部局別FD活動の指針となる全学的基本方針を策定するなど、全学をあげて組織的な取り組みを行ってきた。</p> <p>平成21年度より「明星大学ファカルティ・ディベロップメントに関する規程」（別紙1）を制定し、「全学FD委員会」及び「部局別FD委員会」の役割を明確にした。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>平成23年度の開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回全学FD委員会 平成23年5月31日(火) 教員参加人数10名 ・ 第2回全学FD委員会 平成23年6月28日(火) 教員参加人数8名 ・ 第3回全学FD委員会 平成23年7月26日(火) 教員参加人数9名 ・ 第4回全学FD委員会 平成23年9月13日(火) 教員参加人数10名 ・ 第5回全学FD委員会 平成23年10月5日(水) 教員参加人数9名 ・ 第6回全学FD委員会 平成23年11月2日(水) 教員参加人数8名 ・ 第7回全学FD委員会 平成23年12月2日(金) 教員参加人数8名 ・ 第8回全学FD委員会 平成23年12月22日(木) 教員参加人数9名 ・ 第9回全学FD委員会 平成23年2月1日(水) 教員参加人数8名 ・ 第10回全学FD委員会 平成23年3月1日(木) 教員参加人数8名 <p>平成24年度の開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回全学FD委員会 平成24年 5月22日(火) 教員参加人数 9名 ・ 第2回全学FD委員会 平成24年 6月 7日(木) 教員参加人数10名 ・ 第3回全学FD委員会 平成24年 7月 5日(木) 教員参加人数 9名 ・ 第4回全学FD委員会 平成24年 9月 6日(木) 教員参加人数 8名 ・ 第5回全学FD委員会 平成24年10月 4日(木) 教員参加人数 9名 ・ 第6回全学FD委員会 平成24年11月 1日(木) 教員参加人数10名 ・ 第7回全学FD委員会 平成24年12月 6日(木) 教員参加人数10名 ・ 第8回全学FD委員会 平成24年12月19日(木) 教員参加人数10名 ・ 第9回全学FD委員会 平成25年 2月 6日(木) 教員参加人数 9名 ・ 第10回全学FD委員会 平成25年 3月 7日(木) 教員参加人数 7名 |
|--|

c 委員会の審議事項等

全学FD委員会

- (1) 全学的なFD活動のための基本方針の策定
- (2) 授業アンケートの組織的活用方法について
- (3) 私立大学FD連携フォーラムへの加盟について
- (4) 授業公開について
- (5) 日本学術会議における分野別参照基準について
- (6) 人材養成の目的、及びその他教育・研究上の目的の見直しについて

部局別FD委員会

- (1) 部局のFD研修の企画、実施、評価、改善及び報告
- (2) 授業アンケートにおける活用方法の検討
- (3) その他部局のFDに関連する事項

② 実施状況

a 実施内容

全学的FDの取り組み

- ① 新任教員のための研修会
- ② 人材養成の目的、及び3ポリシーの見直し、策定
- ③ 授業アンケートの実施方法の改善
- ④ 他大学とのFD情報の共有
- ⑤ 教員相互の授業参観

平成24年度 全学FD研修会の実施状況

- ⑥ 8月4日(土) DP、CPにもとづく教育の質保証の取り組み
- ⑦ 12月21日(金) 学士家庭教育における質保証について

b 実施方法

全学的FDの取り組み

① 新任教員のための研修会

新任教員研修については、本学の建学の精神の伝達から、本学で教育研究を行うためのルールなどについて解説を行っている。また、コンソーシアム八王子主催の新任教員研修に全員が参加し、模擬授業、各種WS、高等教育の最新事情などの理解を深めた。

② 人材養成の目的、及び3ポリシーの見直し、策定

教育の質保証サイクルをしっかりと回すために、現行の人材養成の目的を改めて見直し、それに紐づく3ポリシーを現行の教育課程の状況をアセスメントして策定し直している。2ヵ年計画で実施しており、DPまでが見直された。自分の担当科目が、他の科目とどう関連づいているのか。教育課程の中で自分の担当科目の位置づけがどのようなものなのか、理解が進んだ。また、その為の全学FD研修会を外部講師を招聘し、実施した。

③ 授業アンケートの実施方法の改善

現行の授業アンケートだと、学生への授業改善フィードバックが遅れることから、WGを設置し、抜本的に次年度に向けて見直した。次年度の実施は、情報端末を用いて、教員が授業単位で設問項目を設定し、リアルタイムでその集計ができる仕様。アンケートは授業回次毎に実施でき、その翌週から授業改善をフィードバックできるようにした。本年度は従来通りに実施。

④ 他大学とのFD情報の共有

FDの実践について、他大学での情報を多く探る機会が増大したことによって、よりスムーズな情報共有が必須となってきた。そこで学内で議論し、私立大学FD連携フォーラム(代表幹事校立命館大学)へ加盟申請することとし、全学FD委員会提案で、学内承諾をとりつけた。

⑤ 教員相互の授業参観

部局別に公募制を採り、授業公開対象科目は、学内グループウェアによって全体に公開され、相互の参観期間が設けられる。部局によっては全教員が全担当科目を公開する場合もあり、その対象も徐々に広がりつつあるものの、参観者自体が少ないという状況が報告され、次年度以降も継続してその在り方を検討することとなった。

平成24年度 全学FD研修会の実施状況

- ⑥ 8月4日(土) DP、CPにもとづく教育の質保証の取り組み
講演 講師 立命館大学教育開発推進機構 沖 裕貴 教授
- ⑦ 12月21日(金) 学士家庭教育における質保証について
学部長によるパネルディスカッション
コーディネータ 全学FD委員長 服部 裕 教授

c 開催状況（教員の参加状況含む）

全学的FDの取り組み

①新任教員のための研修会
新任教員全員が参加した。

②人材養成の目的、及び3ポリシーの見直し、策定
一人のrighterが作文するのではなく、WSなどを実施し、全教員が教育目標の策定に携われるよう工夫している。華美な表現ではないが、ほとんどの全教員が参画し、教員の意識改善に大いに貢献した。

③授業アンケートの実施方法の改善
全学FD委員会の下にWGが設置され、全学FD委員会とキャッチボールしながら次年度の授業アンケートの在り方について仕様書の作成までを行った。次年度に向けてシステム課へ引き継いだ。

④他大学とのFD情報の共有
FDフォーラムなど、逐次情報共有すると共に、e-learningなどのコンテンツを学内に紹介することを始めた。各種フォーラムには、参加したい教員が参加を始めた。

⑤教員相互の授業参観における授業公開状況（参観者の実態は把握できていません）

【前期】

全学共通教育 …全教員、全科目公開
理工学部 …全教員、卒業研究をのぞく全科目公開
人文学部 …2名、8科目公開
経営学部 …5名、8科目公開

【後期】

全学共通教育 …全教員、全科目公開
理工学部 …全教員、卒業研究をのぞく全科目公開
人文学部 …2名、6科目公開
経営学部 …5名、18科目公開

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

現状ではこれらのFD活動については十分とはいえず、更なる全学的な取り組み、及び意識の高揚が必要。更にFD活動を通じて意識改革を図るとともに、授業アンケートの結果の開示と授業改善への接続を図る方策を講じるようにしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・実施の有無 全学共通実施
- ・実施時期 前期及び後期の試験実施期間前に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・学生への情報公開 前年度実施概要を本学ウェブサイトにて公開
- ・教員への情報提供 実施の2～3か月後に個別に本学ウェブサイトにて提供
- ・組織的取り組み 学部ごとに実施

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1年次には必要最小限の必修科目を設置し、2年次以降につながる学習の基礎を固めるようにしている。改組以前に比べ、授業の出席率も高く、課題も漏れなく提出するようになった。一時目立った私語もほとんどなくなり、その結果、必修科目をとりこぼす学生は格段に減少した。

1年次の必修科目のうち、「日本語レベルアップ」は少人数クラスで運営され、担当教員がクラスの学生のアドバイザー（担任）となり、学生のような状況や問題の把握にあたっている。これにより、早期の段階で学生の悩みを解決したり、友人関係を構築したりする役割を果たしている。

2年次以降については、各学年の演習科目（「日本文化基礎演習」「比較文化基礎演習」「日本文化演習」「比較文化演習」等）の担当教員がアドバイザーとなり、毎週の授業を通して学生と接する中で、学生の変化を捕捉したり、時宜を得たアドバイスを話したりできる体制を整えている。

さらには、月に2回程度開催している学科会議において、学生に関する情報を教員間で交換して、学科として目の行き届いた指導となるよう努めている。このことにより、新学科における離籍率は大きく低下した。卒業後の就職に関しては、3年後期の冒頭に学科独自の就活プレスセミナーを開催し、学科全体の社会貢献への意識を向上させると同時に、キャリアセンターと連携して、きめ細かな個別指導にもあたっている。

また、これまで卒業論文に限定していた発表会を、1～3年の演習科目に対象を広げ、全学年が集まるかたちで毎年1月の授業終了直後に開催することとした。各学年に発表の機会を設けることで、学生の発信力がさらに高まることを期待している。

新入生オリエンテーションも実質的に学生が運営し、新入生同士だけでなく、早い段階から上級生との交流も生まれて、学科が活気づく所となっている。

加えて、各教員が顧問となって授業外で学生と交流する研究会の活動は6年目を迎え、多少の増減は見られるものの、総じて参加者は増えている。毎年秋の大学祭における発表・展示も定着し、授業以外の知の世界に関心を寄せる学生の層が定着してきたと感じている。

今後も、設置の趣旨の実現に向け、さらなる努力を続けていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成23年3月30日 公表

b 公表方法

・大学ウェブサイト上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成22年度に財団法人大学基準協会による認証評価を受け、大学基準に適合していると再認定される。
- ・次期計画としては、平成29年度に財団法人大学基準協会による認証評価を申請する。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

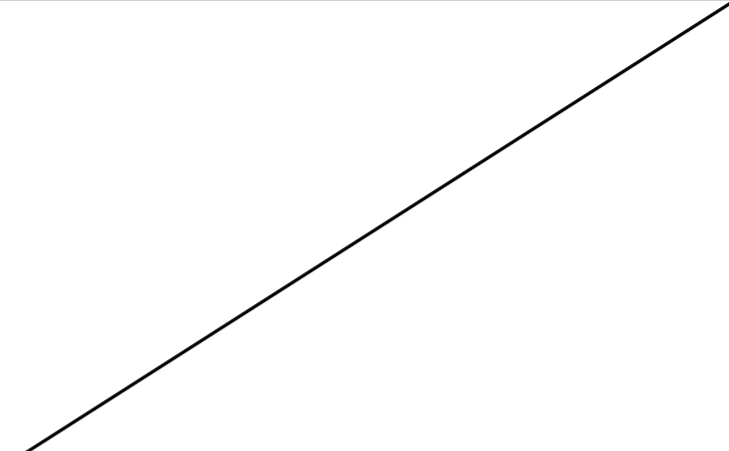
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成25 年 7 月 31 日)

7 その他全般的事項

<人文学部 福祉実践学科>

(1) 設置計画変更事項等

| 設置時の計画 | 変更内容・状況, 今後の見通しなど |
|--|-------------------|
|  | <p>該当なし</p> |

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

| |
|--|
| <p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>平成19年度より学長の諮問委員会として「全学FD委員会」を設け、全学的FD活動の実施や部局別FD活動の指針となる全学的基本方針を策定するなど、全学をあげて組織的な取り組みを行ってきた。</p> <p>平成21年度より「明星大学ファカルティ・ディベロップメントに関する規程」(別紙1)を制定し、「全学FD委員会」及び「部局別FD委員会」の役割を明確にした。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>平成23年度の開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回全学FD委員会 平成23年5月31日(火) 教員参加人数10名 ・ 第2回全学FD委員会 平成23年6月28日(火) 教員参加人数8名 ・ 第3回全学FD委員会 平成23年7月26日(火) 教員参加人数9名 ・ 第4回全学FD委員会 平成23年9月13日(火) 教員参加人数10名 ・ 第5回全学FD委員会 平成23年10月5日(水) 教員参加人数9名 ・ 第6回全学FD委員会 平成23年11月2日(水) 教員参加人数8名 ・ 第7回全学FD委員会 平成23年12月2日(金) 教員参加人数8名 ・ 第8回全学FD委員会 平成23年12月22日(木) 教員参加人数9名 ・ 第9回全学FD委員会 平成23年2月1日(水) 教員参加人数8名 ・ 第10回全学FD委員会 平成23年3月1日(木) 教員参加人数8名 <p>平成24年度の開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回全学FD委員会 平成24年5月22日(火) 教員参加人数9名 ・ 第2回全学FD委員会 平成24年6月7日(木) 教員参加人数10名 ・ 第3回全学FD委員会 平成24年7月5日(木) 教員参加人数9名 ・ 第4回全学FD委員会 平成24年9月6日(木) 教員参加人数8名 ・ 第5回全学FD委員会 平成24年10月4日(木) 教員参加人数9名 ・ 第6回全学FD委員会 平成24年11月1日(木) 教員参加人数10名 ・ 第7回全学FD委員会 平成24年12月6日(木) 教員参加人数10名 ・ 第8回全学FD委員会 平成24年12月19日(木) 教員参加人数10名 ・ 第9回全学FD委員会 平成25年2月6日(木) 教員参加人数9名 ・ 第10回全学FD委員会 平成25年3月7日(木) 教員参加人数7名 |
|--|

c 委員会の審議事項等

全学FD委員会

- (1) 全学的なFD活動のための基本方針の策定
- (2) 授業アンケートの組織的活用方法について
- (3) 私立大学FD連携フォーラムへの加盟について
- (4) 授業公開について
- (5) 日本学術会議における分野別参照基準について
- (6) 人材養成の目的、及びその他教育・研究上の目的の見直しについて

部局別FD委員会

- (1) 部局のFD研修の企画、実施、評価、改善及び報告
- (2) 授業アンケートにおける活用方法の検討
- (3) その他部局のFDに関連する事項

② 実施状況

a 実施内容

全学的FDの取り組み

- ① 新任教員のための研修会
- ② 人材養成の目的、及び3ポリシーの見直し、策定
- ③ 授業アンケートの実施方法の改善
- ④ 他大学とのFD情報の共有
- ⑤ 教員相互の授業参観

平成24年度 全学FD研修会の実施状況

- ⑥ 8月4日(土) DP、CPIにもとづく教育の質保証の取り組み
- ⑦ 12月21日(金) 学士家庭教育における質保証について

b 実施方法

全学的FDの取り組み

① 新任教員のための研修会

新任教員研修については、本学の建学の精神の伝達から、本学で教育研究を行うためのルールなどについて解説を行っている。また、コンソーシアム八王子主催の新任教員研修に全員が参加し、模擬授業、各種WS、高等教育の最新事情などの理解を深めた。

② 人材養成の目的、及び3ポリシーの見直し、策定

教育の質保証サイクルをしっかりと回すために、現行の人材養成の目的を敢えて見直し、それに紐づく3ポリシーを現行の教育課程の状況をアセスメントして策定し直している。2ヵ年計画で実施しており、DPまでが見直された。自分の担当科目が、他の科目とどう関連づいているのか。教育課程の中で自分の担当科目の位置づけがどのようなものなのか、理解が進んだ。また、その為の全学FD研修会を外部講師を招聘し、実施した。

③ 授業アンケートの実施方法の改善

現行の授業アンケートだと、学生への授業改善フィードバックが遅れることから、WGを設置し、抜本的に次年度に向けて見直した。次年度の実施は、情報端末を用いて、教員が授業単位で設問項目を設定し、リアルタイムでその集計ができる仕様。アンケートは授業回次毎に実施でき、その翌週から授業改善をフィードバックできるようにした。本年度は従来通りに実施。

④ 他大学とのFD情報の共有

FDの実践について、他大学での情報を多く探る機会が増大したことによって、よりスムーズな情報共有が必須となってきた。そこで学内で議論し、私立大学FD連携フォーラム(代表幹事校立命館大学)へ加盟申請することとし、全学FD委員会提案で、学内承諾をとりつけた。

⑤ 教員相互の授業参観

部局別に公募制を採り、授業公開対象科目は、学内グループウェアによって全体に公開され、相互の参観期間が設けられる。部局によっては全教員が全担当科目を公開する場合もあり、その対象も徐々に広がりつつあるものの、参観者自体が少ないという状況が報告され、次年度以降も継続してその在り方を検討することとなった。

平成24年度 全学FD研修会の実施状況

- ⑥ 8月4日(土) DP、CPIにもとづく教育の質保証の取り組み
講演 講師 立命館大学教育開発推進機構 沖 裕貴 教授
- ⑦ 12月21日(金) 学士家庭教育における質保証について
学部長によるパネルディスカッション
コーディネータ 全学FD委員長 服部 裕 教授

c 開催状況（教員の参加状況含む）

全学的FDの取り組み

①新任教員のための研修会
新任教員全員が参加した。

②人材養成の目的、及び3ポリシーの見直し、策定
一人のrighterが作文するのではなく、WSなどを実施し、全教員が教育目標の策定に携われるよう工夫している。華美な表現ではないが、ほとんどの全教員が参画し、教員の意識改善に大いに貢献した。

③授業アンケートの実施方法の改善
全学FD委員会の下にWGが設置され、全学FD委員会とキャッチボールしながら次年度の授業アンケートの在り方について仕様書の作成までを行った。次年度に向けてシステム課へ引き継いだ。

④他大学とのFD情報の共有
FDフォーラムなど、逐次情報共有すると共に、e-learningなどのコンテンツを学内に紹介することを始めた。各種フォーラムには、参加したい教員が参加を始めた。

⑤教員相互の授業参観における授業公開状況（参観者の実態は把握できていません）

【前期】

全学共通教育 …全教員、全科目公開
理工学部 …全教員、卒業研究をのぞく全科目公開
人文学部 …2名、8科目公開
経営学部 …5名、8科目公開

【後期】

全学共通教育 …全教員、全科目公開
理工学部 …全教員、卒業研究をのぞく全科目公開
人文学部 …2名、6科目公開
経営学部 …5名、18科目公開

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

現状ではこれらのFD活動については十分とはいえず、更なる全学的な取り組み、及び意識の高揚が必要。更にFD活動を通じて意識改革を図るとともに、授業アンケートの結果の開示と授業改善への接続を図る方策を講じるようにしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・実施の有無 全学共通実施
- ・実施時期 前期及び後期の試験実施期間前に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・学生への情報公開 前年度実施概要を本学ウェブサイトにて公開
- ・教員への情報提供 実施の2～3か月後に個別に本学ウェブサイトにて提供
- ・組織的取り組み 学部ごとに実施

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「福祉実践学科設置の趣旨」にも記載したように、福祉実践学科は、実践力のある福祉職業人と福祉の視点と技術を活用できる福祉社会人の養成を目的として3つのコースを設置している。1. 福祉実践コース、2. 社会福祉士コース、3. 精神保健福祉士コース。

また学科の特色としては、第1に理念のみならず実践の学・体験の学として社会福祉を捉え、少人数で福祉実践力を養うことが挙げられる。多摩地域に現存する多くの福祉施設と連携をとり、現場と共同してきめの細かい福祉教育を行うこと。第2は福祉にかかわる多彩な幅の広い科目を設置し社会的応用力を養うことである。

理工学研究分野から「福祉機器工学」「福祉情報工学」、多摩地域の福祉を学ぶ「多摩地域福祉論」、実践的な「手話入門」「マイノリティ論」「スクールソーシャルワーク論」「海外福祉事情」「社会福祉学特講Ⅱ（ガイドヘルプ）」「社会福祉学特講Ⅲ（海外福祉事情）」「障害者スポーツ論」等を開講している。

福祉実践学科を開設し3年が経過し本年に完成年度を迎えた。履修指導及びコース分け、専門演習のクラス分けなどによる学生の状況把握および教員間での情報共有について順調に実施でき、学生教育に還元されていることから、設置の趣旨・目的を達成できていると評価する。

具体的には、平成22年4月から、全学的な初年次教育科目である「自立と体験1」、学科独自の合宿を含む「自立と体験2」で初年次教育の強化に取り組んでいる。また全学的にMI21プロジェクトの取り組みで、細部にわたる目標設定、達成状況を数値的に管理するシステムを導入して毎月チェックを行っている。学生サポートセンターと連携して基礎教育の充実にも努めている。

また、入学オリエンテーション、社会福祉士・精神保健福祉士・福祉実践コース、専門演習のクラス分けガイダンスおよび面接指導を実施し、新入生にコース別の履修モデルの意義や資格取得に関する方法を説明し、将来のキャリアデザインを意識しながら、習得すべき講義科目の精選と、学問習得および各種資格取得の充実・進化を実現できるように、個別面談などを実施し丁寧に指導している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成23年3月30日 公表

b 公表方法

・大学ウェブサイト上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成22年度に財団法人大学基準協会による認証評価を受け、大学基準に適合していると再認定される。
- ・次期計画としては、平成29年度に財団法人大学基準協会による認証評価を申請する。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成25年7月31日)

明星大学ファカルティ・ディベロップメントに関する規程

(趣旨)

第1条 この規程は、明星大学学則（昭和39年4月1日）第61条第2項、明星大学大学院学則（昭和46年4月1日）第45条第2項、明星大学通信教育部学則（昭和42年4月1日）第57条第2項及び明星大学通信制大学院学則（平成11年4月1日）第38条第2項に基づき、明星大学（以下「本学」という。）におけるファカルティ・ディベロップメント（以下、「FD」という。）を推進するための組織及び運営について、必要な事項を定める。

(FD活動の組織)

第2条 FD活動は、以下の組織単位で行う。

- (1) 全学で行うFD
- (2) 学部、研究科、全学共通教育委員会又は通信教育課程で行う部局別のFD
- (3) その他、必要に応じて学科等で行うFD

(FD委員会組織)

第3条 前条の目的を達成するために、以下の委員会を置く。

- (1) 全学FD委員会
- (2) 学部、研究科、全学共通教育委員会又は通信教育課程等における部局別FD委員会
- (3) その他、必要に応じて置かれるFD委員会

(全学FD委員会)

第4条 全学FD委員会は、次の各号に定める者をもって組織する。

- (1) 学長が指名する副学長
 - (2) 各学部の教務委員長
 - (3) その他、学長が指名する教職員若干人
- 2 全学FD委員会の任務は、次の各号に定める通りとする。
- (1) 全学的なFD活動のための基本方針の策定
 - (2) 全学的なFD研修の企画、実施、評価、改善及び報告
 - (3) 新任教員に対する全学的なFD研修
 - (4) 授業に関する学生アンケートの企画及び活用方法の検討
 - (5) 部局によるFD研修への協力・助言
 - (6) その他全学的なFDに関連する事項
- 3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補充による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 4 全学 FD 委員会の委員長は、学長が指名した副学長とする。
- 5 副委員長は委員の互選により選出する。
- 6 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 7 委員長に支障があるときは、副委員長がその職務を代行する。
- 8 委員長が必要と認めたとき、委員会に委員以外の出席を求め、その意見を聴くことができる。
- 9 全学 FD 委員会の事務は、教務企画課が行う。

(部局別 FD 委員会)

第 5 条 部局別 FD 委員会は、各部局別に次に定める者をもって組織する。

(1) 学部 FD 委員会

- ア 学部長
- イ 学部の互選により選出された者
- ウ 学部長が指名する当該学部所属教職員

(2) 研究科 FD 委員会

- ア 研究科長
- イ 研究科の互選により選出された者
- ウ 研究科長が指名する当該研究科所属教職員

(3) 全学共通教育 FD 委員会

- ア 全学共通教育委員会委員長
- イ 全学共通教育委員会の互選により選出された者
- ウ 全学共通教育委員会委員長の指名する全学共通教育委員会所属教職員

(4) 通信教育部 FD 委員会

- ア 通信教育課程長
- イ 通信教育代表委員会の互選により選出された者
- ウ 通信教育課程長が指名する教職員

2 部局別 FD 委員会の任務は、次の各号に定める事項とする。

- (1) 部局の FD 研修の企画、実施、評価、改善及び報告
- (2) 授業に関する学生アンケートの部局における活用方法の検討
- (3) その他部局の FD に関連する事項

3 部局別 FD 委員会について必要な事項は、各部局で定める。

(雑則)

第 6 条 この規程に定めるもののほか必要な事項については、大学評議会の議を経て、学長が定める。

(改廃)

第 7 条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。